

DPC データ詳細分析調査

研究分担者 丸山 広達 愛媛大学大学院農学研究科地域健康栄養学分野
研究分担者 野田 愛 順天堂大学医学部公衆衛生学講座
研究協力者 内藤 俊夫 順天堂大学医学部総合診療科学講座
研究協力者 三好 規子 順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座

研究要旨

新型コロナウイルス感染症が経営に与える影響については、医業収入や医業利益、患者数等に与える影響は明らかにされているが、各医療機関において、入院・外来患者のうち新型コロナウイルス感染症に関連する傷病名の占める具体的な割合や、実際に影響を受けた具体的な手術・処置の詳細については明らかにされておらず、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れが、医療機関の経営にどの程度の影響を与えたかについては不明な部分が多い。また、病院の規模等における役割の違いによる経営への影響についても、その詳細は分析されていない。

本研究は、上記の課題や現状を踏まえ、新型コロナウイルス感染症が医療機関の経営にどの程度影響を与えているか、DPC データを用いて検討することを目的とした。

DPC データを用いた分析事業について同意が得られた施設に、2019年4～9月までの6か月分、2020年4～9月までの6か月分のDPC データを依頼し、82の医療機関から協力を得た。対応実績有無別、許可病床数の400床以上、400床未満に層別し、医療機関の経営への影響について分析した。

分析の結果、入院収入（点数）及び外来収入（点数）の減少には、医療機関の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ実績の有無（以下、実績有り、実績無し）に関わらず、患者数の減少が顕著に影響を与えていた。特に、年齢階級では若年層（15歳以下）、傷病別では呼吸器系の疾患、その中でも急性上気道感染症や肺炎等の患者数の減少が影響を与えていた。

入院点数における入院料等では、実績有り施設において、特定集中治療室管理料や救急医療管理加算、ハイケアユニット入院医療管理料等の入院料等で新型コロナウイルス感染症の患者が一定程度入院しており、入院料等点数の伸び率にプラスに寄与しているものの、他の入院料等での入院患者数の大幅な減少により入院料等点数の伸び率は4～9月平均で▲4%～▲3%の減少となった。実績無しの医療機関では、上述の入院料等でのプラスの寄与が無く、入院料等点数の伸び率は、実績有り施設よりも減少幅が大きくなった。

手術（入院）の診療行為をみると、実績有り・400床以上では、経皮的カテーテル心筋焼灼術(K595)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、水晶体再建術(K282)の減少幅が大きく、

実績有り・400床未満では、脊椎側彎症手術(K142-2)、脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）(K142)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)の減少幅が大きかった。また、実績無し・400床未満では、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、人工関節置換術(K082)、ペースメーカー移植術(K597)の減少が顕著であった。

外来点数における手術（外来）の診療行為では、4～9月期間における前年伸び率が、実績有り・400床以上の場合▲1.1%、実績有り・400床未満の場合▲4.4%、実績無し・400床未満の場合▲3.8%と400床未満の医療機関で大幅な減少となった。実績有り・400床以上の医療機関との比較で違いをみると、特に診療行為回数あたりの点数の寄与度の減少が大きく異なっており、件数の減少に加え、行為点数の減少（高額診療行為の減少）が外来収入の伸び率に影響を与えていた。

検査（外来）の診療行為では、いずれの医療機関分類でも検体検査判断料(D026)、血液化学検査(D007)の減少幅が大きく、外来収入に影響を与えていた。

今後より精緻に比較検討するためには、性・年齢調整の方法等を用いて、比較対象の医療機関の患者特性等を調整したうえで、診療状況の違いを比較検討する必要がある。

A. 研究目的

新型コロナウイルス感染症が経営に与える影響については、医業収入や医業利益、患者数等に与える影響は明らかにされているが、各医療機関において、入院・外来患者のうち新型コロナウイルス感染症に関連する傷病名の占める具体的な割合や、実際に影響を受けた具体的な手術・検査の詳細については明らかにされておらず、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れが、経営にどの程度の影響を与えたかについては不明な部分が多い。また、病院の規模等における役割の違いによる経営の影響についても、その詳細は分析されていない。

本研究では、上記の課題や現状を踏まえ、新型コロナウイルス感染症が医療機関の経営にどの程度影響を与えているかについて、DPCデータを用いて、検討することを目的とした。また、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う診療報酬上の臨時的な取り扱いが可能となった特例的な対応についてもその算定状況を把握することとした。

以下に分析項目を示す。

- ①医療機関分類ごとの特徴
- ②新型コロナウイルス感染症患者の状況
- ③患者数、収入の変化
- ④傷病別、年齢別患者数の変化
- ⑤入院の診療行為別の算定状況
- ⑥外来の診療行為別の算定状況
- ⑦特例的な対応状況（入院関係）
- ⑧特例的な対応状況（外来関係）
- ⑨特例的な対応状況（手術・検査等）

B. 研究方法

- ① 対象病院、対象データ

2020年12月19日から2021年2月15日に、全国の医療機関を対象とするアンケート調査等を通じて、DPCデータの提供が可能な医療機関を募集し、82病院からDPCデータの提供を受けた。

対象となった82病院は、DPC対象病院、DPC準備病院、それ以外の病院で「診療報酬のデータ提出加算2又は4」の届出を行っている病院で、当該病院から、以下のDPCデータファイルの提供を受けた⁽¹⁾⁽²⁾。

- ・様式1ファイル(患者属性や病態等の情報)

・入院 EF 統合ファイル（出来高レセプト情報）

・外来 EF 統合ファイル（出来高レセプト情報）

データ期間については、2019年4月から9月までと、2020年4月から9月までのそれぞれ6か月分とした。

② 医療機関の分類

新型コロナウイルス感染症の対応実績有無によって、医療機関の患者数や収入、診療等がどのように変化しているか比較・検討するために、82病院をコロナ対応実績有無別・病床規模別に分類した。

表1 医療機関分類（入院）

		コロナ対応実績有無		
		実績有り	実績無し	計
許可 病床 数	400床以上	38	-	38
	400床未満	31	13	44
	計	69	13	82

新型コロナウイルス感染症への対応実績については、DPCデータの様式1ファイル（入院患者の属性情報）に基づき、主傷病、医療資源1（医療資源を最も投入した傷病名）、医療資源2（医療資源を2番目に投入した傷病名）のいずれかの診断において、傷病名の修飾語の「疑い」コードがある場合も含めた傷病名コードが”8850104”（COVID-19）または”8833876”（コロナウイルス感染症）となっている入院患者か、あるいは、様式1ファイルの入院契機（入院の契機となった傷病名（複数））、併存症（入院時に既に存在していた傷病名（複数））、後続症（入院後に新たに発生した傷病名（複数））のいずれかの診断において、傷病名の修飾語の「疑い」コード

がない場合の傷病名コードが”8850104”または”8833876”となっている入院患者が、2020年4～9月の6か月間の診療月中に1人以上出現した医療機関をコロナ対応実績有り（以下、実績有り）施設とし、当該条件での入院患者が、2020年4～9月の6か月間の診療月中に1人も出現していない医療機関をコロナ対応実績無し（以下、実績無し）施設とした。

また、病床規模区分については、全国で承認されている「地域医療支援病院」¹の平均病床数が約400床（病床規模の承認要件は200床以上）であることや、「特定機能病院」の病床規模要件が400床以上であること等から、本研究で用いるデータについても、医療機関の機能の役割が、おおよそ許可病床数400床前後で分かれるものと判断し、許可病床数400床以上と400床未満の2区分とした。

以上の定義により、入院患者に係わる医療機関の分類は実績有り・400床以上が38施設、実績有り・400床未満が31施設、実績無し・400床未満が13施設であった（表1）。

なお、上述の入院患者に係る医療機関分類の定義に基づき、外来患者データに関して施設を分類すると表2のとおりとなった（本来は同じ施設数となるが、データ精査の関係で入院の場合よりも施設数が減少することとなった）。

表2 医療機関分類（外来）

		コロナ対応実績有無		
		実績有り	実績無し	計
許可 病床 数	400床以上	36	-	36
	400床未満	24	11	35
	計	60	11	71

また、本研究で分析したDPCデータの結

現在）。

¹ 「地域医療支援病院」の承認を受けている全国の病院数は607施設（平成30年12月

果について、ナショナルデータベース (NDB) ③を利用した統計調査である社会医療診療行為別統計④のレセプト集計データと比較し、その特徴を検討した。

C. 研究結果

① 医療機関分類ごとの特徴 (資料 01)

開設者別の医療機関分類の構成割合をみると、実績有り・400床以上では、国が4割超で最も多く、次いで社会保険関連団体が3割弱であった(国45%、公的医療機関13%、社会保険関係団体29%、医療法人3%、その他法人11%)。また、2割強の大学病院も含まれた。

実績有り・400床未満では、社会保険関係団体が4割超で最も多く、次いで、医療法人が2割強であった(国19%、公的医療機関13%、社会保険関係団体42%、医療法人23%、その他法人3%)。

実績無し・400床未満では、社会保険関係団体が4割超で最も多く、次いで国が3割強であった(国31%、公的医療機関15%、社会保険関係団体46%、医療法人8%)。

地域的な分布でみると、実績有りの医療機関数は、特定警戒都道府県²に所在する割合が7・8割を占め、実績無しの医療機関数は、5割以下であった。

② 新型コロナウイルス感染症患者の状況 (資料 02)

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向は、4月中旬に最初の感染者数のピークがあり、その後減少が続き、8月初旬に感染発生の第2ピークとなった³。

実績有り69施設の入院患者に対する新型コロナウイルス感染症患者割合は、国内発生の動きと同じように4月、5月の1%超から一旦割合が低下するが8月に2.0%と高くなった(表3)。

一方、外来における実績有りの新型コロナウイルス感染症患者割合は、4月の1.1%から順次増えつづけ、8月、9月は3.1%となった。実績無し施設でも、患者割合の水準は低いものの4月の0.3%から順次増えつづけ、9月では1.0%となった。

なお、外来における新型コロナウイルス感染患者については、主傷病に限らず傷病名コード”8850104”または”8833876”がある場合とした。

表3 入院又は外来患者数に占める新型コロナ感染症患者数割合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均
入院患者数割合 実績有り69施設	1.2%	1.2%	0.6%	1.3%	2.0%	1.4%	1.3%
外来患者数割合 実績有り60施設	1.1%	1.3%	1.6%	2.4%	3.1%	3.1%	2.2%
外来患者数割合 実績無し11施設	0.3%	0.4%	0.4%	0.7%	0.9%	1.0%	0.6%

③ 患者数、収入の変化

・入院・外来患者数の前年同月比 (資料 03)

入院患者数を前年同月比でみると(表4)、比較対象の医療機関3分類の減少は同じ傾向を示し、6月には下げ幅に回復がみられた。参考(入院レセプト件数)③は、全国の病院及び診療所を含めた数値であるが、その前年同月比よりも、医療機関3分類は6~8%程低い水準であった。

² 特定警戒都道府県とは、令和2年4月16日に国の対策本部が、特に重点的に感染拡大防止の取組を進めていく必要があると位置づけた13都道府県で北海道、茨木、埼玉、千葉、東京、神奈川、岐阜、愛知、石川、京

都、大阪、兵庫、福岡が該当する。

³ 令和3年3月10日「中央社会保険医療協議会」資料の「新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」参考。

表4 入院患者数の前年同月比推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均
実績有り・400床以上	84%	76%	86%	88%	89%	95%	87%
実績有り・400床未満	84%	77%	85%	87%	86%	93%	85%
実績無し・400床未満	85%	79%	88%	88%	90%	93%	87%
参考(入院レセプト件数)	89%	86%	93%	94%	98%	102%	94%

※参考(入院レセプト件数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。

外来患者数でも、医療機関3分類において減少傾向が見られるが、入院の場合と同様に6月以降は下げ幅に回復がみられた。参考(外来レセプト件数)⁽⁵⁾の前年同月比と比較すると、実績有り施設は2~3%程低い水準で、実績無し施設も同じような水準であった(表5)。

表5 外来患者数の前年同月比推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均
実績有り・400床以上	78%	73%	89%	88%	87%	93%	85%
実績有り・400床未満	80%	75%	89%	88%	87%	92%	85%
実績無し・400床未満	83%	78%	92%	91%	89%	93%	88%
参考(外来レセプト件数)	81%	79%	90%	90%	93%	93%	88%

※参考(外来レセプト件数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。

・入院・外来点数の前年同月比(資料04)

入院点数の前年同月比をみると(表6)、医療機関3分類とも4月以降減少しているが、6月には下げ幅に回復がみられた。但し、全国の病院及び診療所を含めた数値である参考(入院レセプト点数)よりも3~5%程低い水準であった。

表6 入院点数の前年同月比推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均
実績有り・400床以上	89%	83%	93%	94%	94%	100%	92%
実績有り・400床未満	90%	84%	91%	90%	91%	97%	91%
実績無し・400床未満	88%	83%	92%	91%	93%	94%	90%
参考(入院レセプト点数)	94%	90%	96%	96%	97%	100%	95%

※参考(入院レセプト件数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。

外来点数では、4月以降も減少しているが6月には下げ幅の回復がみられ、特に実績有

4 点数の前年伸び率に対する3要素の寄与度分解は以下のとおりとした。
 点数の前年伸び率(V)=件数寄与度(P)+1件あたり日数寄与度(Q)+1日あたり点数寄与度(R)

$$P=V \times \left[\frac{\log(p)}{\log(p)+\log(q)+\log(r)} \right]$$

り・400床以上の医療機関で回復が顕著であった(表7)。

表7 外来点数の前年同月比推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均
実績有り・400床以上	88%	82%	99%	96%	97%	104%	94%
実績有り・400床未満	86%	79%	93%	89%	90%	96%	89%
実績無し・400床未満	83%	79%	97%	93%	93%	96%	90%
参考(外来レセプト件数)	86%	84%	97%	94%	96%	99%	93%

※参考(外来レセプト件数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。

・入院・外来点数伸び率の寄与度分解(資料05,06)

入院点数の4~9月期の平均の前年伸び率を件数、日数/件、点数/日の3要素に分け、寄与度分解を行った⁴。

分析結果から、件数の減少が入院点数の伸び率に大きな影響を与えていた(寄与度が実績有り・400床以上▲14.0%、実績有り・400床未満▲18.0%、実績無し・400床未満▲12.2%)。件数の寄与度は、実績無し施設より、実績有り施設の減少幅が大きく、実績有り・400床未満の医療機関の減少幅が特に顕著であった。一方で、日数/件と点数/日の要素を合わせた点数/件では、実績有り施設のプラス幅が大きく(それぞれ6.2%、8.5%)、実績無し・400床未満の医療機関では、2.2%にとどまった。そのため、実績無し・400床未満の入院点数の伸び率は、他の2分類より減少幅が大きい結果となった(表8)。

表8 入院点数の前年伸び率の3要素別寄与度分解(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
入院点数前年伸び率	-7.8%	-9.5%	-10.0%
寄与度(件数)	-14.0%	-18.0%	-12.2%
寄与度(点/件)	6.2%	8.5%	2.2%
寄与度(日/件)	0.5%	0.2%	-1.5%
寄与度(点/日)	5.7%	8.3%	3.7%

$$Q=V \times \left[\frac{\log(q)}{\log(p)+\log(q)+\log(r)} \right]$$

$$R=V \times \left[\frac{\log(r)}{\log(p)+\log(q)+\log(r)} \right]$$

 ここで、
 p=件数の前年比
 q=1件あたり日数の前年比
 r=1日あたり点数の前年比

外来点数でも同様に、件数の減少が外来点数の伸び率に大きな影響を与えており（それぞれ寄与度が▲13.3%、▲12.8%、▲10.5%）、実績有り施設の減少幅が大きい傾向にあった。点数/件の寄与度をみると医療機関分類間の違いが大きく、実績有り・400床以上では7.7%であるのに、実績有り・400床未満、実績無し・400床未満の医療機関では1.5%と0.4%となっており、これが外来点数の伸び率の違いに影響を与えていた（表9）。

表9 外来点数の前年伸び率の3要素別寄与度分解（4-9月平均）

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
外来点数前年伸び率	-5.7%	-11.3%	-10.1%
寄与度(件数)	-13.3%	-12.8%	-10.5%
寄与度(点/件)	7.7%	1.5%	0.4%
寄与度(日/件)	-0.3%	-2.0%	-3.0%
寄与度(点/日)	8.0%	3.5%	3.5%

④ 傷病別、年齢別患者数の変化

・傷病分類⁶⁾別患者数の前年比（資料07,08）

入院における傷病別の患者数の4～9月期前年比をみると（表10）、いずれの医療機関分類でも呼吸器系疾患の減少幅が大きかった。患者数の少ない精神及び行動の障害や先天奇形、変形及び染色体異常、症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないものの傷病を除くと、各傷病の患者数の4～9月期前年比が71～87%であるのに対して、実績有り・400床以上が61%、実績有り・400床未満が63%、実績無し・400床未満が60%と10～25%程の差が生じている。内訳をみると、急性上気道感染症（それぞれ前年比が48%、43%、35%）や肺炎（それぞれ50%、56%、47%）等の傷病での減少が顕著であった。

また、外来における傷病別の患者数の変化においても同様の傾向となっていた。

表10 傷病大分類別の入院患者数の前年比（4-9月平均）

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
感染症及び寄生虫症	79%	83%	75%
新生物<腫瘍>	92%	88%	87%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	85%	94%	104%
内分泌、栄養及び代謝疾患	80%	84%	81%
精神及び行動の障害	77%	62%	87%
神経系の疾患	80%	71%	85%
眼及び付属器の疾患	74%	74%	98%
耳及び乳様突起の疾患	71%	84%	99%
循環器系の疾患	88%	88%	94%
呼吸器系の疾患	61%	63%	60%
(再掲)急性上気道感染症	48%	43%	35%
(再掲)肺炎	50%	56%	47%
(再掲)アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎	61%	53%	64%
(再掲)その他の呼吸器系の疾患	80%	80%	78%
消化器系の疾患	88%	88%	85%
皮膚及び皮下組織の疾患	83%	81%	96%
筋骨格系及び結合組織の疾患	85%	84%	93%
腎尿路生殖器系の疾患	92%	94%	82%
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	96%	102%	105%
周産期に発生した病態	95%	94%	107%
先天奇形、変形及び染色体異常	79%	82%	54%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69%	69%	54%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	88%	87%	94%

・年齢階級別患者数の前年比（資料09,10）

入院の年齢階級別の患者数の4～9月期前年比をみると（表11）、0～15歳での若年層の減少幅が大きく（実績有り・400床以上67%、実績有り・400床未満50%、実績無し・400床未満62%）、特に、実績有り・400床未満で顕著であった。

表11 年齢階級別の入院患者数の前年比（4-9月平均）

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
0-19歳	68%	54%	69%
(再掲)0-15歳	67%	50%	62%
20-39歳	87%	90%	87%
40-64歳	88%	88%	86%
65-74歳	87%	87%	87%
75-84歳	87%	84%	86%
85歳-	91%	87%	91%

同様に、外来の年齢階級別の患者数も、0～15歳での減少幅が顕著であった。

・診療科別患者数の前年比（資料 11,12）

外来における診療科別患者数の4～9月期前年比をみると、医療機関3分類とも、小児科の減少幅が最も大きく（実績有り・400床以上68%、実績有り・400床未満57%、実績無し・400床未満67%）、次いで、耳鼻咽喉科であった（同様に76%、71%、72%）。全国の診療所の診療科別レセプト件数の前年比でも^⑤、小児科、耳鼻咽喉科の減少が顕著となっており、同様の傾向を示した。

⑤ 入院の診療行為別の算定状況（資料 13）

入院点数前年伸び率に対する各診療行為の寄与度をみると、特に入院料等と手術の影響が大きかった。（表 12）

表12 入院点数前年伸び率の診療行為寄与度（4-9月平均）

診療行為大分類	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
入院点数前年伸び率	-7.8%	-9.5%	-10.0%
入院料等(A1-A3)	-3.0%	-4.3%	-5.1%
手術(K)	-3.5%	-3.3%	-3.0%
その他診療行為	-1.3%	-1.9%	-1.9%

・入院料等点数伸び率の寄与度分解（資料 14-16）

入院料等点数の4～9月期の平均の前年伸び率を件数、回数/件、点数/回の3要素に分け、寄与度分解を行った（表 13）。

入院料等点数の伸び率は、実績有り・400床以上▲3.0%、実績有り・400床未満▲4.3%、実績無し・400床未満▲5.1%で、件数の寄与度がそれぞれ▲6.7%、▲8.4%、▲7.4%と大きく寄与していた。

医療機関分類間の比較でみると、実績無し・400床未満の医療機関は、点数/件（回/件×点/回）の要素項目の寄与度の増加幅が小さく、点数の伸び率の減少が他の2分類よりも大きい結果となった。

表13 入院料等点数の前年伸び率の寄与度分解（4-9月平均）

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
入院料等点数伸び率	-3.0%	-4.3%	-5.1%
寄与度(件数)	-6.7%	-8.4%	-7.4%
寄与度(点/件)	3.7%	4.0%	2.3%
寄与度(回/件)	1.5%	1.1%	0.8%
寄与度(点/回)	2.2%	2.9%	1.5%

※入院料等点数伸び率=入院全体伸び率に対する寄与度とした。

これを入院料等の個別診療行為でみると（表 14）、減少幅の大きい入院料の診療行為は、一般病棟入院基本料や特定機能病院入院基本料、地域包括ケア病棟入院料、小児入院医療管理料等で、いずれの医療機関分類でも当該診療行為の寄与度を合わせて（4行為計）▲5%～▲3%であった。

表14 寄与度が下位の診療行為(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
一般病棟入院基本料(A100)	-1.5%	-3.9%	-3.3%
特定機能病院入院基本料(A104)	-1.1%	-	-
地域包括ケア病棟入院料(A308-3)	-0.1%	-0.2%	-1.6%
小児入院医療管理料(A307)	-0.6%	-0.6%	-0.1%
4行為計	-3.4%	-4.6%	-5.0%

一方、特定集中治療室管理料や救急医療管理加算、急性期看護補助体制加算、ハイケアユニット入院医療管理料、二類感染症患者療養環境特別加算等においては、実績無し・400床未満の医療機関でプラスの寄与が無く（特定集中治療室管理料の場合はマイナス）、入院料等点数の伸び率は実績有り施設よりも減少幅が大きくなった（表 15）。

表15 寄与度が上位の診療行為(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
特定集中治療室管理料(A301)	0.2%	0.1%	-0.2%
救急医療管理加算(A205)	0.1%	0.0%	0.0%
急性期看護補助体制加算(A207-3)	0.1%	0.0%	0.0%
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	0.1%	0.5%	0.1%
二類感染症患者療養環境特別加算(A220-2)	0.0%	0.0%	0.0%
5行為計	0.6%	0.6%	0.0%

・手術点数伸び率の寄与度分解(資料 17-19)

手術(入院)点数の4~9月期の平均の前年伸び率をこれまでと同様に、回数/件、点数/回の3要素に分け、寄与度分解を行った(表16)。

手術(入院)点数の伸び率は、実績有り・400床以上▲3.5%、実績有り・400床未満▲3.3%、実績無し・400床未満▲3.0%で、件数の寄与度がそれぞれ▲4.5%、▲3.2%、▲2.9%と大きく寄与していた。

表16 手術(入院)点数の前年伸び率の寄与度分解(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
手術点数伸び率	-3.5%	-3.3%	-3.0%
寄与度(件数)	-4.5%	-3.2%	-2.9%
寄与度(点/件)	1.0%	-0.1%	-0.1%
寄与度(回/件)	1.0%	0.6%	0.4%
寄与度(点/回)	0.0%	-0.7%	-0.5%

※手術点数伸び率=入院全体伸び率に対する寄与度とした。

個別の手術の診療行為をみると(資料18)、実績有り・400床以上では、経皮的カテーテル心筋焼灼術(K595)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、水晶体再建術(K282)の減少幅が大きく、実績有り・400床未満では、脊椎側彎症手術(K142-2)、脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(K142)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)の減少幅が大きかった。また、実績無し・400床未満では、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、人工関節置換術(K082)、ペースメーカー移植術(K597)の減少が顕著であった。

また、手術の算定回数の変化をみると(資料19、表17)、全行為回数の4~9月期の前年比は、いずれの医療機関分類でも89%を示し、2万点以上の高額行為の回数の場合でも86~90%と同じような傾向であった。このことは、4~9月期以内での手術の行為点数の高低別の種類の違いが小さいことを示してい

る。一方、緊急事態宣言の4~5月期においては、2万点以上の高額行為の回数の減少幅(77~79%)が全行為回数の減少幅(82~84%)よりも大きくなっており、相対的に高額行為の手控えがあったものと考えられた。但し、実績無し・400床未満の医療機関では、全行為の回数も同様の減少幅を示しており、手術行為全体が縮小していた。

表17 手術(入院)算定回数の前年比

行為種類	期間	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
手術全行為回数	4-9月前年比	89%	89%	89%
手術2万点以上行為回数	4-9月前年比	88%	86%	90%
手術全行為回数	4-5月前年比	82%	84%	78%
手術2万点以上行為回数	4-5月前年比	79%	79%	77%

⑥ 外来の診療行為別の算定状況(資料20)

入院点数の場合と同様に、外来点数前年伸び率に対する各診療行為の寄与度をみると、特に検査と手術の影響が大きかった(表18)。

表18 外来点数前年伸び率の診療行為寄与度(4-9月平均)

診療行為大分類	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
外来点数前年伸び率	-5.7%	-11.3%	-10.1%
検査(D)	-2.3%	-2.4%	-2.5%
手術(K)	-1.1%	-4.4%	-3.8%
その他診療行為	-2.3%	-4.6%	-3.8%

・手術点数伸び率の寄与度分解(資料21-23)

手術(外来)点数の4~9月期の平均の前年伸び率の寄与度分解をみると(表19)、手術(外来)点数の伸び率は、実績有り・400床以上で▲1.1%、実績有り・400床未満で▲4.4%、実績無し・400床未満で▲3.8%で、400床未満の医療機関の伸び率の減少幅が大きくなった。件数の寄与度はそれぞれ▲1.9%、▲3.2%、▲2.3%で伸び率に寄与しているものの、医療機関分類間で比較すると、400床未満の医療機関の点数/回の要素項目の寄与度の減少幅(▲1.5%~▲1.1%)も寄与しており、手術点数の伸び率に影響を与え

ていた。

表19 手術(外来)点数の前年伸び率の寄与度分解 (4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
手術点数伸び率	-1.1%	-4.4%	-3.8%
寄与度(件数)	-1.9%	-3.2%	-2.3%
寄与度(点/件)	0.8%	-1.1%	-1.5%
寄与度(回/件)	0.6%	0.4%	0.8%
寄与度(点/回)	0.2%	-1.5%	-2.2%

※手術点数伸び率=外来全体伸び率に対する寄与度 とした。

さらに、個別の手術の診療行為をみると(資料 22、表 20)、実績有り・400床未満では、減少幅の大きい脊椎側彎症手術(K142-2)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)において、回数の減少とともに、行為点数の減少が見られた(行為点数の小さい行為にシフト)。同様に、実績無し・400床未満では、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、人工関節置換術(K082)にその傾向が見られた。

行為点数の内訳をみると、脊椎側彎症手術(K142-2)では、交換術や伸展術、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)では、不安定狭心症やその他の術、人工関節置換術(K082)では、手足や指等の点数の低い行為にシフトしている傾向がみられ、点数/回の要素項目の減少となったと考えられた。

表20 寄与度の減少幅が大きい診療行為(手術)の回数あたり点数

		回数あたり点数(点/回)		
		前年4-9月	当年4-9月	差異
実績有り	脊椎側彎症手術(K142-2)	274,473	219,330	-55,144
400床未満	経皮的冠動脈ステント留置術(K549)	84,234	79,245	-4,989
実績無し	経皮的冠動脈ステント留置術(K549)	113,082	104,575	-8,507
400床未満	人工関節置換術(K082)	114,402	104,443	-9,960

手術の算定回数の変化をみると(資料 23、表 21)、全行為回数の4~9月期の前年比は、いずれの医療機関分類でも 82~89%を示したものの、2万点以上の高額行為の回数の場合では、実績有り・400床未満及び実績無し・400床未満の医療機関分類でいずれも 64%と減少幅が拡大した。さらに、緊急事態宣言

の4~5月期においては、全行為回数も 71~80%と手控えられたうえに、2万点以上の高額行為の回数の減少幅は、実績有り・400床未満で 61%、実績無し・400床未満で 43%と顕著に拡大した。

表21 手術(外来)の算定回数の前年比

行為種類	期間	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
手術全行為回数	4-9月前年比	89%	82%	88%
手術2万点以上行為回数	4-9月前年比	84%	64%	64%
手術全行為回数	4-5月前年比	80%	71%	73%
手術2万点以上行為回数	4-5月前年比	78%	61%	43%

・検査点数伸び率の寄与度分解(資料 24-26)

検査(外来)点数の4~9月期間の平均の前年伸び率をこれまでと同様に、回数/件、点数/回の3要素に分け、寄与度分解を行った。

検査(外来)点数の伸び率は(資料 24、表 22)、実績有り・400床以上▲2.3%、実績有り・400床未満▲2.4%、実績無し・400床未満▲2.5%で、件数の寄与度がそれぞれ▲3.2%、▲3.2%、▲3.0%と大きく寄与していた。

表22 検査(外来)点数の前年伸び率の寄与度分解 (4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
検査点数伸び率	-2.3%	-2.4%	-2.5%
寄与度(件数)	-3.2%	-3.2%	-3.0%
寄与度(点/件)	1.0%	0.8%	0.5%
寄与度(回/件)	0.6%	0.6%	0.8%
寄与度(点/回)	0.4%	0.2%	-0.4%

※検査点数伸び率=外来全体伸び率に対する寄与度 とした。

個別の検査の診療行為をみると(資料 25)、実績有り・400床以上では、検体検査判断料(D026)、血液化学検査(D007)、超音波検査(D215)等の減少幅が大きく、実績有り・400床未満でも、同様に、検体検査判断料(D026)、血液化学検査(D007)、超音波検査(D215)等の減少幅が大きかった。また、実績無し・400床未満では、検体検査判断料(D026)、胃・十二指腸ファイバースコープ(D308)、血液化学

検査(D007)等であった。

検査の算定回数の変化をみると(資料26、表23)、全行為回数の4~9月期の前年比は、いずれの医療機関分類でも87~91%を示し、500点以上の高額行為の回数の場合では、実績無し・400床未満の医療機関を除き、前年比が92~93%と全行為回数より減少幅が小さかった。緊急事態宣言の4~5月期においては、全行為回数が73~84%と手控えられたうえに、500点以上の高額行為の回数の減少幅は、65~69%と拡大していた。

表23 検査(外来)の算定回数の前年比

行為種類	期間	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満
検査全行為回数	4-9月前年比	87%	88%	91%
検査500点以上行為回数	4-9月前年比	92%	93%	83%
検査全行為回数	4-5月前年比	73%	79%	84%
検査500点以上行為回数	4-5月前年比	65%	69%	66%

⑦ 特例的な対応状況(入院関係)

新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえて、医療機関で特例的な対応をしている診療報酬の算定状況(入院関係)を分析した。

・救命救急入院料の算定状況(資料27)

救命救急入院料の算定回数の前年同月比をみると(表24、実績有り・400床以上のみ算定)、2~3割の減少となっていた。そのうち、月平均の新型コロナウイルス感染症患者数は、全体の78%の前年同月比うち、9%を占めた。

表24 救命救急入院料の算定回数前年同月比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均
救命救急入院料1~4	74%	70%	70%	86%	84%	83%	78%
(再掲)救命救急入院料※2-3倍	7%	7%	1%	3%	8%	7%	6%
(再掲)新型コロナウイルス感染症患者	15%	10%	2%	6%	10%	9%	9%
参考(NDB算定回数)	105%	85%	79%	76%	-	-	86%

※参考(NDB算定回数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。NDBデータ(4-7月)による全国の医療機関の集計値。

・特定集中治療室管理料の算定状況(資料28)

特定集中治療室管理料の算定回数の4~9月平均前年比は(表25)、実績有り・400床以上、実績有り・400床未満とも100%弱の前年並みとなった。全体の前年比のうち新型

新型コロナウイルス感染症患者数は、実績有り・400床以上で6%、実績有り・400床未満で1%を占めた。実績無し・400床未満の医療機関の4~9月平均前年比は76%であった。

表25 特定集中治療室管理料の算定回数前年比(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満	参考(NDB算定回数)
特定集中治療室管理料1~4	97%	98%	76%	101%
(再掲)特定集中治療室管理料※2-3倍	3%	4%	-	-
(再掲)新型コロナウイルス感染症患者	6%	1%	-	-

※参考(NDB算定回数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。NDBデータ(4-7月)による全国の医療機関の集計値。

・ハイケアユニット入院医療管理料の算定状況(資料29)

ハイケアユニット入院医療管理料の算定回数の4~9月平均前年比は(表26)、実績有り・400床以上が99%、実績有り・400床未満が137%、実績無し・400床未満が118%であった。全体の前年比のうち新型コロナウイルス感染症患者数は、実績有り・400床以上で17%、実績有り・400床未満で34%を占めた。

表26 ハイケアユニット入院医療管理料の算定回数前年比(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満	参考(NDB算定回数)
ハイケアユニット入院医療管理料1~2	99%	137%	118%	145%
(再掲)ハイケアユニット入院医療管理料※2-3倍	1%	2%	-	-
(再掲)新型コロナウイルス感染症患者	17%	34%	-	-

※参考(NDB算定回数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。NDBデータ(4-7月)による全国の医療機関の集計値。

・救急医療管理加算の算定状況(資料30)

救急医療管理加算の算定回数の4~9月平均前年比は(表27)、実績有り・400床以上が100%、実績有り・400床未満が89%、実績無し・400床未満が108%であった。全体の前年比のうち新型コロナウイルス感染症患者数は、実績有り・400床以上で6%、実績有り・400床未満で5%を占めた。

表27 救急医療管理加算の算定回数前年比(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満	参考(NDB算定回数)
救急医療管理加算	100%	89%	108%	85%
(再掲)救急医療管理加算※2.3倍	4%	3%	0%	-
(再掲)新型コロナウイルス感染症患者	6%	5%	-	-

※参考(NDB算定回数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。NDBデータ(4-7月)による全国の医療機関の集計値。

・新型コロナウイルス感染症患者の入院の状況(資料31)

新型コロナウイルス感染症患者の入院期間別の診療行為の状況を実績有り・400床以上の医療機関でみると、在院率が入院14日目で31%であった。15日目以降になると患者1人あたりの診療行為点数のうち、処置と手術の点数が増える傾向にあった。処置では人工呼吸(5時間超等)(J045)や持続緩徐式血液濾過(J038-2)等、手術では、経皮的心肺補助法(初日,2日目以降)(K602)等の実施率が上昇した。

一方、実績有り・400床未満では、在院率が19%となり、その後の患者1人あたり診療行為点数も顕著に増えない傾向を示した。

⑧ 特例的な対応状況(外来関係)(資料32,33)

入院関係の場合と同様に、外来関係について、医療機関で特例的な対応をしている診療報酬の算定状況を分析した(表28)。

院内トリアージ実施料の算定回数の4~9月平均前年比は、入院の場合で、実績有り・400床以上が350%、実績有り・400床未満が393%、実績無し・400床未満が216%であった。外来の場合で、それぞれ126%、384%、267%であり、参考(NDB算定回数)の291%と同様の傾向がみられた。

また、初診料(外来)の算定回数の4~9月平均前年比は、それぞれ73%、75%、77%となり、参考(NDB算定回数)69%と同等程度の水準を示した。

再診料(外来)の算定回数の4~9月平均前年比は、実績有り・400床以上を除き、同じ84%となり、参考(NDB算定回数)86%と同水準を示した。

外来診療料の算定回数の4~9月平均前年比は、それぞれ84%、86%、91%となり、参考(NDB算定回数)の84%とおおよそ同程度の水準を示した。

表28 初再診料等の算定回数前年比(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満	参考(NDB算定回数)
院内トリアージ(入院)	350%	393%	216%	291%
院内トリアージ(外来)	126%	384%	267%	
初診料(外来)	73%	75%	77%	69%
再診料(外来)	-	84%	84%	86%
外来診療料(外来)	84%	86%	91%	84%

※参考(NDB算定回数)は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。NDBデータ(4-7月)による全国の医療機関の集計値。

電話等やオンラインの初再診料の算定回数をみると(資料33)、電話等初診料は、2020年4月から算定可能であるが、ほとんど算定されていない状態であった。また、電話等再診料は、400床以上の医療機関で月平均10回、400床未満の医療機関で20~30回程であった。オンライン診療料については、施設当たり月1回にも満たない算定状況であった。

⑨ 特例的な対応状況(手術・検査等)(資料34)

手術・検査等について、医療機関で特例的な対応をしている診療報酬の算定状況を分析した。

手術の算定回数の4~9月平均前年比は(表29)、入院の場合85~87%、外来の場合80~85%で、参考(NDB算定回数)の88%よりはやや低いもののほぼ同様の傾向がみられた。

また、心臓カテーテル法による諸検査では、入院の場合で79~86%、外来の場合で65~

88%であり、実績有り・400床未満の65%を除くと、参考（NDB算定回数）の73%より高い傾向となった。

内視鏡検査では、入院で82～84%、外来で74～78%となっており、外来の前年比が相対的に低くなった。参考（NDB算定回数）と比較して入院の内視鏡検査の前年比が高い傾向であった。

表29 手術・検査等の算定回数前年比(4-9月平均)

	実績有り・400床以上	実績有り・400床未満	実績無し・400床未満	参考（NDB算定回数）
手術（入院）	85%	86%	87%	88%
手術（外来）	85%	80%	83%	
心臓カテーテル法による諸検査（入院）	79%	80%	86%	73%
心臓カテーテル法による諸検査（外来）	81%	65%	88%	
内視鏡（入院）	83%	84%	82%	72%
内視鏡（外来）	74%	78%	75%	

※参考（NDB算定回数）は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。NDBデータ(4-7月)による全国の医療機関の集計値。

⑩ 社会医療診療行為別統計データとの比較

2019年6月審査分（おおよそ5月診療月分とみなす）の社会医療診療行為別統計データと2019年5月診療月の本研究データの1件あたり点数を比較すると（表30）、入院の400床未満の医療機関では、社会医療診療行為別統計が55,712点であったのに対して本研究データでは54,640点となっており、2%程本研究データが小さい結果となった。また、400床以上で見ると、62,805点に対して60,256点で4%程小さかった。外来では、400床未満で4%程大きく、400床以上で5%程大きかった。本研究データの1件あたり点数は、全国平均と比較して、入院ではやや小さく、外来ではやや大きい傾向にあるが、大きな違いは見られなかった。

表30 1件あたり点数比較

病床規模		1件あたり点数		
		社会医療診療行為別統計 a	本研究データ b	比 a/b
入院	400床未満(100-399床)	55,712	54,640	1.02
	400床以上	62,805	60,256	1.04
外来	400床未満(100-399床)	2,226	2,325	0.96
	400床以上	3,125	3,276	0.95

同様の比較データを用いて、年齢階級別レセプト件数の構成比をみると（資料35）、入院の場合は、社会医療診療行為別統計の年齢階級別の構成比に対して、400床未満の場合は、どの年齢階級別の構成比差も±2%以内でその違いは小さかった。一方、400床以上の場合は、85歳以上で構成比の差が際立っていた。外来は、本研究データの400床以上及び400床未満の医療機関とも39歳以下の年齢階級での構成比が低い傾向が示された。傷病別の入院では（資料35）、社会医療診療行為別統計データの傷病別件数構成比に対して、本研究データの400床以上及び400床未満の医療機関とも、新生物の構成比が高く、精神及び行動の障害の構成比が低い傾向であった。外来は、新生物の構成比が高く、目及び付属器の疾患、呼吸器系の疾患の構成比が低い傾向であった。

D. 考察

医療機関の特徴として、400床以上の大きな病院は、対応実績有り施設となっており、開設者は国が4割超えで最も多かった。対応実績有無に関わらず、400床未満の病院は社会保険関係団体が4割超えで最も多かった。

新型コロナウイルス感染症入院患者は、国内発生動向と同様に2020年4～5月に増加し、その後減少して2020年8月に増加していたが、外来患者は4月から徐々に増え続けていた。

入院収入については、患者数の減少の影響

が大きく、4～9月期間の入院点数の前年伸び率で実績有り・400床以上の場合▲7.8%、実績有り・400床未満の場合▲9.5%、実績無し・400床未満の場合▲10.0%の減少となり、新型コロナウイルス感染症患者の対応実績の無い医療機関において対応実績のある医療機関と同等以上の収入減少となった。

入院の患者数については、年齢階級では若年層（15歳以下）の減少幅が大きく、傷病別では、呼吸器系の疾患の減少幅が大きかった。呼吸器系の疾患のうち特に、急性上気道感染症や肺炎等の疾患が顕著に減少していた。

入院料等の診療行為では、一般病棟入院基本料や特定機能病院入院基本料、地域包括ケア病棟入院料、小児入院医療管理料等において、減少幅が大きく、いずれの医療機関分類でも当該診療行為の寄与度を合わせて▲5%～▲3%となった。一方、特定集中治療室管理料や救急医療管理加算、急性期看護補助体制加算、ハイケアユニット入院医療管理料、二類感染症患者療養環境特別加算等においては、実績無し・400床未満の医療機関でプラスの寄与が無く（特定集中治療室管理料の場合はマイナス）、入院料等点数の伸び率は、実績有り施設よりも減少幅が大きくなる結果となった。

また、手術（入院）の診療行為では、実績有り・400床以上では、経皮的カテーテル心筋焼灼術(K595)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、水晶体再建術(K282)の減少幅が大きく、実績有り・400床未満では、脊椎側彎症手術(K142-2)、脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）(K142)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)の減少幅が大きかった。また、実績無し・400床未満では、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、人工関節置換術(K082)、ペースメーカー移植術(K597)の減少が顕著であ

った。

外来収入については、入院収入と同様に、患者数の減少の影響が大きく、4～9月期間の外来点数の前年伸び率で実績有り・400床以上の場合▲5.7%、実績有り・400床未満の場合▲11.3%、実績無し・400床未満の場合▲10.1%の減少となり、400床未満の病床規模の小さい医療機関の外来収入の減少幅が大きくなった。

外来の患者数について、年齢階級では若年層（15歳以下）の減少が顕著で、傷病別では、呼吸器系の疾患の減少幅が大きかった。入院の場合と同様に、急性上気道感染症や肺炎等の疾患が顕著に減少していた。

手術（外来）の診療行為では、4～9月期間における前年伸び率が、実績有り・400床以上の場合▲1.1%、実績有り・400床未満の場合▲4.4%、実績無し・400床未満の場合▲3.8%と400床未満の医療機関で大幅な減少となった。実績有り・400床以上の医療機関との比較で違いをみると、特に診療行為回数あたりの点数の寄与度の減少が大きく異なっており、件数の減少に加え、行為点数の減少が外来収入の伸び率に影響を与えていると考えられた。個別の手術の診療行為をみると、実績有り・400床未満では、減少幅の大きい脊椎側彎症手術(K142-2)、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)において、回数の減少とともに、行為点数の減少が見られた（行為点数の小さい行為にシフト）。同様に、実績無し・400床未満では、経皮的冠動脈ステント留置術(K549)、人工関節置換術(K082)にその傾向が見られた。

検査（外来）の診療行為をみると、いずれの医療機関分類でも検体検査判断料(D026)、血液化学検査(D007)の減少幅が大きく、外来収入に影響を与えていた。

社会医療診療行為別統計データとの比較

をしたところ、本研究データの1件あたり点数は、全国平均と比較して、入院ではやや小さく、外来ではやや大きい傾向にあるが、それほど大きな違いは見られなかった。400床未満は、年齢階級別の構成比差は±2%以内でさほど違い見られなかったが、400床以上は、85歳以上で構成比の差が際立っていた。社会医療診療行為別統計のデータは、全国の病院の平均であるので、慢性期系・精神系疾患の病院（療養病床及び精神病床が多い）が相対的に多く、そのため高齢者の構成比が高くなるものと考えられた（本研究データの400床以上の医療機関は急性期系の病院が中心）。

本研究では、同じ医療機関データにおいて、前年同月比較をすることで、新型コロナウイルス感染症の影響を検討したが、より精緻に比較検討するためには、比較対象の医療機関の患者特性等を調整したうえで、診療状況の違いを比較検討することが必要である。

また、2020年4～9月を調査期間としているため、感染拡大の第1波への対応状況を把握するものとなっており、その後の感染拡大への対応状況を明らかにするためには、引き続き調査を行うことが必要と考えられる。

E. 結論

本研究より、入院・外来収入については、対応実績有無に関わらず、患者数の減少の影響が大きいことが明らかになった。年齢階級では若年層（15歳以下）の減少が顕著で、傷病別では、呼吸器系の疾患の減少幅が大きかった。呼吸器系の疾患のうち特に、急性上気道感染症や肺炎等の疾患が顕著に減少していた。外来収入については400床未満の病床規模の小さい医療機関の外来収入の減少幅が大きかった。手術件数の減少に加え、行為点数の減少が入院・外来収入の伸び率に影響を与えていた。

響を与えていた。

なお、本研究結果は、2020年9月までのDPCデータ実績に基づいて分析した結果であり、その後の新型コロナウイルス感染症の再拡大等に伴う医療機関の経営状況等を反映しているものではないことに留意する必要がある。

F. 健康危険情報

該当無し

G. 研究発表

該当無し

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当無し

【参考資料】

(1) 2019年度[「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料]の各様式(ファイル構成)と入力要領参照

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoyouhoken/dl/dpc_setumeishiryoyou.pdf

(2) 2020年度[「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料]の各様式(ファイル構成)と入力要領参照

https://www01.prrism.com/dpc/2020/file/setumei_20200330.pdf

(3) 「レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoyouhoken/reseputo/index.html

(4) 「社会医療診療行為別統計」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/26-19.html>

(5) 令和3年3月10日中央社会保険医療協議

会「新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた診療報酬の算定状況等について」参照

<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000751096.pdf>

(6) 「社会保険表章用疾病分類(ICD10(2013年版))準拠」参照

https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/hokensippei_ver_ICD10_2013.pdf

「新型コロナウイルス感染症が医療機関の経営に及ぼす影響に関する調査」における
「DPCデータ詳細分析調査」説明資料

「DPC データ詳細分析調査」について

- 本調査（「DPC データ詳細分析調査」）では、診療報酬請求情報（DPC データ）の提出可能な施設からデータをご提供いただきます。
- 本調査は、新型コロナウイルス感染症の流行が医療機関の経営にどの程度影響を与えているかについて、詳細な分析を行いより精緻な要因分析を行うとともに、現在厚生労働省などで実施されている支援策の効果を分析することで、新型コロナウイルス感染症の医療機関の経営影響の要因を明らかにし、今後の支援策の検討に向けた基礎材料とすることを目的とするものです。
- 本調査で提出されたデータ（DPC データ）については、医療機関及び患者個人が特定できないように集計し、Web アンケート調査なども含めた研究結果として、国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表される予定です。なお、本調査は、順天堂大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施いたします（承認日：2020年10月21日、承認番号：順大医倫2020182号）。
- 本説明資料では、本調査におけるDPCデータの提出方法などについて、次頁以降で説明いたします。また、別紙に本調査の利用目的などを記載した貴施設における院内掲示用の文案を作成していますので、ご活用ください。

1. 本調査の対象病院、対象データ

- 本調査にご協力いただきたい病院（対象病院）は、DPC対象病院、若しくはDPC準備病院・それ以外の病院で「データ提出加算※2又は4の届出病院」とします。
- 本調査の対象データは、DPCデータの以下の様式及びファイルとします。
 - ・ 様式1（患者属性や病態等の情報）
 - ・ Dファイル（包括レセプト情報）〔DPC対象病院のみ〕
 - ・ 入院EF統合ファイル（出来高レセプト情報）
 - ・ 外来EF統合ファイル（出来高レセプト情報）
- 対象データのデータ期間は、以下の通りとします（令和元年度・令和2年度いずれのデータ期間も提出可能な病院）。
 - ・ 令和元年度4月から9月までの6か月分
 - ・ 令和2年度4月から9月までの6か月分

※ 参照「データ提出加算について」

データ提出加算（2019年度診療報酬）	データ提出加算（2020年度診療報酬）
1 データ提出加算1 イ 許可病床数が200床以上の病院の場合 150点 ロ 許可病床数が200床未満の病院の場合 200点 2 データ提出加算2 イ 許可病床数が200床以上の病院の場合 160点 ロ 許可病床数が200床未満の病院の場合 210点 注 入院中に1回に限り、退院時に加算する。	1 データ提出加算1 イ 許可病床数が200床以上の病院の場合 140点 ロ 許可病床数が200床未満の病院の場合 210点 2 データ提出加算2 イ 許可病床数が200床以上の病院の場合 150点 ロ 許可病床数が200床未満の病院の場合 210点 注 データ提出加算1及び2について入院初日に限り加算する。 3 データ提出加算3 イ 許可病床数が200床以上の病院の場合 140点 ロ 許可病床数が200床未満の病院の場合 210点 4 データ提出加算4 イ 許可病床数が200床以上の病院の場合 150点 ロ 許可病床数が200床未満の病院の場合 210点 注 データ提出加算3及び4について療養病棟入院基本料等を届け出ている病棟について入院期間が90日を超えるごとに1回加算する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ データ提出加算は、厚生労働省が実施する「DPC導入の影響評価に係る調査(特別調査を含む)」に準拠したデータが正確に作成及び継続して提出されることを評価したもの。 ・ データ提出加算1又は3：「入院患者に係るデータ」のみ提出 ・ データ提出加算2又は4：「入院患者に係るデータ」＋「外来患者に係るデータ」の提出 	

2. 対象データ（提出データ）の内容

- 本調査において提出するデータは、以下の電子ファイルとなります。

様式・ファイル	内容	入力されている情報
様式1	簡易診療録情報	患者属性や病態等の情報
Dファイル (DPC対象病院のみ)	診断群分類点数表に基づく診療報酬算定情報	DPC（包括）レセプト
入院EF統合ファイル	入院診療患者の医科点数表に基づく診療報酬算定情報	入院の出来高レセプト
外来EF統合ファイル	外来診療患者の医科点数表に基づく診療報酬算定情報	外来の出来高レセプト

※ 上記の様式、ファイルの作成方法は、『2019年度及び2020年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料』に基づくものとします（『「DPC導入の影響評価」に係るレセプトデータダウンロード方式によるレセプト情報データ収集について』（第15版厚生労働省保険局医療課）を含む）。

- 提出データと対象病院との組み合わせ一覧は、以下のとおりです。

様式・ファイル	DPC対象病院	データ提出加算2又は4の届出病院	
		DPC準備病院	左記以外の病院
様式1	○	○	○
Dファイル	○	×	×
入院EF統合ファイル	○	○	○
外来EF統合ファイル	○	○	○

- 提出データのファイル名称は、「DPC導入の影響評価に係る調査」で提出する元ファイルの名称のとおりとします（形式チェック機能にかける前のテキストデータ）。

- ・ 様式1 FF1_123456789_2004.txt
- ・ Dファイル Dn_123456789_2004.txt
- ・ 入院EF統合ファイル EFn_123456789_2004.txt
- ・ 外来EF統合ファイル EFg_123456789_2004.txt

【ファイル名】

アンダーバー	アンダーバー	アンダーバー	ドット
↓	↓	↓	↓
FF1	_123456789	_2004	.txt
↓	↓	↓	↓
ファイルの種類	都道府県コード(2桁)+医療機関コード(7桁)の数字9桁	西暦年下2桁+月2桁の数字4桁	タブ区切テキスト形式

3. データ提出方法、提出先

○ データ提出方法

- データの提出にあたっては、着払い配送によるデータ提出とします。
- 配達事業者及び配達形態については、『「DPC 導入の影響評価に係る調査」実施説明資料』で指定されている配達サービスとします。

サービス可能な配達方法（『「DPC 導入の影響評価に係る調査」実施説明資料』）

佐川急便	宅配便・航空便／飛脚特定信書便／飛脚ジャストタイム便
西濃運輸	宅配便・航空便
日本通運	宅配便・航空便
ヤマト運輸	宅急便コンパクト／宅急便・航空便
日本郵便	簡易書留／書留／ゆうパック／新特急郵便（書留）／ 配達時間指定郵便（書留）／レターパックプラス

○ データの提出先

〒190-0012 東京都立川市曙町 1-18-2 一清ビル別館3F
「DPC データ詳細分析調査」調査事務局 行 （株式会社情報実業 内）

○ データ提出媒体

- 提出するデータファイルは、原則としてCD-R、DVD-R、DVD+Rのいずれかの媒体に格納して、提出してください。その際、提出するデータファイルには、パスワードは設定しないで保存してください。
- 提出する媒体については、貴院にてご準備ください。
- 上記以外の媒体（MO や USB メモリ等）での提出の場合は、別途調整させていただきます。

○ 提出媒体のラベル表示等の留意事項

- ラベルは媒体本体に表記し、「施設名」、「データ年月（西暦年月）」、「作成年月日（西暦年月日）」を必ず記入してください。
- ラベルを貼付する場合は専用のラベルを用いてください。手書きが可能な媒体であれば手書きでも構いません（油性マジック使用）。また、プリンターによる印字でも可とします。
- データのバックアップは、必ず行ってください。
- 通常の DPC 調査の場合と同様に、提出用データは媒体内の直下に作成し、フォルダ（zip 含む）等を作成して格納しないでください（事務作業効率化の観点から）。
- 複数月分のデータを1枚の媒体に収めても構いません。
- 提出媒体は、必ずプラスチックケースに入れて提出してください。
- 媒体の記録容量・記録速度は問いません。

4. データ提出の手続き及び日程等

データ提出の手続きと主な日程は、以下の通りです。

- 調査協力依頼（令和2年12月～翌年1月）
 - ・ ご担当者様から調査事務局に電話またはメールにて調査にご協力いただける旨をご連絡ください（p.5「○連絡方法、連絡先について」を参照）。
 - ・ 調査事務局から病院のご担当者様へ連絡を行い、調査内容の詳細説明を行います（電話及びメール）。
 - ・ そのうえで、病院担当者の所属・氏名や連絡先（電話、メールアドレス）の確認を行います。
 - ・ また、データの提出日程についても確認を行います。
- データ作成及び提出（令和3年1月下旬）
 - ・ 対象となった病院は、対象期間分（令和元年度4月～9月分、令和2年度4月～9月分）の対象データ（様式1、Dファイル、入院EF統合ファイル、外来EF統合ファイル）を作成し、提出媒体にデータを格納し、格納した提出媒体を調査事務局へ配送します。
 - ・ 調査事務局の作業効率の観点から、対象期間別に作成できたものから複数回に分けて配送することも可とします。
- データ受領及び内容確認（令和3年2月上旬）
 - ・ 調査事務局は、提出データの受領確認と受領した旨の提出先病院への連絡を行います。
 - ・ 提出データの内容精査を行い、データ内容によっては、提出病院へ問い合わせを行います。
- 提出データの消去・廃棄（令和3年3月中）
 - ・ 提出データについては、返却を行わず、調査が終了次第、調査事務局が責任をもって消去・廃棄を行います。

5. その他連絡事項等

○ 調査協力謝金について

- 本調査へのご協力として謝金（1万円）をお支払いします（銀行振り込み）。
- 調査ご協力の確認が取れ次第、銀行への振込先をお聞きいたします。
- 銀行への振込は、振込先を確認してから約2か月先を予定しております。

○ 連絡方法、連絡先について

- 調査事務局への連絡は、メール又は電話とします。

「DPC データ詳細分析調査」調査事務局 担当者：櫻井（さくらい）

メール：reseach@jjnet.co.jp

電話：0120-446-476（平日 10:00-17:00）

以上

事 務 連 絡
令和 2 年 12 月 15 日

各 研究協力医療機関 御中

厚生労働省医政局総務課

「新型コロナウイルス感染症が医療機関の経営に及ぼす影響に関する調査」
に対する協力をお願いについて（情報提供）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和 2 年度の厚生労働行政推進調査事業において、下記の研究を行っております。

本研究は、新型コロナウイルス感染症の拡大が医療機関の経営に影響していると指摘されている中において、医療機関の経営状況を把握し、今後の医療機関支援策等を検討するために、貴重なデータとなるものです。

については、研究班からの調査についてご協力をいただきたく、宜しく願い申し上げます。

記

研 究 名：新型コロナウイルス感染症が医療機関の経営に及ぼす影響ならびにその支援策の効果の検証

（令和 2 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業））

研究代表者：順天堂大学医学部・大学院医学研究科公衆衛生学講座教授 谷川 武

調査内容等：別紙のとおり

令和2年12月吉日

各医療機関の長の皆様へ

「新型コロナウイルス感染症が医療機関の経営に及ぼす影響に関する調査」へのご協力をお願い

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応では、多くの医療機関において COVID-19 患者の受け入れが行われたほか、それ以外の医療機関においても COVID-19 疑い患者の外来対応等、多くの医療機関にご協力をいただいたところです。

厚生労働省においても、COVID-19 への対応として緊急に必要となる感染拡大防止や医療提供体制の整備等について、COVID-19 患者受け入れ医療機関に対する病床確保等、患者と接する医療従事者等への慰労金の支給、COVID-19 患者受け入れのための救急・周産期・小児医療機関の院内感染防止対策等の支援策を実施しています。

このような状況の中、本厚生労働科学研究班では、COVID-19 の流行が医療機関の経営にどの程度影響を与えているかについて、詳細な調査により精緻な要因分析を行うことで、今後の COVID-19 対応に係るご支援に向けた検討材料や、政策立案の基礎資料とすることを目的として、調査を実施することといたしました。

本調査のデータは、個別の医療施設や医師個人が特定される形で公表を行うことはありません。調査結果は、国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。また、本調査にご協力されない場合でも、貴施設の不利益となることはございません。なお、本研究は、順天堂大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施いたします。（承認日：令和2年10月21日、承認番号：順大医倫2020182号）

このような調査趣旨についてご理解いただき、貴施設におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

謹白

令和2年度厚生労働行政推進調査事業（厚生労働科学特別研究事業）
「新型コロナウイルス感染症が医療機関の経営に及ぼす影響なら
びにその支援策の効果の検証」

研究代表者 谷川武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

1. 医療機関分類の特徴

(1) 開設者種類別

No.	医療機関分類条件		施設数	平均病床数	開設者種類1別構成比%					開設者種類2別構成比%	
	コロナ対応実績	病床規模			国	公的医療機関	社会保険関係団体	医療法人	その他	大学病院	大学病院以外
1	実績有り	400床以上	38	607	45%	13%	29%	3%	11%	21%	79%
2	実績有り	400床未満	31	261	19%	13%	42%	23%	3%	-	100%
3	実績無し	400床未満	13	241	31%	15%	46%	8%	-	-	100%

※ 開設者種類1

- 国 : 厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、その他(国)
- 公的医療機関 : 都道府県、市町村、地方独立行政法人、日赤・済生会、厚生連、国民健康保険団体連合会、その他の公的医療機関
- 社会保険関係団体 : 健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
- 医療法人 : 医療法人
- その他法人 : 公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他

※ 開設者種類2

- 大学病院 : 国立大学法人、公立大学法人、私立学校法人
- 大学病院以外 : 上記以外

(2) DPC医療機関群別

No.	医療機関分類条件		施設数	平均病床数	DPC医療機関群別構成比%		
	コロナ対応実績	病床規模			大学病院本院群	DPC特定病院群	DPC標準病院群他
1	実績有り	400床以上	38	607	16%	24%	61%
2	実績有り	400床未満	31	261	-	-	100%
3	実績無し	400床未満	13	241	-	-	100%

※ DPC医療機関群

DPC制度では、診療密度や医師研修、医療技術、複雑性等の指数を医療機関ごとに算出し、その指数等に基づき、「大学病院本院群」、「DPC特定病院群」、「DPC標準病院群」の3つの医療機関群が設定されている。ここでは、2020年4月時点で告示された医療機関リストに基づき、3つの医療機関群別に表示した。なお、DPC制度に参加していない医療機関は、便宜上「DPC標準病院群」に含めた。

(3) 手術実施件数区分別

No.	医療機関分類条件		施設数	平均病床数	手術実施件数区分別構成比%		
	コロナ対応実績	病床規模			高位件数	中位件数	低位件数
1	実績有り	400床以上	38	607	68%	32%	-
2	実績有り	400床未満	31	261	10%	29%	61%
3	実績無し	400床未満	13	241	-	31%	69%

※ 手術実施件数区分

Kコードで表される手術行為等のうち、臓器提供管理料、輸血料、薬剤料、特定保健医療材料、及び時間外等の加算や減算を除いた2019年4月～9月までの医療機関ごとの手術(手技)件数を上位から三分位で高位件数、中位件数、低位件数に分けたもの。

(4) 特定警戒都道府県有無別

No.	医療機関分類条件		施設数	平均病床数	特定警戒都道府県構成比%	
	コロナ対応実績	病床規模			特定警戒	その他
1	実績有り	400床以上	38	607	71%	29%
2	実績有り	400床未満	31	261	81%	19%
3	実績無し	400床未満	13	241	46%	54%

※ 特定警戒都道府県

特定警戒都道府県とは、令和2年4月16日に国の対策本部が、特に重点的に感染拡大防止の取組を進めていく必要があると位置づけた13都道府県で北海道、茨木、埼玉、千葉、東京、神奈川、岐阜、愛知、石川、京都、大阪、兵庫、福岡が該当する。

2. 新型コロナウイルス感染症患者の状況

(1) 新型コロナウイルス感染症患者の入院患者数に占める割合

No.	医療機関分類条件		施設数	入院患者数に占める割合 (%)						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	38	1.3%	1.1%	0.5%	1.2%	1.7%	1.2%	1.2%
2	実績有り	400床未満	31	1.1%	1.6%	0.7%	1.7%	3.2%	2.3%	1.8%
-	実績有り計		69	1.2%	1.2%	0.6%	1.3%	2.0%	1.4%	1.3%
3	実績無し	400床未満	13	-	-	-	-	-	-	-

※ 新型コロナウイルス感染症患者（入院患者）

DPCデータの様式1より算出。主傷病、医療資源1、医療資源2のいずれかの診断において、“疑い”を含む「8850104(COVID-19)」又は「8833876(コロナウイルス感染症)」の傷病コードがある場合の入院患者か、あるいは、入院契機、併存症、後続症のいずれかの診断において、“疑い”のない「8850104(COVID-19)」又は「8833876(コロナウイルス感染症)」の傷病コードがある場合の入院患者。

(2) 新型コロナウイルス感染症患者の外来患者数に占める割合

No.	医療機関分類条件		施設数	外来患者数に占める割合 (%)						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	1.1%	1.2%	1.7%	2.4%	3.1%	3.3%	2.2%
2	実績有り	400床未満	24	1.4%	1.3%	1.4%	2.4%	2.9%	2.3%	2.0%
-	実績有り計		60	1.1%	1.3%	1.6%	2.4%	3.1%	3.1%	2.2%
3	実績無し	400床未満	11	0.3%	0.4%	0.4%	0.7%	0.9%	1.0%	0.6%

※ 新型コロナウイルス感染症患者（外来患者）

外来EF統合ファイルデータより算出。主傷病に限らず「8850104(COVID-19)」又は「8833876(コロナウイルス感染症)」の傷病コードがある場合の外来患者数。いずれも当該傷病が“疑い”であるかどうかは問わない。

3. 入院・外来の状況

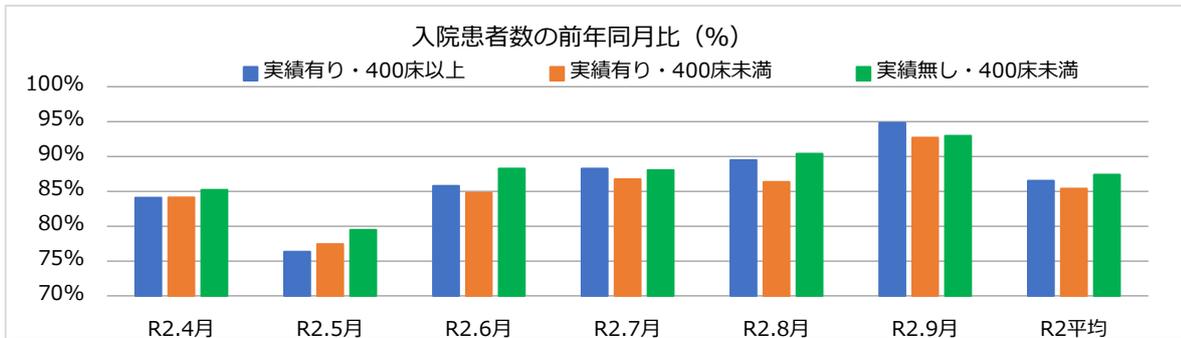
(1) 入院・外来患者数の変化

■入院患者数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	入院患者数の前年同月比 (%)						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	38	84.1%	76.3%	85.8%	88.2%	89.5%	94.8%	86.5%
2	実績有り	400床未満	31	84.1%	77.4%	84.8%	86.7%	86.3%	92.7%	85.4%
3	実績無し	400床未満	13	85.2%	79.5%	88.2%	88.0%	90.4%	92.9%	87.4%
-	参考 (入院レセプト件数)			88.6%	85.7%	92.9%	94.0%	98.2%	101.7%	93.5%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。

参考 (入院レセプト件数) は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。

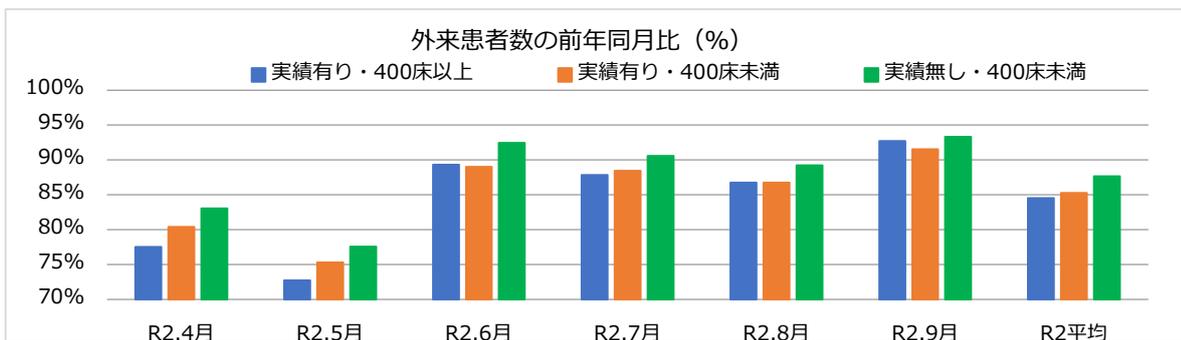


■外来患者数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	外来患者数の前年同月比 (%)						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	77.5%	72.8%	89.3%	87.8%	86.7%	92.7%	84.5%
2	実績有り	400床未満	24	80.4%	75.3%	89.0%	88.4%	86.8%	91.6%	85.3%
3	実績無し	400床未満	11	83.0%	77.6%	92.4%	90.6%	89.2%	93.3%	87.7%
-	参考 (外来レセプト件数)			80.8%	79.0%	89.6%	90.0%	92.9%	92.9%	87.5%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。

参考 (外来レセプト件数) は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。



3. 入院・外来の状況

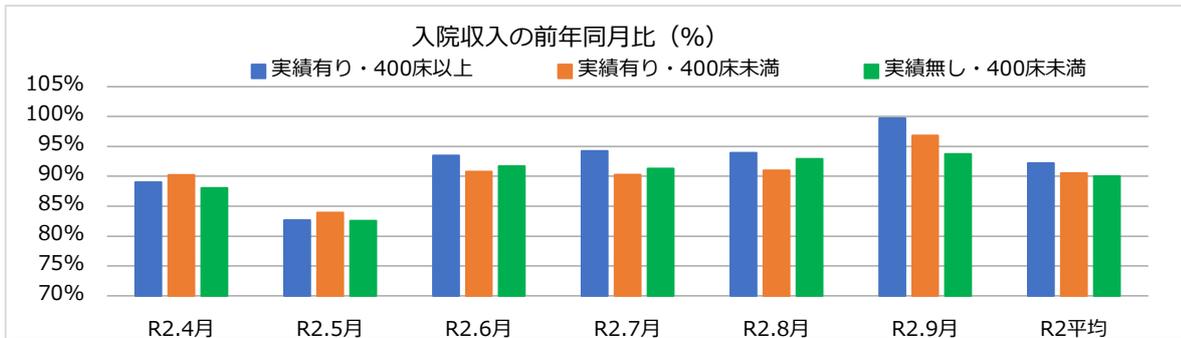
(2) 入院・外来収入の変化

■入院収入の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	入院収入の前年同月比 (%)						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	38	89.0%	82.7%	93.5%	94.2%	93.9%	99.7%	92.2%
2	実績有り	400床未満	31	90.2%	83.9%	90.8%	90.3%	91.0%	96.8%	90.5%
3	実績無し	400床未満	13	88.0%	82.5%	91.7%	91.3%	92.9%	93.7%	90.0%
-	参考 (入院レセプト点数)			93.5%	89.9%	96.0%	95.6%	97.0%	99.9%	95.3%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。

参考 (入院レセプト点数) は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。

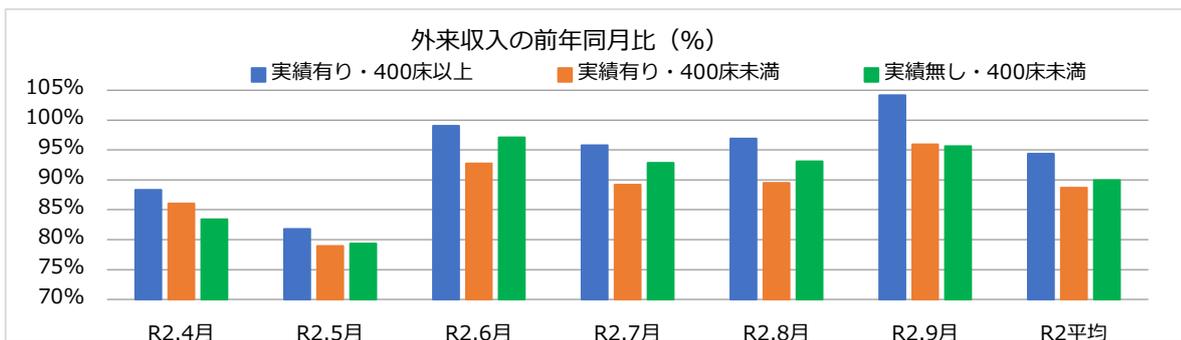


■外来収入の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	外来収入の前年同月比 (%)						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	88.3%	81.8%	99.0%	95.8%	96.9%	104.1%	94.3%
2	実績有り	400床未満	24	86.0%	79.0%	92.7%	89.2%	89.5%	95.9%	88.7%
3	実績無し	400床未満	11	83.4%	79.3%	97.1%	92.8%	93.1%	95.6%	89.9%
-	参考 (外来レセプト点数)			85.9%	84.1%	96.8%	94.1%	95.6%	98.9%	92.6%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。

参考 (外来レセプト点数) は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の病院及び診療所を含めた数値。



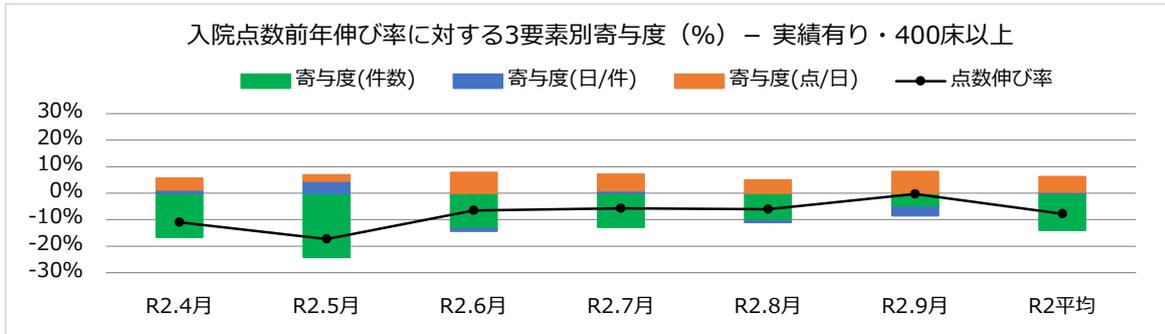
3. 入院・外来の状況

(3) 入院収入（点数）前年伸び率に対する件数・日数/件・点数/日の3要素別寄与度分解

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	点数・件数・日数	入院点数前年伸び率に対する3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	点数伸び率	-11.0%	-17.3%	-6.5%	-5.8%	-6.1%	-0.3%	-7.8%
1	寄与度(件数)	-16.6%	-24.1%	-13.5%	-12.8%	-10.5%	-5.4%	-14.0%
2	寄与度(日/件)	1.3%	4.6%	-0.9%	0.9%	-0.5%	-3.1%	0.5%
3	寄与度(点/日)	4.3%	2.3%	7.8%	6.2%	4.9%	8.2%	5.7%

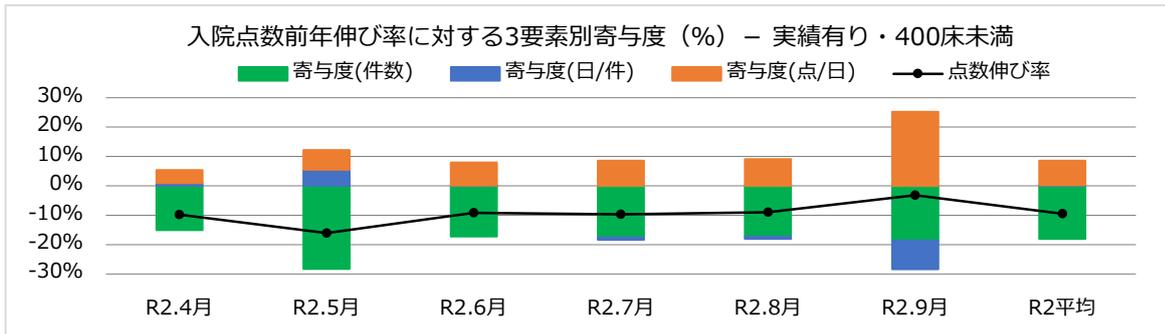
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満（31施設）

No.	点数・件数・日数	入院点数前年伸び率に対する3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	点数伸び率	-9.8%	-16.1%	-9.2%	-9.7%	-9.0%	-3.2%	-9.5%
1	寄与度(件数)	-15.1%	-28.3%	-17.2%	-17.5%	-17.3%	-18.6%	-18.0%
2	寄与度(日/件)	0.9%	5.5%	0.1%	-0.8%	-0.8%	-9.9%	0.2%
3	寄与度(点/日)	4.4%	6.7%	7.9%	8.6%	9.1%	25.3%	8.3%

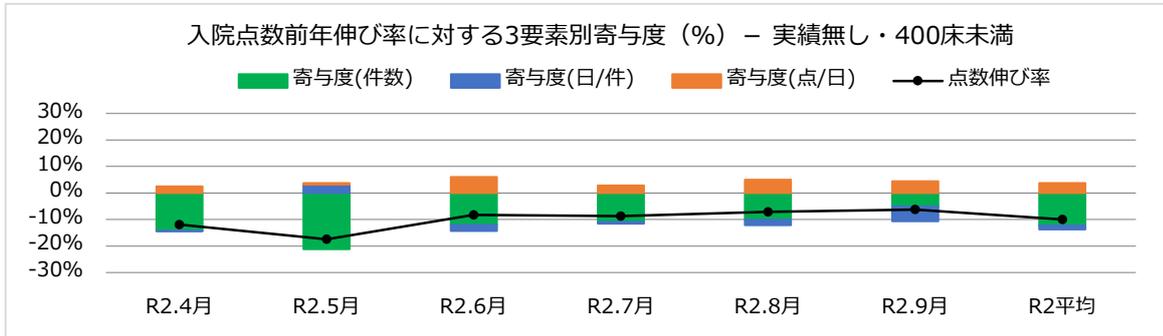
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満（13施設）

No.	点数・件数・日数	入院点数前年伸び率に対する3要素別寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	点数伸び率	-12.0%	-17.5%	-8.3%	-8.7%	-7.1%	-6.3%	-10.0%
1	寄与度(件数)	-14.2%	-21.2%	-12.1%	-10.9%	-10.1%	-5.0%	-12.2%
2	寄与度(日/件)	-0.3%	3.1%	-2.2%	-0.6%	-2.0%	-5.7%	-1.5%
3	寄与度(点/日)	2.5%	0.6%	6.0%	2.8%	5.1%	4.5%	3.7%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



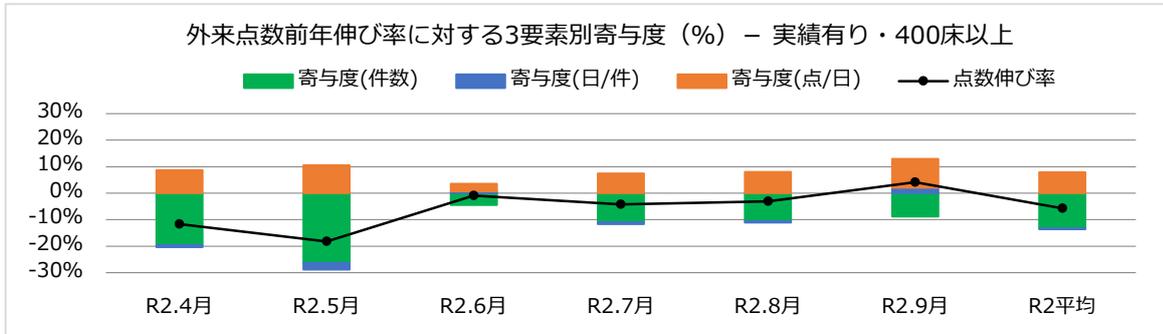
3. 入院・外来の状況

(4) 外来収入（点数）前年伸び率に対する件数・日数/件・点数/日の3要素別寄与度分解

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	点数・件数・日数	外来点数前年伸び率に対する3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	点数伸び率	-11.7%	-18.2%	-1.0%	-4.2%	-3.1%	4.1%	-5.7%
1	寄与度(件数)	-19.5%	-26.3%	-4.5%	-10.9%	-10.5%	-8.8%	-13.3%
2	寄与度(日/件)	-0.8%	-2.5%	0.7%	-0.8%	-0.6%	2.0%	-0.3%
3	寄与度(点/日)	8.7%	10.6%	2.8%	7.5%	8.0%	10.9%	8.0%

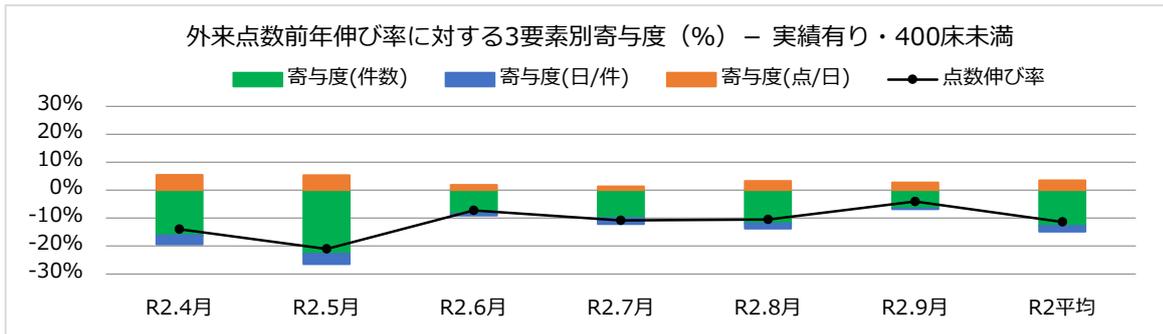
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満（24施設）

No.	点数・件数・日数	外来点数前年伸び率に対する3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	点数伸び率	-14.0%	-21.0%	-7.3%	-10.8%	-10.5%	-4.1%	-11.3%
1	寄与度(件数)	-16.1%	-22.8%	-8.5%	-10.0%	-11.9%	-6.6%	-12.8%
2	寄与度(日/件)	-3.3%	-3.6%	-0.6%	-2.2%	-1.9%	-0.2%	-2.0%
3	寄与度(点/日)	5.4%	5.4%	1.8%	1.4%	3.3%	2.7%	3.5%

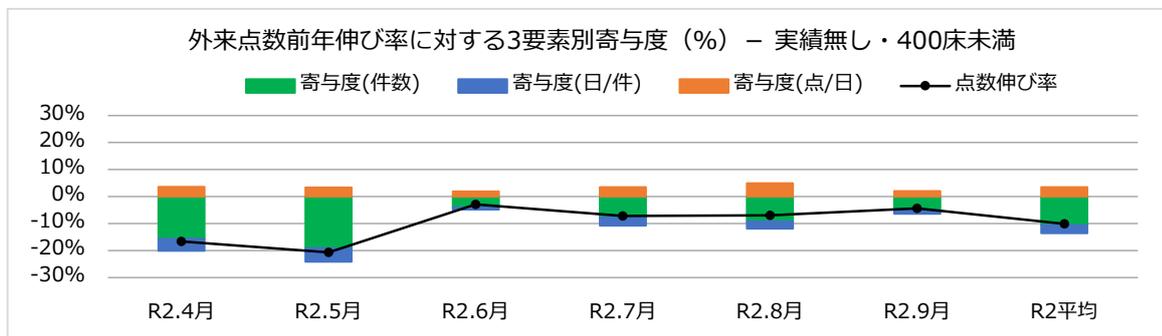
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満（11施設）

No.	点数・件数・日数	外来点数前年伸び率に対する3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	点数伸び率	-16.6%	-20.7%	-2.9%	-7.2%	-6.9%	-4.4%	-10.1%
1	寄与度(件数)	-15.6%	-19.1%	-4.0%	-7.6%	-9.2%	-5.1%	-10.5%
2	寄与度(日/件)	-4.5%	-5.0%	-0.8%	-3.1%	-2.7%	-1.3%	-3.0%
3	寄与度(点/日)	3.6%	3.4%	1.9%	3.5%	5.0%	2.0%	3.5%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



4. 患者数の状況

(1) 傷病大分類別入院患者数の変化

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	傷病大分類	傷病大分類別入院患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	感染症及び寄生虫症（A00－B99）	74.3%	67.1%	80.3%	84.7%	82.0%	85.5%	78.7%
2	新生物＜腫瘍＞（C00－D48）	95.6%	86.7%	91.2%	90.1%	91.7%	96.2%	91.8%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50－D89）	79.4%	83.7%	85.1%	80.6%	84.1%	103.6%	84.7%
4	内分泌、栄養及び代謝疾患（E00－E90）	74.8%	66.3%	80.8%	87.8%	82.8%	88.8%	80.2%
5	精神及び行動の障害（F00－F99）	69.7%	64.5%	77.9%	78.4%	83.9%	93.1%	76.8%
6	神経系の疾患（G00－G99）	70.8%	64.4%	79.2%	84.9%	88.3%	93.6%	79.9%
7	眼及び付属器の疾患（H00－H59）	75.3%	45.6%	70.0%	79.9%	81.1%	93.4%	73.9%
8	耳及び乳様突起の疾患（H60－H95）	58.3%	57.9%	75.8%	70.4%	78.1%	85.1%	70.7%
9	循環器系の疾患（I00－I99）	84.7%	78.0%	85.2%	92.1%	92.7%	98.4%	87.9%
10	呼吸器系の疾患（J00－J99）	62.6%	55.5%	63.0%	60.9%	62.1%	61.4%	60.9%
10-1	(再掲)急性上気道感染症（J01－J06）	47.5%	34.4%	46.7%	43.8%	53.9%	64.3%	47.8%
10-2	(再掲)肺炎（J12－J18）	61.3%	48.4%	46.3%	44.6%	49.1%	47.3%	49.7%
10-3	(再掲)アレルギー性鼻炎（J30）、慢性副鼻腔炎（J32）	40.2%	16.6%	46.9%	78.9%	92.9%	86.5%	61.2%
10-4	(再掲)その他の呼吸器系の疾患（J00－J99の残り）	75.7%	76.1%	84.8%	80.7%	79.8%	83.5%	79.9%
11	消化器系の疾患（K00－K93）	81.5%	79.1%	88.5%	92.5%	90.8%	99.5%	88.4%
12	皮膚及び皮下組織の疾患（L00－L99）	74.7%	70.2%	79.3%	90.2%	93.8%	86.1%	82.6%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患（M00－M99）	84.6%	68.2%	82.6%	88.5%	88.5%	100.6%	84.6%
14	腎尿路生殖系系の疾患（N00－N99）	88.8%	81.9%	92.7%	93.2%	93.7%	105.9%	92.3%
15	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞（O00－O99）	98.2%	91.5%	99.7%	96.4%	95.1%	97.4%	96.3%
16	周産期に発生した病態（P00－P96）	98.8%	97.1%	96.2%	95.9%	91.5%	90.3%	95.3%
17	先天奇形、変形及び染色体異常（Q00－Q99）	70.5%	58.3%	84.9%	81.8%	84.6%	95.8%	79.2%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00－R99）	50.5%	57.2%	83.4%	65.9%	69.7%	100.9%	68.7%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00－T98）	79.7%	78.4%	91.5%	90.7%	94.7%	96.4%	88.1%

※ DPCデータの様式1ファイルより算出。主傷病診断での入院患者数とした。新型コロナウイルス感染症や保健サービスの利用の主傷病患者は除く。

■実績有り・400床未満（31施設）

No.	傷病大分類	傷病大分類別入院患者数の前年同月比 (%)						R2平均
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	
1	感染症及び寄生虫症 (A00 - B99)	74.8%	78.0%	87.4%	84.3%	87.2%	93.3%	83.5%
2	新生物 <腫瘍> (C00 - D48)	90.0%	83.2%	87.3%	85.1%	88.3%	98.4%	88.2%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50 - D89)	94.7%	102.7%	90.3%	80.6%	95.5%	105.5%	93.9%
4	内分泌、栄養及び代謝疾患 (E00 - E90)	75.2%	78.5%	90.3%	84.8%	79.5%	102.1%	84.2%
5	精神及び行動の障害 (F00 - F99)	45.8%	46.6%	69.5%	72.8%	56.2%	76.0%	61.6%
6	神経系の疾患 (G00 - G99)	67.8%	59.1%	67.7%	74.3%	79.3%	80.4%	70.8%
7	眼及び付属器の疾患 (H00 - H59)	85.9%	45.1%	65.0%	79.4%	81.8%	86.8%	73.5%
8	耳及び乳様突起の疾患 (H60 - H95)	87.1%	84.4%	77.5%	82.3%	87.4%	82.2%	83.5%
9	循環器系の疾患 (I00 - I99)	88.2%	80.7%	86.4%	93.8%	88.4%	95.5%	88.3%
10	呼吸器系の疾患 (J00 - J99)	66.9%	60.0%	65.2%	64.4%	60.4%	60.5%	63.0%
10-1	(再掲)急性上気道感染症 (J01 - J06)	47.1%	44.6%	57.0%	37.6%	30.9%	42.7%	42.7%
10-2	(再掲)肺炎 (J12 - J18)	63.4%	48.2%	53.9%	56.2%	57.0%	59.8%	56.1%
10-3	(再掲)アレルギー性鼻炎 (J30)、慢性副鼻腔炎 (J32)	28.6%	5.9%	42.9%	61.9%	105.0%	66.7%	52.9%
10-4	(再掲)その他の呼吸器系の疾患 (J00 - J99の残り)	79.2%	81.4%	83.1%	83.3%	77.3%	76.9%	80.4%
11	消化器系の疾患 (K00 - K93)	80.7%	77.7%	93.6%	94.9%	84.9%	96.4%	87.8%
12	皮膚及び皮下組織の疾患 (L00 - L99)	79.6%	76.5%	88.7%	87.6%	74.9%	82.1%	81.3%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00 - M99)	89.9%	79.2%	81.6%	79.8%	83.7%	92.2%	83.8%
14	腎尿路生殖器系の疾患 (N00 - N99)	92.1%	84.0%	96.7%	96.3%	92.8%	100.6%	93.6%
15	妊娠、分娩及び産じょく <褥> (O00 - O99)	98.5%	78.1%	95.2%	107.5%	127.4%	110.4%	101.8%
16	周産期に発生した病態 (P00 - P96)	76.6%	61.4%	113.0%	103.4%	104.3%	107.7%	93.7%
17	先天奇形、変形及び染色体異常 (Q00 - Q99)	86.4%	55.4%	75.9%	82.1%	100.7%	91.4%	82.3%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00 - R99)	102.0%	83.0%	59.7%	59.1%	65.0%	53.6%	69.0%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00 - T98)	83.3%	80.4%	87.5%	88.6%	88.4%	100.1%	87.1%

※ DPCデータの様式1ファイルより算出。主傷病診断での入院患者数とした。新型コロナウイルス感染症や保健サービスの利用の主傷病患者は除く。

■実績無し・400床未満（13施設）

No.	傷病大分類	傷病大分類別入院患者数の前年同月比 (%)						R2平均
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	
1	感染症及び寄生虫症 (A00 - B99)	70.3%	58.0%	92.0%	67.2%	77.1%	95.5%	74.8%
2	新生物 <腫瘍> (C00 - D48)	88.9%	83.2%	84.4%	87.7%	91.2%	90.6%	87.5%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50 - D89)	100.0%	87.5%	92.6%	139.1%	100.0%	110.5%	104.0%
4	内分泌、栄養及び代謝疾患 (E00 - E90)	80.3%	85.0%	85.0%	78.9%	76.2%	83.5%	81.0%
5	精神及び行動の障害 (F00 - F99)	53.8%	66.7%	154.5%	100.0%	112.5%	56.5%	86.7%
6	神経系の疾患 (G00 - G99)	88.1%	86.5%	91.7%	81.7%	80.1%	82.4%	85.0%
7	眼及び付属器の疾患 (H00 - H59)	87.2%	76.8%	111.7%	88.4%	98.9%	134.7%	98.2%
8	耳及び乳様突起の疾患 (H60 - H95)	84.3%	84.0%	62.2%	98.2%	148.7%	137.5%	98.9%
9	循環器系の疾患 (I00 - I99)	89.2%	89.7%	98.5%	95.6%	98.9%	95.4%	94.2%
10	呼吸器系の疾患 (J00 - J99)	66.8%	54.0%	58.5%	58.5%	62.1%	63.3%	60.2%
10-1	(再掲)急性上気道感染症 (J01 - J06)	27.3%	42.1%	25.8%	46.2%	32.0%	34.8%	34.8%
10-2	(再掲)肺炎 (J12 - J18)	56.5%	46.6%	46.6%	47.7%	39.8%	39.8%	47.0%
10-3	(再掲)アレルギー性鼻炎 (J30)、慢性副鼻腔炎 (J32)	53.6%	-	62.5%	104.8%	75.9%	85.7%	64.0%
10-4	(再掲)その他の呼吸器系の疾患 (J00 - J99の残り)	83.8%	69.1%	78.3%	70.3%	85.0%	86.4%	78.0%
11	消化器系の疾患 (K00 - K93)	80.9%	75.3%	94.2%	87.3%	85.1%	88.9%	85.0%
12	皮膚及び皮下組織の疾患 (L00 - L99)	110.0%	68.1%	108.8%	107.8%	92.4%	95.3%	96.0%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00 - M99)	94.8%	80.8%	97.0%	94.7%	96.6%	96.1%	93.1%
14	腎尿路生殖器系の疾患 (N00 - N99)	72.7%	77.5%	77.1%	87.8%	91.5%	84.8%	81.8%
15	妊娠、分娩及び産後 <褥> (O00 - O99)	94.6%	97.5%	107.4%	135.5%	111.2%	84.4%	105.0%
16	周産期に発生した病態 (P00 - P96)	75.5%	96.1%	84.6%	148.9%	140.0%	105.0%	106.6%
17	先天奇形、変形及び染色体異常 (Q00 - Q99)	42.9%	66.7%	75.0%	53.3%	38.5%	75.0%	54.0%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00 - R99)	38.5%	38.5%	66.7%	50.0%	50.0%	150.0%	54.1%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00 - T98)	91.0%	86.1%	94.7%	95.8%	98.3%	105.2%	94.0%

※ DPCデータの様式1ファイルより算出。主傷病診断での入院患者数とした。新型コロナウイルス感染症や保健サービスの利用の主傷病患者は除く。

4. 患者数の状況

(2) 傷病大分類別外来患者数の変化

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	傷病大分類	傷病大分類別外来患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	感染症及び寄生虫症 (A00 - B99)	71.2%	67.5%	82.1%	81.6%	80.7%	86.9%	78.4%
2	新生物<腫瘍> (C00 - D48)	80.7%	78.3%	95.5%	93.0%	91.5%	97.9%	89.6%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50 - D89)	80.3%	74.6%	89.8%	89.1%	86.2%	93.9%	85.7%
4	内分泌、栄養及び代謝疾患 (E00 - E90)	83.5%	76.5%	90.1%	90.5%	88.4%	93.5%	87.1%
5	精神及び行動の障害 (F00 - F99)	81.0%	73.4%	86.8%	86.0%	85.6%	89.6%	83.7%
6	神経系の疾患 (G00 - G99)	83.0%	73.9%	89.6%	88.7%	86.7%	92.4%	85.8%
7	眼及び付属器の疾患 (H00 - H59)	71.2%	68.5%	89.8%	84.2%	84.9%	92.9%	81.8%
8	耳及び乳様突起の疾患 (H60 - H95)	61.8%	61.7%	81.1%	77.8%	79.7%	82.4%	74.3%
9	循環器系の疾患 (I00 - I99)	80.8%	74.3%	89.8%	88.9%	85.3%	93.5%	85.4%
10	呼吸器系の疾患 (J00 - J99)	73.2%	62.9%	76.3%	77.8%	75.2%	78.2%	73.9%
10-1	(再掲)急性上気道感染症 (J01 - J06)	61.4%	36.9%	47.3%	59.5%	57.0%	52.5%	52.0%
10-2	(再掲)肺炎 (J12 - J18)	103.1%	74.1%	77.6%	79.3%	67.1%	73.6%	78.8%
10-3	(再掲)気管支炎及び急性細気管支炎 (J20 - J21)	45.1%	23.5%	29.4%	40.6%	35.2%	29.4%	33.7%
10-4	(再掲)アレルギー性鼻炎 (J30)、慢性副鼻腔炎 (J32)	72.0%	65.1%	80.2%	79.7%	81.7%	86.0%	77.3%
10-5	(再掲)慢性閉塞性肺疾患 (J41 - J44)、喘息 (J45 - J46)	77.2%	71.1%	80.6%	80.4%	77.1%	83.1%	78.3%
10-6	(再掲)その他の呼吸器系の疾患 (J00 - J99の残り)	73.2%	68.6%	86.0%	85.5%	83.4%	85.1%	80.3%
(10)	(参考)呼吸器系の疾患(J00-J99)+新型コロナウイルス感染症(U00-U99)	76.2%	65.3%	79.1%	84.2%	83.3%	84.9%	78.8%
11	消化器系の疾患 (K00 - K93)	74.7%	69.5%	86.0%	88.0%	87.3%	93.8%	83.3%
12	皮膚及び皮下組織の疾患 (L00 - L99)	71.4%	69.4%	84.7%	82.0%	82.7%	87.7%	79.7%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00 - M99)	76.9%	73.0%	92.0%	89.2%	86.6%	92.6%	85.1%
14	腎尿路生殖生殖器系の疾患 (N00 - N99)	79.7%	75.2%	92.1%	88.9%	87.0%	92.6%	86.0%
15	妊娠、分娩及び産後<褥> (O00 - O99)	83.5%	78.6%	87.7%	85.7%	90.6%	90.5%	86.1%
16	周産期に発生した病態 (P00 - P96)	63.5%	69.2%	94.9%	89.5%	87.4%	96.0%	83.7%
17	先天奇形、変形及び染色体異常 (Q00 - Q99)	64.1%	66.1%	93.4%	85.3%	90.2%	97.0%	83.1%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00 - R99)	75.8%	67.9%	84.3%	81.4%	82.4%	90.4%	80.5%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00 - T98)	67.2%	67.9%	84.7%	83.4%	85.6%	88.5%	79.6%

※ 外来EF統合ファイルデータより算出。主傷病診断での外来患者数とし、主傷病フラグが無い場合は、診断の最初の傷病名を主傷病とした。新型コロナウイルス感染症や保健サービスの利用の主傷病患者は除く。

■実績有り・400床未満（24施設）

No.	傷病大分類	傷病大分類別外来患者数の前年同月比（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	感染症及び寄生虫症（A00－B99）	70.8%	63.4%	82.1%	78.2%	77.5%	86.3%	76.4%
2	新生物＜腫瘍＞（C00－D48）	83.0%	80.0%	93.7%	90.5%	91.4%	96.1%	89.2%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50－D89）	82.4%	77.2%	93.2%	89.7%	92.4%	90.2%	87.6%
4	内分泌、栄養及び代謝疾患（E00－E90）	90.5%	84.3%	97.1%	94.0%	91.6%	98.6%	92.6%
5	精神及び行動の障害（F00－F99）	91.2%	84.8%	106.3%	102.8%	87.9%	92.6%	94.2%
6	神経系の疾患（G00－G99）	81.0%	76.2%	87.2%	89.7%	88.6%	91.8%	85.7%
7	眼及び付属器の疾患（H00－H59）	74.7%	73.5%	85.8%	81.3%	81.1%	86.5%	80.5%
8	耳及び乳様突起の疾患（H60－H95）	68.4%	66.5%	83.4%	82.8%	81.4%	90.7%	78.8%
9	循環器系の疾患（I00－I99）	87.7%	80.2%	92.1%	93.2%	88.5%	95.3%	89.5%
10	呼吸器系の疾患（J00－J99）	70.5%	60.2%	70.0%	76.3%	72.1%	73.4%	70.3%
10-1	(再掲)急性上気道感染症（J01－J06）	52.7%	30.7%	44.6%	60.0%	51.3%	52.6%	48.1%
10-2	(再掲)肺炎（J12－J18）	108.7%	78.9%	79.3%	87.5%	78.2%	73.8%	84.3%
10-3	(再掲)気管支炎及び急性細気管支炎（J20－J21）	54.9%	29.3%	29.0%	50.7%	35.3%	36.1%	39.2%
10-4	(再掲)アレルギー性鼻炎（J30）、慢性副鼻腔炎（J32）	59.6%	65.3%	72.1%	80.4%	81.3%	83.7%	72.7%
10-5	(再掲)慢性閉塞性肺疾患（J41－J44）、喘息（J45－J46）	79.2%	75.4%	80.6%	81.6%	79.2%	81.6%	79.6%
10-6	(再掲)その他の呼吸器系の疾患（J00－J99の残り）	76.0%	64.9%	83.7%	83.2%	83.1%	80.1%	78.3%
(10)	(参考)呼吸器系の疾患(J00-J99) + 新型コロナウイルス感染症(U00-U99)	74.6%	63.9%	77.0%	89.4%	85.5%	82.2%	78.5%
11	消化器系の疾患（K00－K93）	78.6%	72.7%	86.7%	86.1%	86.9%	91.5%	83.8%
12	皮膚及び皮下組織の疾患（L00－L99）	66.8%	67.7%	76.8%	74.5%	74.1%	77.4%	72.9%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患（M00－M99）	76.1%	73.2%	86.2%	83.4%	80.5%	85.1%	80.8%
14	腎尿路生殖器系の疾患（N00－N99）	85.1%	80.1%	97.4%	93.7%	92.9%	97.8%	91.2%
15	妊娠、分娩及び産後＜褥＞（O00－O99）	73.2%	69.8%	79.8%	81.0%	79.8%	77.9%	77.1%
16	周産期に発生した病態（P00－P96）	57.3%	47.1%	91.4%	69.7%	59.7%	65.0%	64.1%
17	先天奇形、変形及び染色体異常（Q00－Q99）	72.1%	71.4%	84.1%	91.3%	95.0%	96.4%	85.5%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00－R99）	79.3%	70.7%	85.8%	87.4%	89.3%	93.1%	84.4%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00－T98）	69.7%	68.7%	86.3%	85.8%	84.7%	92.1%	81.2%

※ 外来EF統合ファイルデータより算出。主傷病診断での外来患者数とし、主傷病フラグが無い場合は、診断の最初の傷病名を主傷病とした。新型コロナウイルス感染症や保健サービスの利用の主傷病患者は除く。

■実績無し・400床未満（11施設）

No.	傷病大分類	傷病大分類別外来患者数の前年同月比（%）						R2平均
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	
1	感染症及び寄生虫症（A00－B99）	74.8%	68.8%	87.5%	80.1%	81.6%	85.4%	79.7%
2	新生物＜腫瘍＞（C00－D48）	85.1%	78.2%	96.2%	94.5%	89.7%	95.1%	89.9%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50－D89）	84.8%	73.0%	94.2%	90.1%	75.2%	95.9%	85.3%
4	内分泌、栄養及び代謝疾患（E00－E90）	88.8%	84.4%	97.6%	93.8%	93.3%	96.8%	92.4%
5	精神及び行動の障害（F00－F99）	89.2%	90.3%	98.2%	95.6%	92.4%	91.3%	92.8%
6	神経系の疾患（G00－G99）	90.1%	83.1%	97.2%	95.6%	93.3%	96.7%	92.7%
7	眼及び付属器の疾患（H00－H59）	84.8%	81.9%	94.9%	91.9%	91.4%	91.0%	89.3%
8	耳及び乳様突起の疾患（H60－H95）	71.8%	77.4%	82.2%	84.4%	81.7%	80.1%	79.7%
9	循環器系の疾患（I00－I99）	84.9%	78.5%	91.0%	88.7%	88.0%	92.1%	87.2%
10	呼吸器系の疾患（J00－J99）	74.6%	56.1%	71.9%	77.6%	72.0%	76.7%	71.2%
10-1	(再掲)急性上気道感染症（J01－J06）	68.6%	37.4%	65.1%	69.1%	52.5%	58.5%	57.7%
10-2	(再掲)肺炎（J12－J18）	76.0%	65.1%	65.5%	73.2%	58.2%	54.6%	65.5%
10-3	(再掲)気管支炎及び急性細気管支炎（J20－J21）	56.2%	24.2%	32.8%	43.0%	30.3%	48.9%	38.2%
10-4	(再掲)アレルギー性鼻炎（J30）、慢性副鼻腔炎（J32）	73.5%	62.9%	69.5%	86.1%	83.6%	81.8%	75.7%
10-5	(再掲)慢性閉塞性肺疾患（J41－J44）、喘息（J45－J46）	82.7%	71.4%	85.4%	85.0%	85.7%	90.6%	83.3%
10-6	(再掲)その他の呼吸器系の疾患（J00－J99の残り）	77.3%	57.8%	84.3%	79.1%	84.4%	82.8%	77.2%
(10)	(参考)呼吸器系の疾患(J00-J99) + 新型コロナウイルス感染症(U00-U99)	74.7%	56.2%	72.5%	78.2%	72.5%	79.1%	71.9%
11	消化器系の疾患（K00－K93）	84.9%	73.4%	90.6%	91.1%	88.5%	95.2%	87.2%
12	皮膚及び皮下組織の疾患（L00－L99）	82.7%	86.2%	103.7%	95.2%	100.1%	99.1%	94.5%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患（M00－M99）	83.6%	80.0%	94.5%	93.5%	92.9%	96.9%	90.2%
14	腎尿路生殖器系の疾患（N00－N99）	84.9%	79.4%	91.9%	90.5%	88.3%	94.1%	88.2%
15	妊娠、分娩及び産後＜褥＞（O00－O99）	94.3%	100.0%	120.3%	95.7%	116.6%	117.8%	106.6%
16	周産期に発生した病態（P00－P96）	87.5%	73.3%	72.7%	64.8%	84.3%	109.3%	81.7%
17	先天奇形、変形及び染色体異常（Q00－Q99）	72.8%	61.1%	85.5%	88.5%	81.8%	106.9%	82.7%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00－R99）	78.7%	73.5%	88.4%	84.6%	84.5%	93.5%	83.8%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00－T98）	79.0%	76.7%	92.8%	88.1%	92.5%	93.4%	87.1%

※ 外来EF統合ファイルデータより算出。主傷病診断での外来患者数とし、主傷病フラグが無い場合は、診断の最初の傷病名を主傷病とした。新型コロナウイルス感染症や保健サービスの利用の主傷病患者は除く。

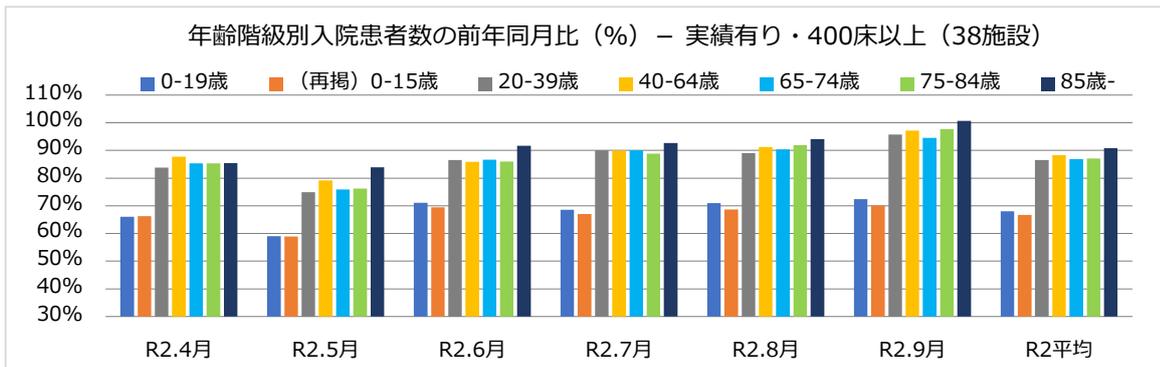
4. 患者数の状況

(3) 年齢階級別入院患者数の変化

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	年齢階級	年齢階級別入院患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	0-19歳	66.1%	59.1%	71.1%	68.6%	71.0%	72.5%	68.0%
2	(再掲) 0-15歳	66.3%	58.9%	69.4%	67.0%	68.6%	70.1%	66.7%
3	20-39歳	83.8%	74.9%	86.5%	90.0%	89.1%	95.8%	86.5%
4	40-64歳	87.8%	79.2%	85.9%	89.9%	91.2%	97.2%	88.3%
5	65-74歳	85.4%	75.9%	86.6%	90.0%	90.4%	94.6%	86.8%
6	75-84歳	85.3%	76.2%	86.0%	88.8%	91.9%	97.8%	87.1%
7	85歳-	85.4%	83.9%	91.7%	92.6%	94.1%	100.6%	90.8%

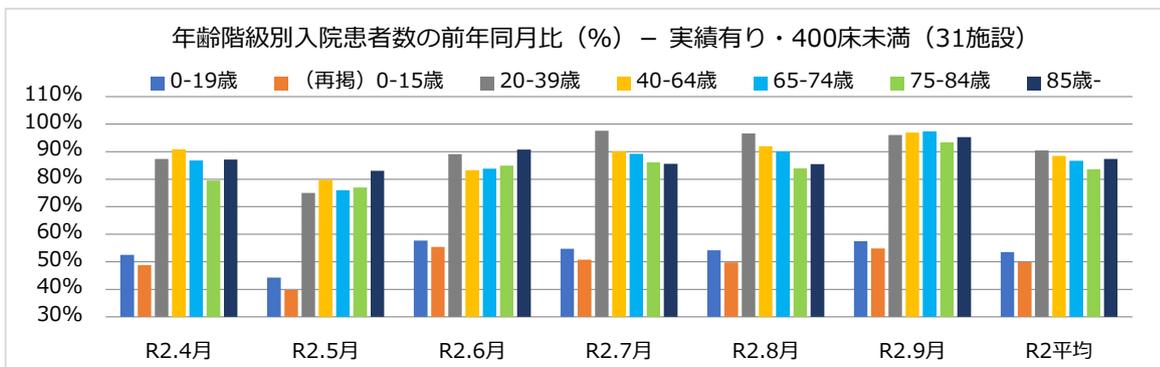
※ DPCデータの様式1より算出。



■実績有り・400床未満（31施設）

No.	年齢階級	年齢階級別入院患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	0-19歳	52.5%	44.2%	57.8%	54.7%	54.2%	57.5%	53.5%
2	(再掲) 0-15歳	48.8%	39.7%	55.4%	50.8%	49.7%	54.9%	49.8%
3	20-39歳	87.4%	75.1%	89.1%	97.6%	96.6%	96.0%	90.4%
4	40-64歳	90.8%	79.8%	83.3%	90.1%	92.0%	96.9%	88.5%
5	65-74歳	86.8%	76.1%	83.8%	89.2%	90.1%	97.4%	86.7%
6	75-84歳	79.5%	77.0%	84.9%	86.1%	83.9%	93.4%	83.6%
7	85歳-	87.1%	83.1%	90.7%	85.6%	85.5%	95.3%	87.3%

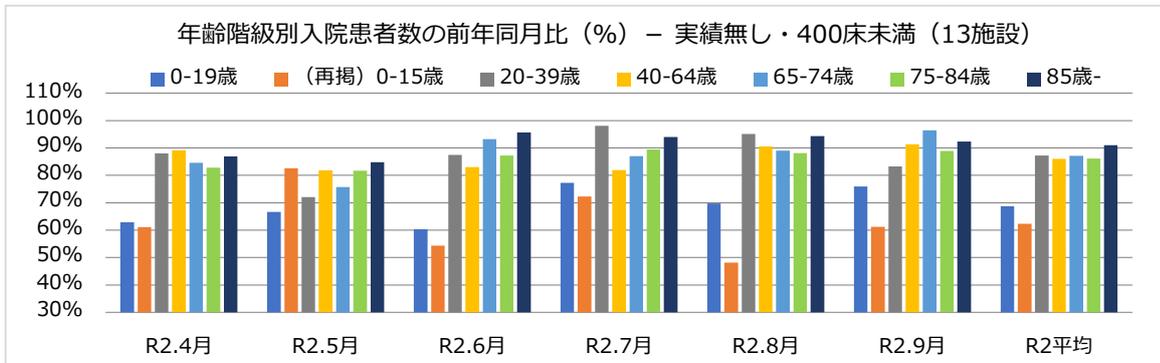
※ DPCデータの様式1より算出。



■実績無し・400床未満（13施設）

No.	年齢階級	年齢階級別入院患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	0-19歳	62.9%	66.7%	60.3%	77.3%	69.7%	75.9%	68.8%
2	(再掲) 0-15歳	61.1%	82.6%	54.4%	72.3%	48.1%	61.2%	62.3%
3	20-39歳	88.0%	72.0%	87.5%	98.1%	95.1%	83.2%	87.3%
4	40-64歳	89.1%	81.8%	83.0%	81.9%	90.5%	91.4%	86.0%
5	65-74歳	84.6%	75.8%	93.2%	87.0%	89.0%	96.4%	87.1%
6	75-84歳	82.8%	81.6%	87.2%	89.5%	88.1%	88.9%	86.1%
7	85歳-	86.9%	84.8%	95.6%	94.0%	94.3%	92.4%	91.0%

※ DPCデータの様式1より算出。



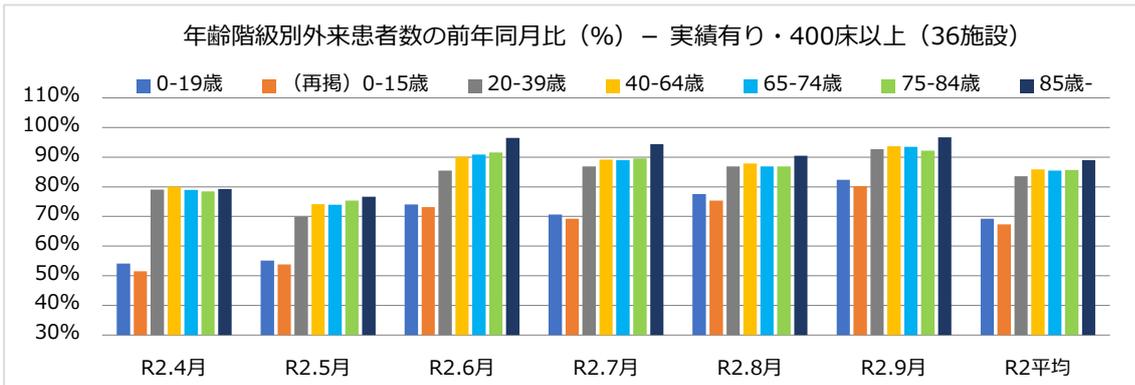
4. 患者数の状況

(4) 年齢階級別外来患者数の変化

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	年齢階級	年齢階級別外来患者数の前年同月比（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	0-19歳	54.1%	55.1%	74.0%	70.7%	77.5%	82.3%	69.2%
2	（再掲）0-15歳	51.5%	53.9%	73.1%	69.2%	75.4%	80.3%	67.4%
3	20-39歳	79.1%	69.9%	85.4%	86.9%	86.9%	92.7%	83.6%
4	40-64歳	80.1%	74.1%	90.1%	89.2%	87.9%	93.7%	85.9%
5	65-74歳	78.9%	73.9%	90.9%	89.0%	86.8%	93.5%	85.5%
6	75-84歳	78.5%	75.4%	91.5%	89.6%	86.9%	92.1%	85.7%
7	85歳-	79.3%	76.7%	96.5%	94.4%	90.5%	96.7%	89.0%

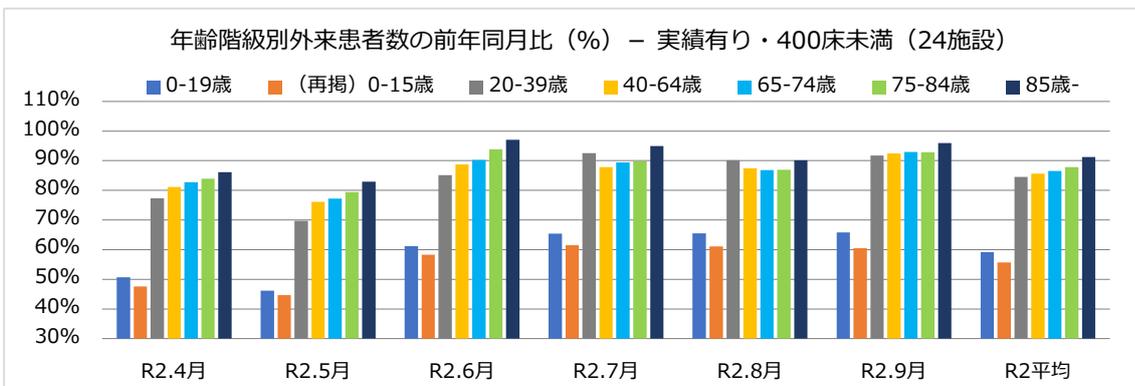
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満（24施設）

No.	年齢階級	年齢階級別外来患者数の前年同月比（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	0-19歳	50.7%	46.1%	61.2%	65.4%	65.5%	65.8%	59.2%
2	（再掲）0-15歳	47.6%	44.6%	58.3%	61.5%	61.1%	60.5%	55.7%
3	20-39歳	77.3%	69.7%	85.1%	92.6%	90.2%	91.8%	84.5%
4	40-64歳	81.1%	76.1%	88.7%	87.9%	87.5%	92.5%	85.7%
5	65-74歳	82.7%	77.2%	90.3%	89.4%	86.8%	93.0%	86.6%
6	75-84歳	83.9%	79.5%	93.9%	89.8%	87.0%	92.9%	87.8%
7	85歳-	86.1%	82.9%	97.1%	94.9%	90.2%	96.0%	91.2%

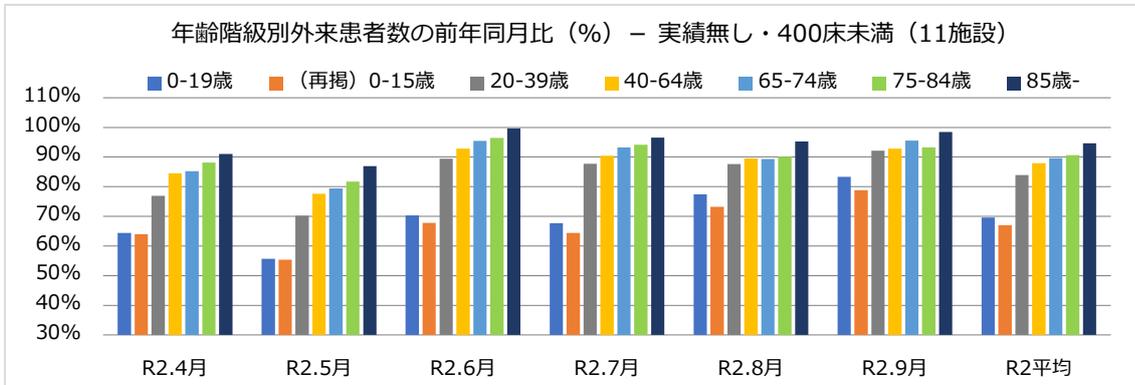
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満（11施設）

No.	年齢階級	年齢階級別外来患者数の前年同月比（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	0-19歳	64.4%	55.7%	70.3%	67.7%	77.4%	83.3%	69.6%
2	（再掲）0-15歳	64.0%	55.4%	67.8%	64.4%	73.2%	78.8%	67.0%
3	20-39歳	76.9%	70.2%	89.5%	87.7%	87.7%	92.1%	84.0%
4	40-64歳	84.5%	77.6%	92.8%	90.4%	89.5%	92.8%	88.0%
5	65-74歳	85.2%	79.4%	95.4%	93.2%	89.4%	95.6%	89.7%
6	75-84歳	88.2%	81.7%	96.4%	94.2%	90.1%	93.2%	90.6%
7	85歳-	91.1%	87.0%	99.6%	96.5%	95.3%	98.5%	94.6%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



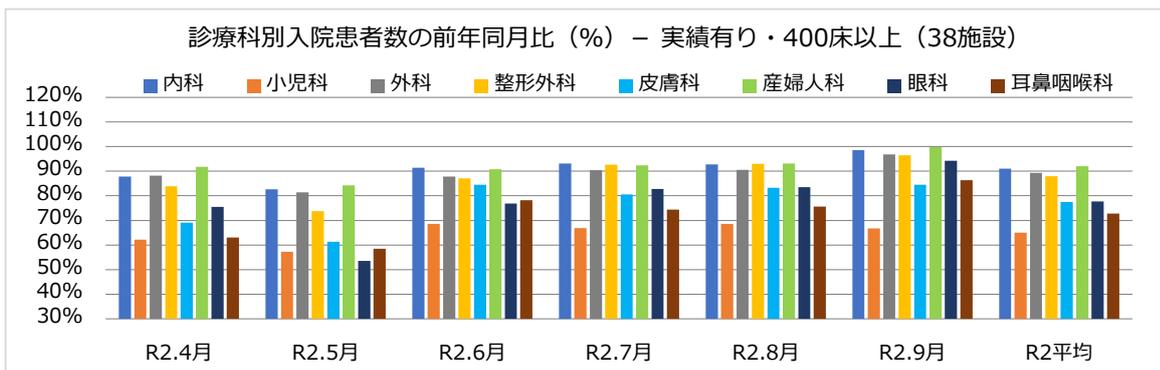
4. 患者数の状況

(5) 診療科別入院患者数の変化

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	診療科	診療科別入院患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	内科	87.8%	82.7%	91.4%	93.2%	92.7%	98.6%	91.1%
2	小児科	62.1%	57.3%	68.5%	66.8%	68.5%	66.8%	65.1%
3	外科	88.2%	81.4%	87.9%	90.4%	90.5%	96.9%	89.3%
4	整形外科	83.8%	73.7%	87.1%	92.6%	93.1%	96.5%	87.9%
5	皮膚科	69.1%	61.3%	84.5%	80.5%	83.3%	84.5%	77.5%
6	産婦人科	91.8%	84.2%	90.8%	92.4%	93.1%	99.8%	92.0%
7	眼科	75.5%	53.6%	76.9%	82.8%	83.5%	94.2%	77.7%
8	耳鼻咽喉科	63.0%	58.5%	78.2%	74.4%	75.6%	86.4%	72.8%

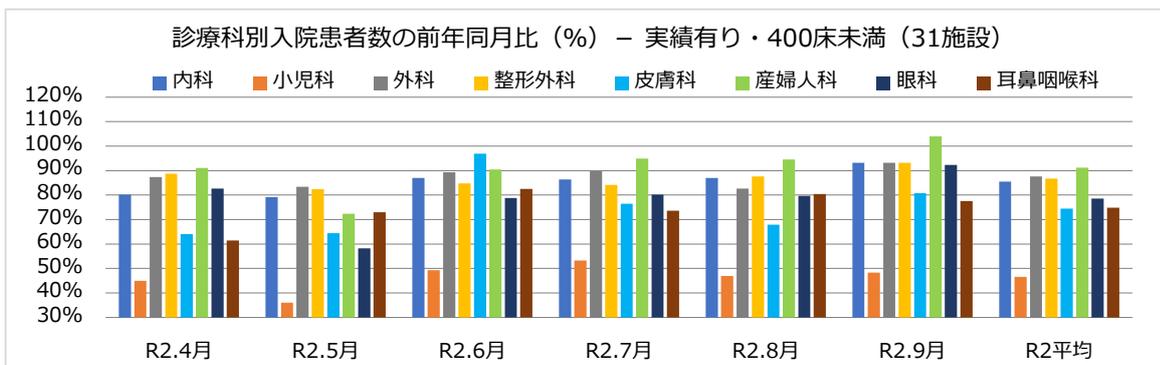
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータよりレセプト診療科を用いて算出（レセプト診療科間の患者重複含む）。
レセプト診療科のうち、神経内科・心療内科は内科、呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科は外科、産科・婦人科は産婦人科とした。



■実績有り・400床未満（31施設）

No.	診療科	診療科別入院患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	内科	80.2%	79.2%	87.0%	86.4%	87.0%	93.2%	85.5%
2	小児科	45.0%	36.0%	49.3%	53.3%	47.0%	48.4%	46.5%
3	外科	87.4%	83.4%	89.4%	89.7%	82.7%	93.2%	87.6%
4	整形外科	88.7%	82.5%	84.8%	84.1%	87.7%	93.2%	86.8%
5	皮膚科	64.1%	64.5%	96.9%	76.5%	67.9%	80.7%	74.5%
6	産婦人科	91.1%	72.4%	90.5%	94.9%	94.5%	103.9%	91.3%
7	眼科	82.7%	58.3%	78.8%	80.2%	79.7%	92.4%	78.6%
8	耳鼻咽喉科	61.5%	73.0%	82.5%	73.7%	80.4%	77.5%	74.9%

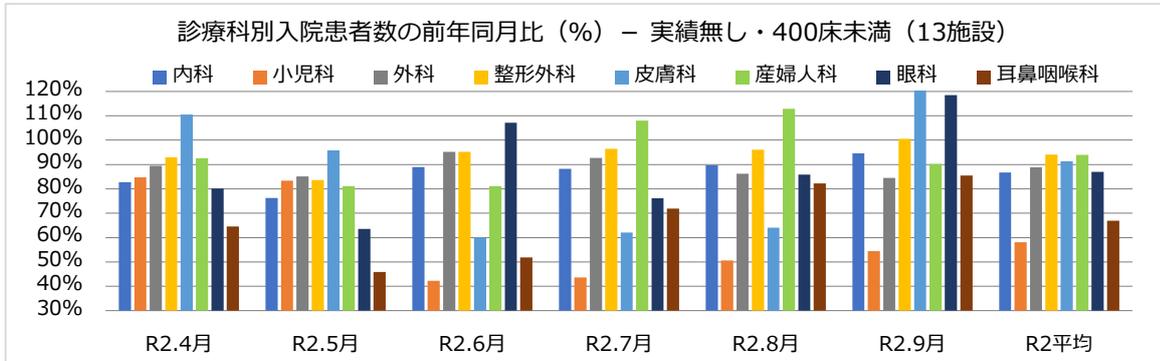
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータよりレセプト診療科を用いて算出（レセプト診療科間の患者重複含む）。
レセプト診療科のうち、神経内科・心療内科は内科、呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科は外科、産科・婦人科は産婦人科とした。



■実績無し・400床未満（13施設）

No.	診療科	診療科別入院患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	内科	82.7%	76.2%	89.0%	88.2%	89.7%	94.6%	86.7%
2	小児科	84.7%	83.3%	42.2%	43.6%	50.5%	54.4%	58.0%
3	外科	89.5%	85.1%	95.2%	92.7%	86.2%	84.5%	88.8%
4	整形外科	92.9%	83.7%	95.2%	96.5%	96.0%	100.6%	94.0%
5	皮膚科	110.5%	95.8%	60.0%	62.1%	64.0%	200.0%	91.4%
6	産婦人科	92.6%	81.1%	81.1%	108.0%	112.9%	90.2%	93.9%
7	眼科	80.1%	63.6%	107.2%	76.1%	85.8%	118.5%	87.0%
8	耳鼻咽喉科	64.6%	45.9%	51.8%	71.9%	82.2%	85.5%	66.9%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータよりレセプト診療科を用いて算出（レセプト診療科間の患者重複含む）。
レセプト診療科のうち、神経内科・心療内科は内科、呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科は外科、産科・婦人科は産婦人科とした。



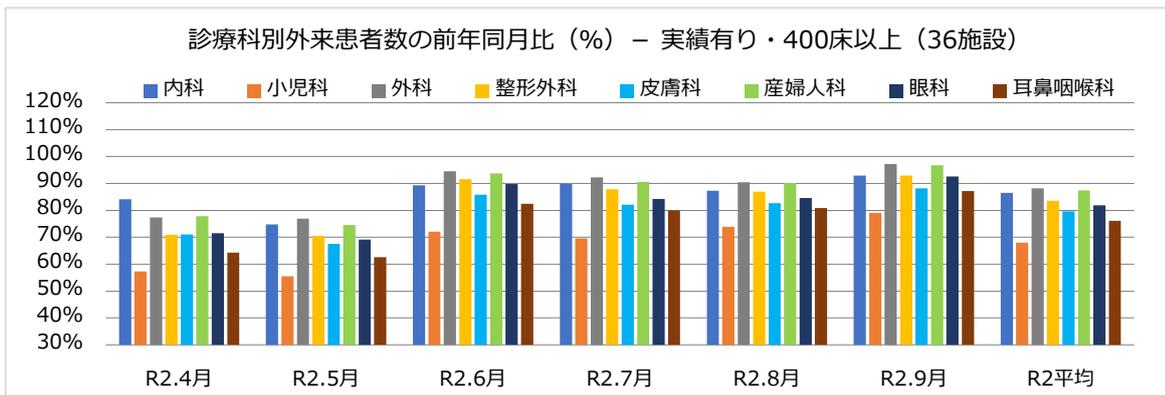
4. 患者数の状況

(6) 診療科別外来患者数の変化

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	診療科	診療科別外来患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	内科	84.1%	74.8%	89.3%	89.9%	87.3%	93.0%	86.4%
2	小児科	57.2%	55.5%	72.1%	69.6%	73.8%	79.0%	68.1%
3	外科	77.4%	76.9%	94.6%	92.3%	90.5%	97.2%	88.2%
4	整形外科	71.0%	70.5%	91.6%	87.9%	86.9%	93.0%	83.5%
5	皮膚科	71.1%	67.5%	85.8%	82.1%	82.6%	88.2%	79.6%
6	産婦人科	77.8%	74.5%	93.8%	90.6%	90.1%	96.7%	87.4%
7	眼科	71.5%	69.2%	89.7%	84.2%	84.6%	92.6%	81.9%
8	耳鼻咽喉科	64.2%	62.6%	82.5%	79.9%	80.8%	87.2%	76.2%

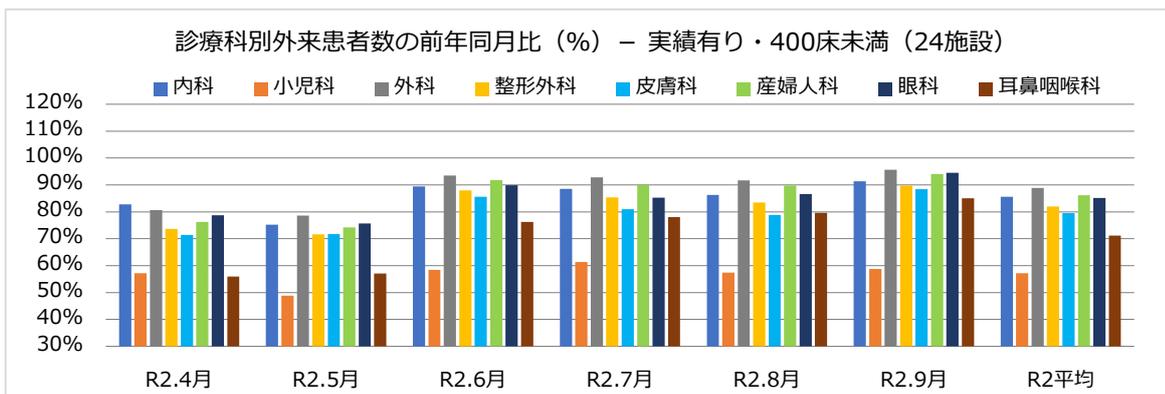
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータよりレセプト診療科を用いて算出（レセプト診療科間の患者重複含む）。
レセプト診療科のうち、神経内科・心療内科は内科、呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科は外科、産科・婦人科は産婦人科とした。



■実績有り・400床未満（24施設）

No.	診療科	診療科別外来患者数の前年同月比 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	内科	82.8%	75.2%	89.4%	88.5%	86.3%	91.4%	85.6%
2	小児科	57.2%	48.8%	58.5%	61.3%	57.5%	58.8%	57.2%
3	外科	80.7%	78.6%	93.4%	92.8%	91.7%	95.7%	88.8%
4	整形外科	73.7%	71.6%	88.0%	85.4%	83.4%	89.8%	82.0%
5	皮膚科	71.4%	71.8%	85.7%	80.9%	78.9%	88.4%	79.5%
6	産婦人科	76.2%	74.2%	91.8%	90.0%	89.7%	94.0%	86.2%
7	眼科	78.8%	75.6%	89.9%	85.3%	86.6%	94.5%	85.1%
8	耳鼻咽喉科	56.0%	57.0%	76.2%	78.1%	79.6%	85.0%	71.2%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータよりレセプト診療科を用いて算出（レセプト診療科間の患者重複含む）。
レセプト診療科のうち、神経内科・心療内科は内科、呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科は外科、産科・婦人科は産婦人科とした。

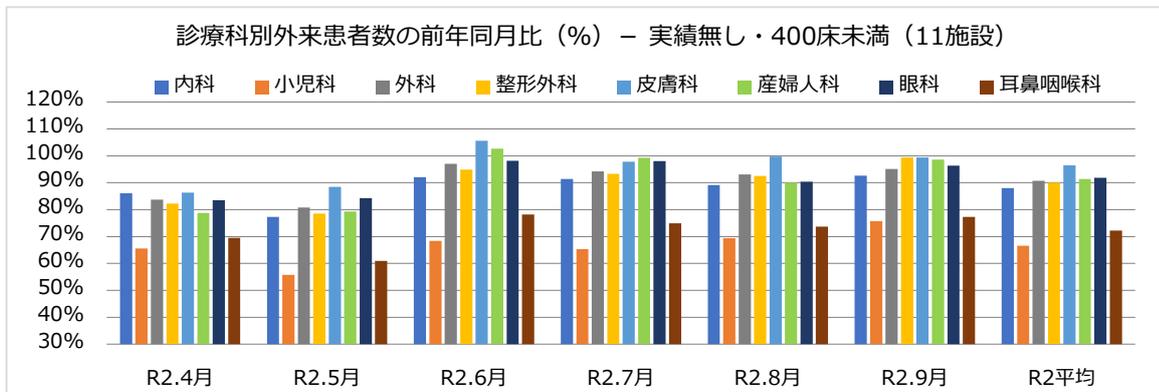


■実績無し・400床未満（11施設）

No.	診療科	診療科別外来患者数の前年同月比（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	内科	86.1%	77.3%	92.1%	91.4%	89.1%	92.7%	88.1%
2	小児科	65.6%	55.7%	68.4%	65.3%	69.4%	75.7%	66.6%
3	外科	83.7%	80.8%	97.0%	94.2%	93.1%	95.1%	90.7%
4	整形外科	82.2%	78.6%	94.8%	93.3%	92.5%	99.4%	90.1%
5	皮膚科	86.3%	88.4%	105.6%	97.8%	99.7%	99.3%	96.4%
6	産婦人科	78.8%	79.4%	102.6%	99.2%	90.1%	98.6%	91.3%
7	眼科	83.5%	84.3%	98.1%	98.0%	90.4%	96.3%	91.8%
8	耳鼻咽喉科	69.5%	60.9%	78.2%	75.0%	73.6%	77.3%	72.2%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータよりレセプト診療科を用いて算出（レセプト診療科間の患者重複含む）。

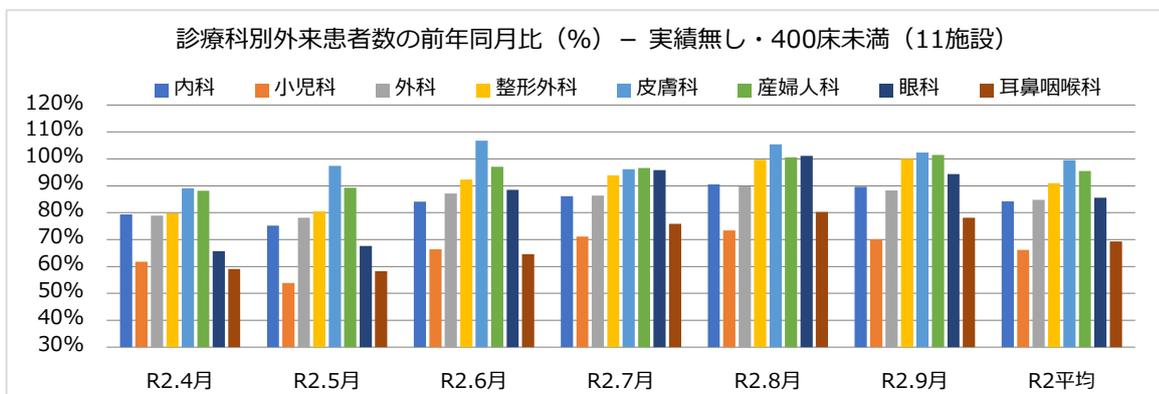
レセプト診療科のうち、神経内科・心療内科は内科、呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科は外科、産科・婦人科は産婦人科とした。



■参考（医科診療所レセプト件数）

No.	診療科	診療科別患者数の前年同月比（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	内科	79.4%	75.2%	84.1%	86.1%	90.5%	89.6%	84.2%
2	小児科	61.8%	53.9%	66.4%	71.1%	73.4%	70.1%	66.1%
3	外科	78.9%	78.1%	87.1%	86.3%	89.7%	88.3%	84.7%
4	整形外科	79.8%	80.5%	92.3%	93.9%	99.6%	100.0%	91.0%
5	皮膚科	89.0%	97.4%	106.7%	96.1%	105.4%	102.3%	99.5%
6	産婦人科	88.2%	89.3%	97.1%	96.6%	100.5%	101.4%	95.5%
7	眼科	65.7%	67.6%	88.5%	95.8%	101.1%	94.4%	85.5%
8	耳鼻咽喉科	59.1%	58.3%	64.6%	75.9%	80.2%	78.1%	69.4%

※ 参考（医科診療所レセプト件数）は、「令和3年3月10日中央社会保険医療協議会」による資料。全国の一般診療所の診療科別レセプト件数の数値。



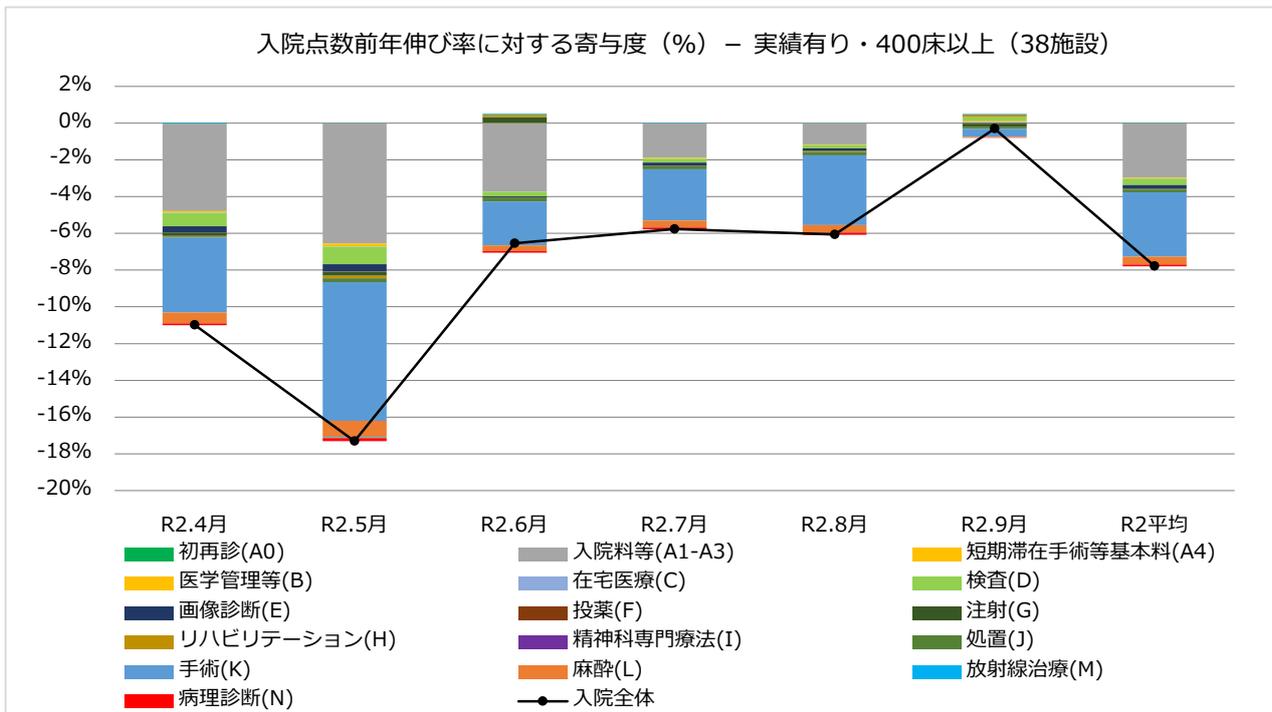
5. 入院の診療行為の状況

(1) 入院点数の前年伸び率に対する診療行為別寄与度

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	診療行為大分類	表記号	入院点数前年伸び率に対する寄与度 (%)						
			R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院全体	-	-11.0%	-17.3%	-6.5%	-5.8%	-6.1%	-0.3%	-7.8%
1	初再診	A0	-0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
2	入院料等	A1-A3	-4.8%	-6.6%	-3.7%	-1.9%	-1.2%	0.1%	-3.0%
(2)	(再掲)入院料等 (診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ)	(A1-A3)	0.5%	0.5%	0.2%	0.4%	0.9%	0.7%	0.5%
3	短期滞在手術等基本料	A4	-	-	-	-	-	-	-
4	医学管理等	B	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.0%	-0.0%	0.1%	-0.0%
5	在宅医療	C	-0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%
6	検査	D	-0.7%	-1.0%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	0.2%	-0.4%
7	画像診断	E	-0.3%	-0.4%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.0%	-0.2%
8	投薬	F	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
9	注射	G	-0.2%	-0.2%	0.3%	-0.0%	-0.0%	-0.2%	-0.0%
10	リハビリテーション	H	-0.0%	-0.1%	0.1%	-0.0%	-0.0%	0.1%	0.0%
11	精神科専門療法	I	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%	-0.0%
12	処置	J	-0.1%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%
13	手術	K	-4.1%	-7.5%	-2.4%	-2.8%	-3.8%	-0.4%	-3.5%
14	麻酔	L	-0.6%	-0.9%	-0.3%	-0.4%	-0.4%	-0.0%	-0.4%
15	放射線治療	M	0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%
16	病理診断	N	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%

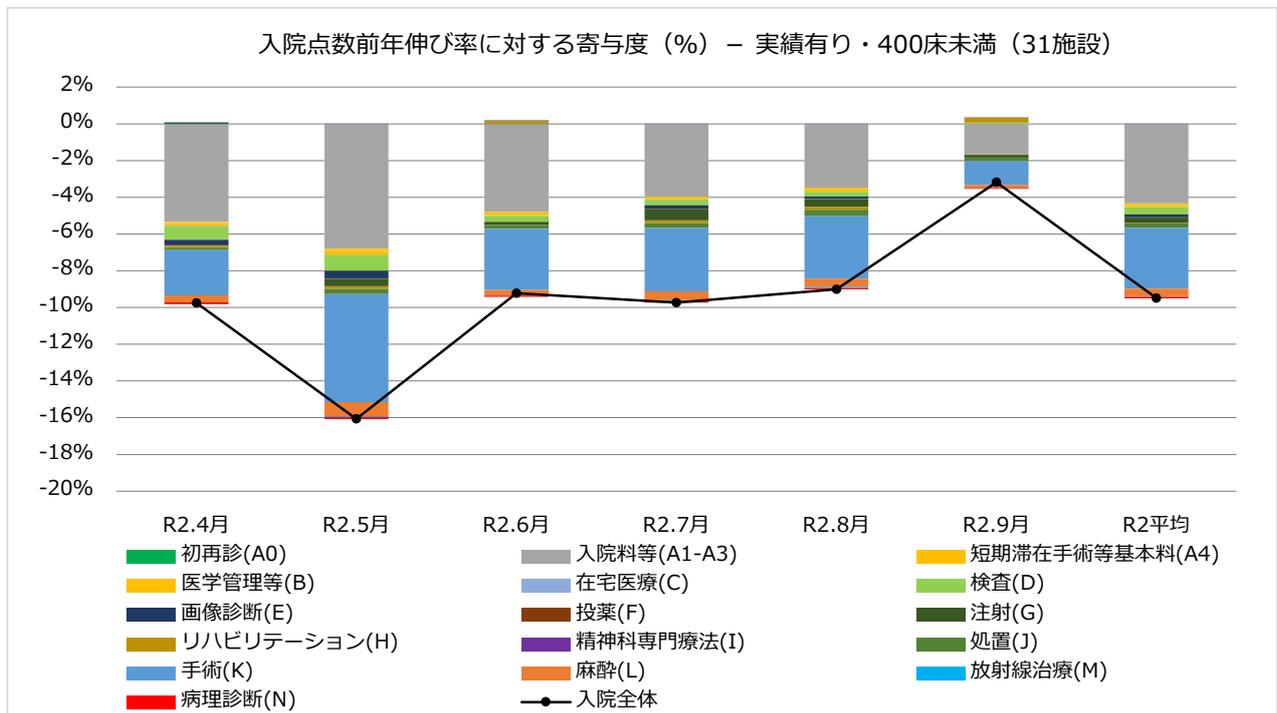
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満（31施設）

No.	診療行為大分類	表記号	入院点数前年伸び率に対する寄与度 (%)						
			R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院全体	-	-9.8%	-16.1%	-9.2%	-9.7%	-9.0%	-3.2%	-9.5%
1	初再診	A0	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
2	入院料等	A1-A3	-5.3%	-6.8%	-4.8%	-4.0%	-3.5%	-1.7%	-4.3%
(2)	(再掲)入院料等（診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ）	(A1-A3)	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	0.3%
3	短期滞在手術等基本料	A4	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.1%
4	医学管理等	B	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
5	在宅医療	C	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
6	検査	D	-0.7%	-0.9%	-0.3%	-0.3%	-0.2%	0.0%	-0.4%
7	画像診断	E	-0.3%	-0.4%	0.0%	-0.2%	-0.1%	0.0%	-0.2%
8	投薬	F	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
9	注射	G	0.1%	-0.4%	-0.2%	-0.6%	-0.4%	-0.1%	-0.3%
10	リハビリテーション	H	-0.1%	-0.1%	0.2%	-0.2%	-0.1%	0.3%	-0.0%
11	精神科専門療法	I	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	処置	J	-0.1%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.3%	-0.2%	-0.2%
13	手術	K	-2.5%	-5.9%	-3.3%	-3.5%	-3.4%	-1.3%	-3.3%
14	麻酔	L	-0.4%	-0.8%	-0.3%	-0.5%	-0.5%	-0.2%	-0.4%
15	放射線治療	M	0.0%	-0.0%	0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.0%
16	病理診断	N	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%

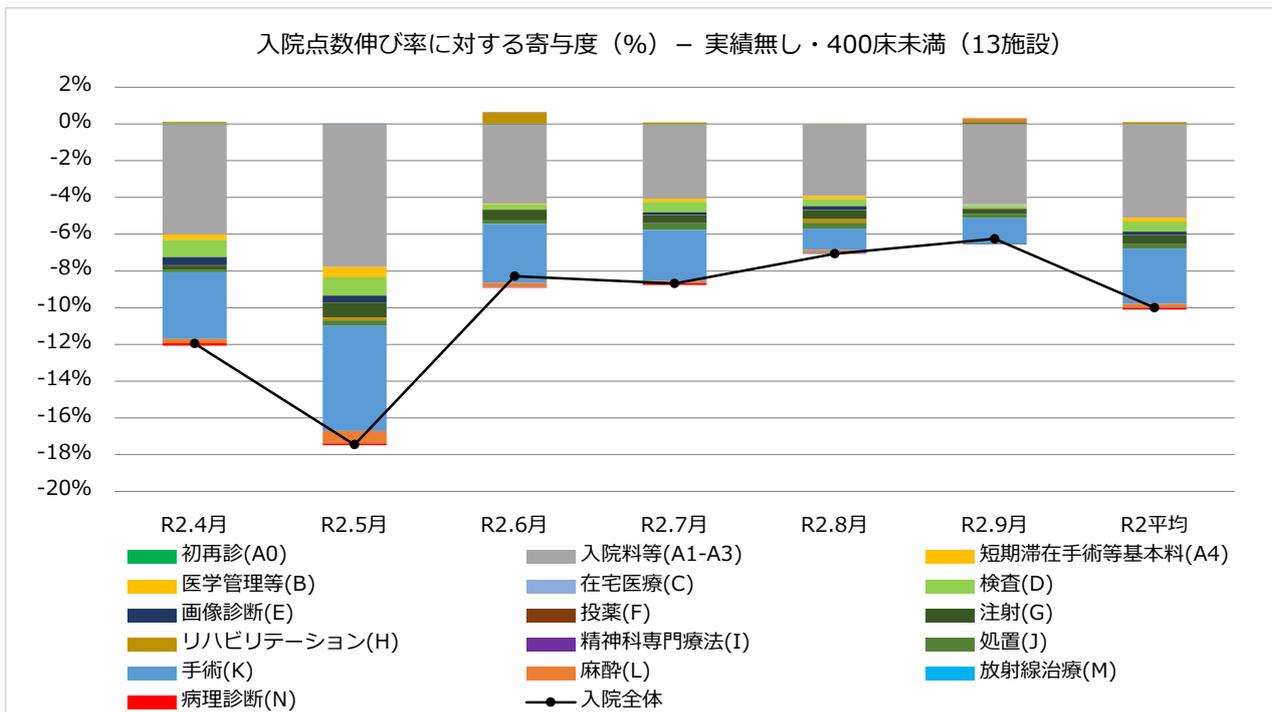
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満（13施設）

No.	診療行為大分類	表記号	入院点数伸び率に対する寄与度 (%)							R2平均
			R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月		
-	入院全体	-	-12.0%	-17.5%	-8.3%	-8.7%	-7.1%	-6.3%	-10.0%	
1	初再診	A0	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	
2	入院料等	A1-A3	-6.0%	-7.8%	-4.3%	-4.0%	-3.9%	-4.4%	-5.1%	
(2)	(再掲)入院料等（診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ）	(A1-A3)	-	-	0.0%	-	-	0.0%	0.0%	
3	短期滞在手術等基本料	A4	-0.2%	-0.4%	-0.0%	-0.1%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	
4	医学管理等	B	-0.1%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%	
5	在宅医療	C	0.0%	0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	
6	検査	D	-0.9%	-1.0%	-0.3%	-0.6%	-0.4%	-0.1%	-0.6%	
7	画像診断	E	-0.4%	-0.4%	0.0%	-0.1%	-0.2%	0.0%	-0.2%	
8	投薬	F	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	
9	注射	G	-0.2%	-0.8%	-0.6%	-0.4%	-0.5%	-0.2%	-0.5%	
10	リハビリテーション	H	0.1%	-0.2%	0.6%	0.1%	-0.2%	0.2%	0.1%	
11	精神科専門療法	I	-0.0%	-0.0%	0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%	-0.0%	
12	処置	J	-0.2%	-0.3%	-0.2%	-0.4%	-0.3%	-0.2%	-0.2%	
13	手術	K	-3.6%	-5.8%	-3.2%	-2.8%	-1.2%	-1.4%	-3.0%	
14	麻酔	L	-0.2%	-0.7%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	0.1%	-0.2%	
15	放射線治療	M	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	
16	病理診断	N	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.1%	

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



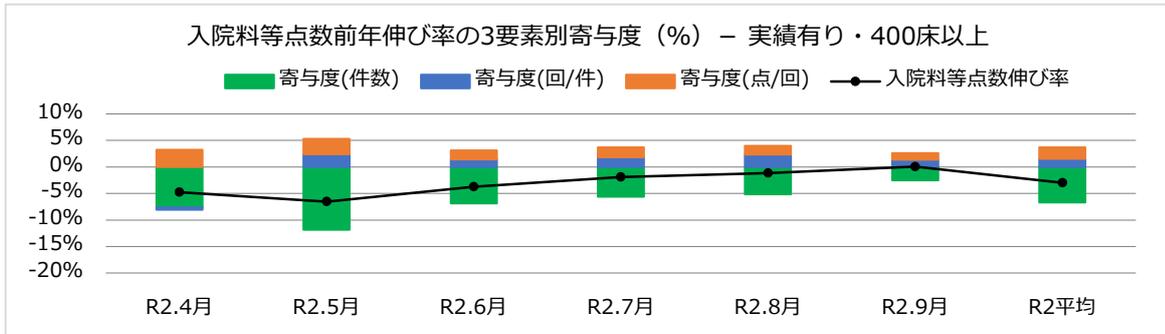
5. 入院の診療行為の状況

(2) 入院料等点数前年伸び率に対する件数・回数/件・点数/回の3要素別寄与度分解

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	点数・件数・日数	入院料等点数前年伸び率の3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等点数伸び率	-4.8%	-6.6%	-3.7%	-1.9%	-1.2%	0.1%	-3.0%
1	寄与度(件数)	-7.6%	-11.9%	-6.8%	-5.6%	-5.1%	-2.5%	-6.7%
2	寄与度(回/件)	-0.5%	2.4%	1.4%	1.8%	2.3%	1.4%	1.5%
3	寄与度(点/回)	3.3%	2.9%	1.7%	1.9%	1.7%	1.3%	2.2%

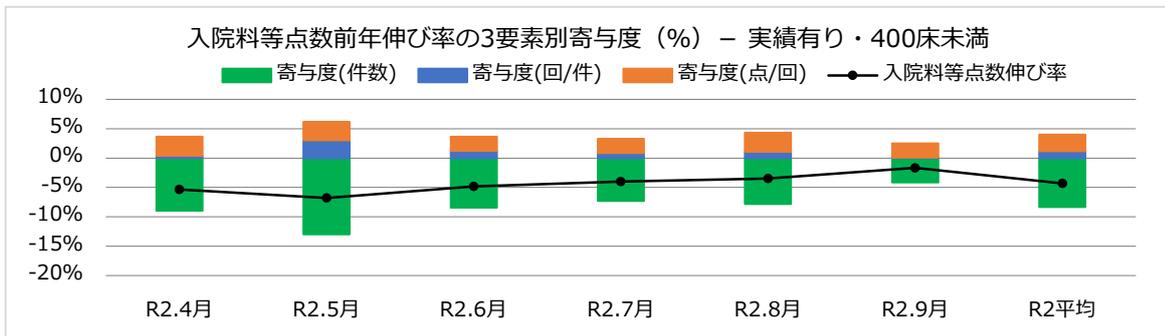
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。ここでの入院料等点数伸び率は、入院点数全体伸び率に対する入院料等点数寄与度と同じとした。



■実績有り・400床未満（31施設）

No.	点数・件数・日数	入院料等点数前年伸び率の3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等点数伸び率	-5.3%	-6.8%	-4.8%	-4.0%	-3.5%	-1.7%	-4.3%
1	寄与度(件数)	-9.0%	-13.0%	-8.5%	-7.3%	-7.8%	-4.2%	-8.4%
2	寄与度(回/件)	0.4%	3.0%	1.2%	0.8%	1.1%	0.1%	1.1%
3	寄与度(点/回)	3.2%	3.2%	2.4%	2.5%	3.3%	2.4%	2.9%

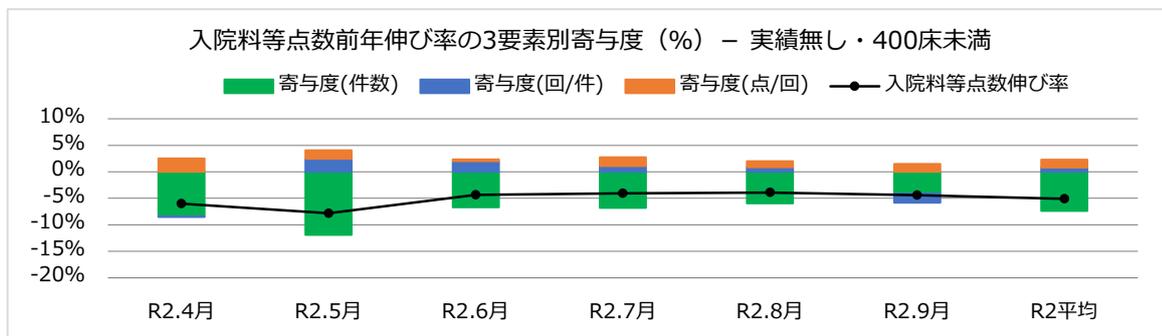
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。ここでの入院料等点数伸び率は、入院点数全体伸び率に対する入院料等点数寄与度と同じとした。



■実績無し・400床未満（13施設）

No.	点数・件数・日数	入院料等点数前年伸び率の3要素別寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等点数伸び率	-6.0%	-7.8%	-4.3%	-4.1%	-3.9%	-4.4%	-5.1%
1	寄与度(件数)	-8.4%	-11.9%	-6.7%	-6.8%	-5.9%	-4.1%	-7.4%
2	寄与度(回/件)	-0.1%	2.5%	2.0%	1.1%	0.9%	-1.7%	0.8%
3	寄与度(点/回)	2.5%	1.6%	0.4%	1.6%	1.1%	1.5%	1.5%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。ここでの入院料等点数伸び率は、入院点数全体伸び率に対する入院料等点数寄与度と同じとした。



5. 入院の診療行為の状況

(3) 入院料等の診療行為点数の前年同月伸び率寄与度（寄与度下位10位までの診療行為）

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	診療行為	入院料等点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等	-4.8%	-6.6%	-3.7%	-1.9%	-1.2%	0.1%	-3.0%
1	一般病棟入院基本料 A100	-2.0%	-2.9%	-1.8%	-1.1%	-1.0%	-0.5%	-1.5%
2	特定機能病院入院基本料 A104	-1.5%	-1.9%	-1.2%	-0.8%	-0.8%	-0.4%	-1.1%
3	小児入院医療管理料 A307	-0.6%	-0.9%	-0.6%	-0.6%	-0.6%	-0.6%	-0.6%
4	救命救急入院料 A300	-0.2%	-0.2%	-0.3%	-0.0%	0.0%	0.0%	-0.1%
5	感染防止対策加算 A234-2	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
6	地域包括ケア病棟入院料 A308-3	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.2%	-0.1%
7	地域医療支援病院入院診療加算 A204	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
8	総合入院体制加算 A200	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
9	データ提出加算 A245	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
10	医師事務作業補助体制加算 A207-2	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績有り・400床未満（31施設）

No.	診療行為	入院料等点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等	-5.3%	-6.8%	-4.8%	-4.0%	-3.5%	-1.7%	-4.3%
1	一般病棟入院基本料 A100	-4.7%	-5.5%	-4.2%	-3.6%	-3.4%	-1.8%	-3.9%
2	小児入院医療管理料 A307	-0.5%	-0.6%	-0.5%	-0.5%	-0.6%	-0.7%	-0.6%
3	地域包括ケア病棟入院料 A308-3	0.1%	-0.5%	-0.1%	-0.0%	-0.4%	-0.1%	-0.2%
4	障害者施設等入院基本料 A106	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%
5	回復期リハビリテーション病棟入院料 A308	-0.0%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
6	緩和ケア病棟入院料 A310	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.0%	-0.0%	-0.1%
7	感染防止対策加算 A234-2	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
8	医師事務作業補助体制加算 A207-2	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
9	特殊疾患入院施設管理加算 A211	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
10	療養病棟入院基本料 A101	-0.0%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績無し・400床未満（13施設）

No.	診療行為	入院料等点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等	-6.0%	-7.8%	-4.3%	-4.1%	-3.9%	-4.4%	-5.1%
1	一般病棟入院基本料 A100	-4.6%	-5.4%	-3.5%	-2.1%	-2.2%	-2.0%	-3.3%
2	地域包括ケア病棟入院料 A308-3	-1.3%	-2.5%	-1.3%	-1.2%	-1.2%	-2.0%	-1.6%
3	障害者施設等入院基本料 A106	-0.1%	0.2%	0.2%	-0.5%	-0.4%	-0.6%	-0.2%
4	特定集中治療室管理料 A301	-0.2%	-0.1%	0.1%	-0.3%	-0.4%	-0.1%	-0.2%
5	回復期リハビリテーション病棟入院料 A308	-0.1%	-0.3%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.1%
6	小児入院医療管理料 A307	0.0%	0.0%	-0.2%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%
7	感染防止対策加算 A234-2	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.1%
8	特殊疾患入院施設管理加算 A211	-0.0%	0.0%	0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%
9	医師事務作業補助体制加算 A207-2	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	0.0%	-0.0%
10	地域医療支援病院入院診療加算 A204	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

5. 入院の診療行為の状況

(4) 入院料の診療行為点数の前年同月伸び率寄与度（寄与度上位10位までの診療行為）

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	診療行為	入院料等点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等	-4.8%	-6.6%	-3.7%	-1.9%	-1.2%	0.1%	-3.0%
1	特定集中治療室管理料 A301	0.2%	-0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%
2	救急医療管理加算 A205	-0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%
3	急性期看護補助体制加算 A207-3	-0.1%	-0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%	0.1%
4	ハイケアユニット入院医療管理料 A301-2	-0.2%	-0.0%	-0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.1%
5	二類感染症患者療養環境特別加算 A220-2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	入退院支援加算 A246	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	難病等特別入院診療加算 A210	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	せん妄ハイリスク患者ケア加算 A244	-0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	病棟薬剤業務実施加算 A224	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%	0.0%
10	新生児特定集中治療室管理料 A302	0.1%	-0.0%	0.0%	-0.0%	0.0%	-0.0%	0.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績有り・400床未満（31施設）

No.	診療行為	入院料等点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等	-5.3%	-6.8%	-4.8%	-4.0%	-3.5%	-1.7%	-4.3%
1	ハイケアユニット入院医療管理料 A301-2	0.2%	0.3%	0.2%	0.5%	0.9%	0.7%	0.5%
2	特定集中治療室管理料 A301	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
3	認知症ケア加算 A247	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	二類感染症患者療養環境特別加算 A220-2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	入退院支援加算 A246	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
6	結核病棟入院基本料 A102	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%
7	難病等特別入院診療加算 A210	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	無菌治療室管理加算 A224	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%
9	急性期看護補助体制加算 A207-3	-0.1%	-0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
10	看護職員夜間配置加算 A207-4	-0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績無し・400床未満（13施設）

No.	診療行為	入院料等点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	入院料等	-6.0%	-7.8%	-4.3%	-4.1%	-3.9%	-4.4%	-5.1%
1	ハイケアユニット入院医療管理料 A301-2	0.2%	0.3%	-0.0%	0.0%	0.1%	-0.0%	0.1%
2	療養病棟入院基本料 A101	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
3	救急医療管理加算 A205	-0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%
4	急性期看護補助体制加算 A207-3	-0.1%	-0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
5	認知症ケア加算 A247	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	二類感染症患者療養環境特別加算 A220-2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	妊産婦緊急搬送入院加算 A205-3	-0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%
8	超急性期脳卒中加算 A205-2	-0.0%	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	難病等特別入院診療加算 A210	0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%
10	褥瘡ハイリスク患者ケア加算 A236	0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

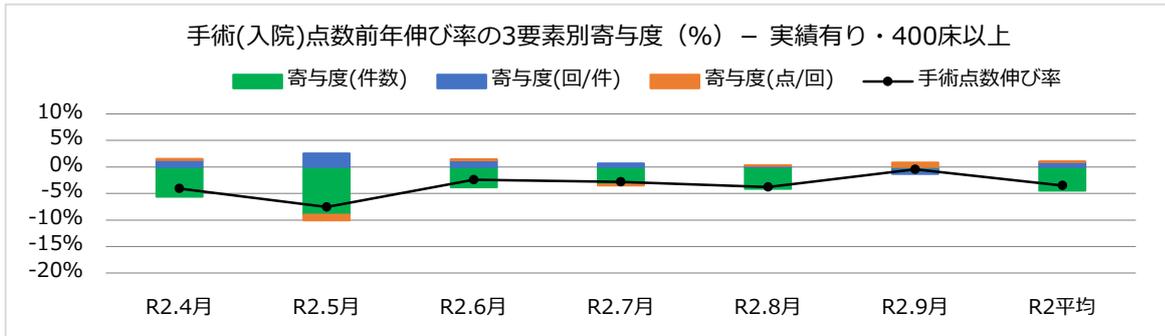
5. 入院の診療行為の状況

(5) 手術（入院）点数前年伸び率に対する件数・回数/件・点数/回の3要素別寄与度分解

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	点数・件数・日数	手術(入院)点数前年伸び率の3要素別寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術点数伸び率	-4.1%	-7.5%	-2.4%	-2.8%	-3.8%	-0.4%	-3.5%
1	寄与度(件数)	-5.6%	-9.0%	-3.9%	-3.3%	-4.1%	-0.4%	-4.5%
2	寄与度(回/件)	1.3%	2.6%	1.3%	0.7%	0.2%	-0.9%	1.0%
3	寄与度(点/回)	0.2%	-1.1%	0.2%	-0.2%	0.1%	0.9%	0.0%

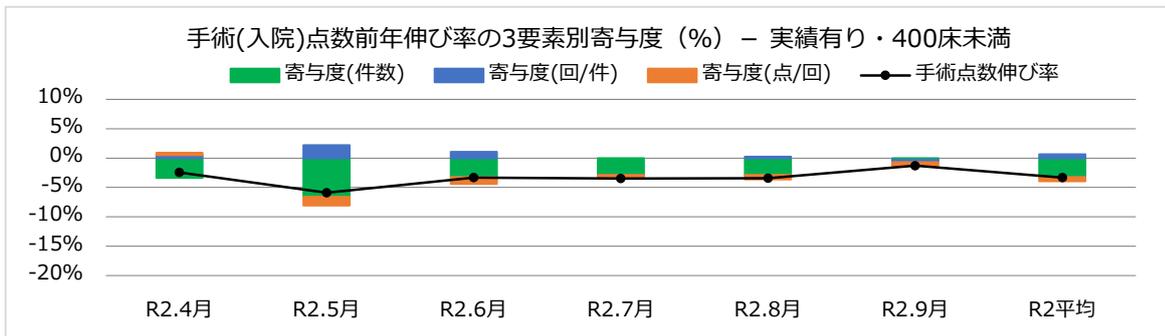
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。ここでの手術点数伸び率は、入院点数全体伸び率に対する手術点数寄与度と同じとした。



■実績有り・400床未満（31施設）

No.	点数・件数・日数	手術(入院)点数前年伸び率の3要素別寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術点数伸び率	-2.5%	-5.9%	-3.3%	-3.5%	-3.4%	-1.3%	-3.3%
1	寄与度(件数)	-3.4%	-6.6%	-3.2%	-2.8%	-2.9%	-0.3%	-3.2%
2	寄与度(回/件)	0.5%	2.2%	1.1%	-0.0%	0.2%	-0.4%	0.6%
3	寄与度(点/回)	0.4%	-1.5%	-1.2%	-0.6%	-0.8%	-0.6%	-0.7%

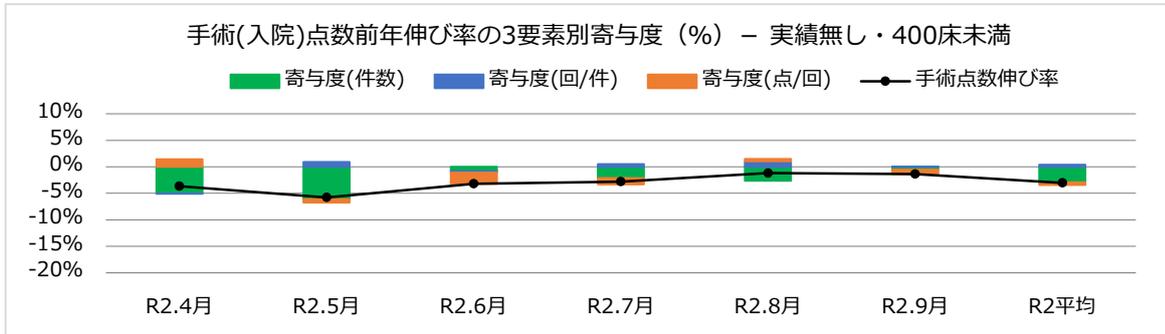
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。ここでの手術点数伸び率は、入院点数全体伸び率に対する手術点数寄与度と同じとした。



■実績無し・400床未満（13施設）

No.	点数・件数・日数	手術(入院)点数前年伸び率の3要素別寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術点数伸び率	-3.7%	-5.8%	-3.2%	-2.8%	-1.2%	-1.4%	-3.0%
1	寄与度(件数)	-5.0%	-6.1%	-0.8%	-2.1%	-2.7%	-0.5%	-2.9%
2	寄与度(回/件)	-0.1%	0.9%	-0.3%	0.5%	1.0%	0.0%	0.4%
3	寄与度(点/回)	1.4%	-0.6%	-2.1%	-1.2%	0.4%	-0.9%	-0.5%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。ここでの手術点数伸び率は、入院点数全体伸び率に対する手術点数寄与度と同じとした。



5. 入院の診療行為の状況

(6) 手術（入院）の診療行為点数の前年同月伸び率寄与度（寄与度下位10位までの診療行為）

■実績有り・400床以上（38施設）

No.	診療行為	手術（入院）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術（入院）全体	-4.1%	-7.5%	-2.4%	-2.8%	-3.8%	-0.4%	-3.5%
1	経皮的カテーテル心筋焼灼術 K595	-0.7%	-1.1%	-0.5%	-0.4%	-0.5%	-0.1%	-0.6%
2	経皮的冠動脈ステント留置術 K549	-0.5%	-0.5%	-0.4%	-0.4%	-0.5%	-0.2%	-0.4%
3	水晶体再建術 K282	-0.2%	-0.5%	-0.3%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.2%
4	人工関節置換術 K082	-0.2%	-0.5%	-0.1%	0.0%	-0.0%	0.1%	-0.1%
5	四肢の血管拡張術・血栓除去術 K616	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
6	硝子体茎顕微鏡下離断術 K280	-0.2%	-0.3%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
7	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） K142	-0.0%	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.2%	-0.1%
8	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 K719-3	-0.1%	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.0%	-0.1%	-0.1%
9	乳腺悪性腫瘍手術 K476	0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
10	冠動脈、大動脈バイパス移植術 K552-2	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績有り・400床未満（31施設）

No.	診療行為	手術（入院）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術（入院）全体	-2.5%	-5.9%	-3.3%	-3.5%	-3.4%	-1.3%	-3.3%
1	脊椎側彎症手術 K142-2	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.4%	-0.8%	-0.3%	-0.4%
2	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） K142	0.1%	-0.5%	-0.1%	-0.6%	-0.2%	-0.5%	-0.3%
3	経皮的冠動脈ステント留置術 K549	-0.2%	-0.4%	-0.4%	-0.3%	-0.4%	0.1%	-0.3%
4	水晶体再建術 K282	-0.1%	-0.4%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.2%
5	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 K514-2	-0.2%	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.1%	0.1%	-0.1%
6	人工関節置換術 K082	-0.0%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.1%
7	ステントグラフト内挿術 K561	0.0%	0.0%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.1%
8	脳血管内手術 K178	-0.1%	-0.0%	-0.2%	0.1%	0.0%	-0.3%	-0.1%
9	ペースメーカー移植術 K597	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	0.1%	-0.2%	-0.1%
10	骨折観血的手術 K046	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績無し・400床未満（13施設）

No.	診療行為	手術（入院）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術（入院）全体	-3.7%	-5.8%	-3.2%	-2.8%	-1.2%	-1.4%	-3.0%
1	経皮的冠動脈ステント留置術 K549	-1.0%	-0.8%	-0.2%	0.0%	0.0%	-0.4%	-0.4%
2	人工関節置換術 K082	0.4%	-0.7%	-0.6%	-0.3%	-0.6%	-0.3%	-0.4%
3	ペースメーカー移植術 K597	-0.5%	-0.1%	0.0%	-0.5%	-0.1%	-0.2%	-0.3%
4	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 K688	-0.3%	-0.1%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.2%	-0.2%
5	ステントグラフト内挿術 K616	-0.3%	-0.0%	-0.2%	-0.3%	-0.2%	0.1%	-0.2%
6	経皮的カテーテル心筋焼灼術 K595	0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.3%	-0.2%	-0.2%	-0.1%
7	脳血管内手術 K178	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-	-	-0.1%
8	骨折観血的手術 K046	-0.3%	-0.4%	0.3%	0.1%	-0.0%	-0.4%	-0.1%
9	直腸切除・切断術 K740	-0.2%	-0.1%	-0.0%	-0.2%	-0.1%	0.0%	-0.1%
10	人工骨頭挿入術 K081	-0.1%	-0.4%	0.1%	-0.0%	0.0%	-0.1%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

5. 入院の診療行為の状況

(7) 手術（入院）の算定回数・点数の比較

■手術（入院）の算定回数・点数の比較

No.	医療機関分類条件		施設数	行為種類	期間	R1(2019年)			R2(2020年)			R2/R1比		
	コロナ対応実績	病床規模				回/月・施設	点/回	千点/月・施設	回/月・施設	点/回	千点/月・施設	回/月・施設	点/回	千点/月・施設
1	実績有り	400床以上	38	全行為	4-9月	1,226	22,688	27,820	1,086	22,730	24,675	89%	100%	89%
					4-5月	1,198	22,440	26,892	987	22,117	21,822	82%	99%	81%
				2万点以上行為	4-9月	361	63,647	22,964	317	64,506	20,461	88%	101%	89%
					4-5月	350	63,471	22,199	277	65,381	18,092	79%	103%	81%
2	実績有り	400床未満	31	全行為	4-9月	310	22,068	6,836	275	21,352	5,871	89%	97%	86%
					4-5月	302	21,868	6,604	255	21,297	5,420	84%	97%	82%
				2万点以上行為	4-9月	88	62,979	5,557	76	62,234	4,742	86%	99%	85%
					4-5月	86	62,798	5,369	68	62,486	4,232	79%	100%	79%
3	実績無し	400床未満	13	全行為	4-9月	225	21,824	4,900	200	21,324	4,256	89%	98%	87%
					4-5月	234	21,835	5,112	183	22,310	4,090	78%	102%	80%
				2万点以上行為	4-9月	78	52,364	4,084	70	51,247	3,581	90%	98%	88%
					4-5月	85	51,056	4,338	66	53,052	3,491	77%	104%	80%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。全行為は、時間外等の加算を含めた手術に係る診療行為（Kコード）すべてを対象とした。2万点以上行為は、薬剤料や特定保険医療材料料等を含めた回数あたり点数が2万点以上となった診療行為を対象とした。

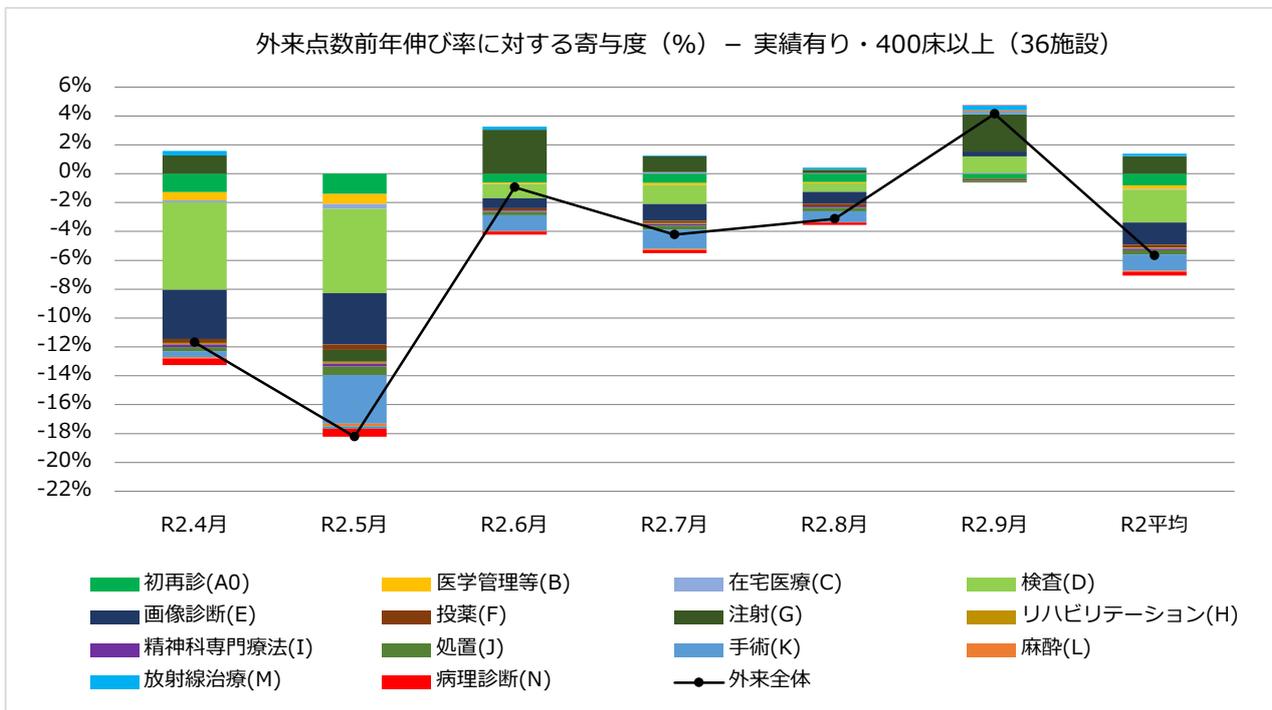
6. 外来の診療行為の状況

(1) 外来点数の前年伸び率に対する診療行為別寄与度

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	診療行為大分類	表記号	外来点数前年伸び率に対する寄与度 (%)						
			R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	外来全体	-	-11.7%	-18.2%	-1.0%	-4.2%	-3.1%	4.1%	-5.7%
1	初再診	A0	-1.3%	-1.4%	-0.6%	-0.6%	-0.6%	-0.4%	-0.8%
(1)	(再掲)初再診 (診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ)	(A0)	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%	0.0%
2	医学管理等	B	-0.6%	-0.7%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	0.0%	-0.3%
(2)	(再掲)医学管理等 (診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ)	(B)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	在宅医療	C	-0.1%	-0.3%	-0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	-0.0%
4	検査	D	-6.1%	-5.9%	-1.0%	-1.3%	-0.6%	1.1%	-2.3%
5	画像診断	E	-3.4%	-3.5%	-0.7%	-1.1%	-0.8%	0.3%	-1.5%
6	投薬	F	-0.3%	-0.4%	-0.1%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.2%
7	注射	G	1.3%	-0.8%	3.0%	1.1%	0.2%	2.6%	1.2%
8	リハビリテーション	H	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.0%
9	精神科専門療法	I	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
10	処置	J	-0.3%	-0.6%	-0.2%	-0.3%	-0.3%	-0.1%	-0.3%
11	手術	K	-0.4%	-3.4%	-1.1%	-1.3%	-0.7%	0.2%	-1.1%
12	麻酔	L	-0.1%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	0.1%	-0.1%
13	放射線治療	M	0.3%	-0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%
14	病理診断	N	-0.5%	-0.6%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	0.0%	-0.3%

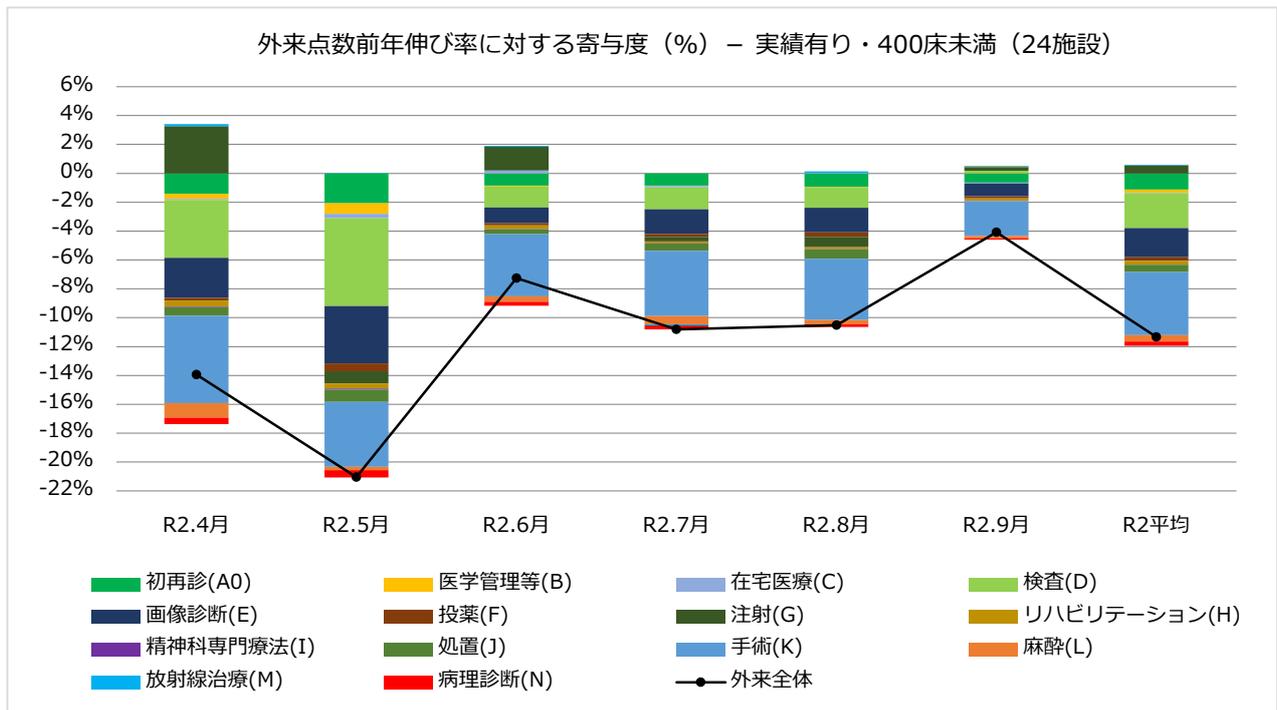
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満（24施設）

No.	診療行為大分類	表記号	外来点数前年伸び率に対する寄与度 (%)							R2平均
			R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月		
-	外来全体	-	-14.0%	-21.0%	-7.3%	-10.8%	-10.5%	-4.1%	-11.3%	
1	初再診	A0	-1.4%	-2.1%	-0.8%	-0.8%	-1.0%	-0.6%	-1.1%	
(1)	(再掲)初再診 (診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ)	(A0)	-	0.0%	-	-	-	-	0.0%	
2	医学管理等	B	-0.4%	-0.7%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	0.0%	-0.2%	
(2)	(再掲)医学管理等 (診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ)	(B)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
3	在宅医療	C	-0.1%	-0.3%	0.2%	-0.1%	0.0%	-0.1%	-0.0%	
4	検査	D	-4.0%	-6.1%	-1.5%	-1.5%	-1.4%	0.2%	-2.4%	
5	画像診断	E	-2.8%	-4.0%	-1.1%	-1.7%	-1.7%	-0.9%	-2.0%	
6	投薬	F	-0.2%	-0.5%	-0.2%	-0.2%	-0.3%	-0.1%	-0.3%	
7	注射	G	3.3%	-0.8%	1.6%	-0.3%	-0.7%	0.3%	0.6%	
8	リハビリテーション	H	-0.4%	-0.4%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.2%	
9	精神科専門療法	I	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	
10	処置	J	-0.6%	-0.9%	-0.3%	-0.5%	-0.7%	0.0%	-0.5%	
11	手術	K	-6.0%	-4.5%	-4.3%	-4.5%	-4.2%	-2.4%	-4.4%	
12	麻酔	L	-1.0%	-0.2%	-0.4%	-0.6%	-0.3%	-0.2%	-0.5%	
13	放射線治療	M	0.2%	0.0%	0.1%	-0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	
14	病理診断	N	-0.4%	-0.5%	-0.3%	-0.3%	-0.2%	-0.1%	-0.3%	

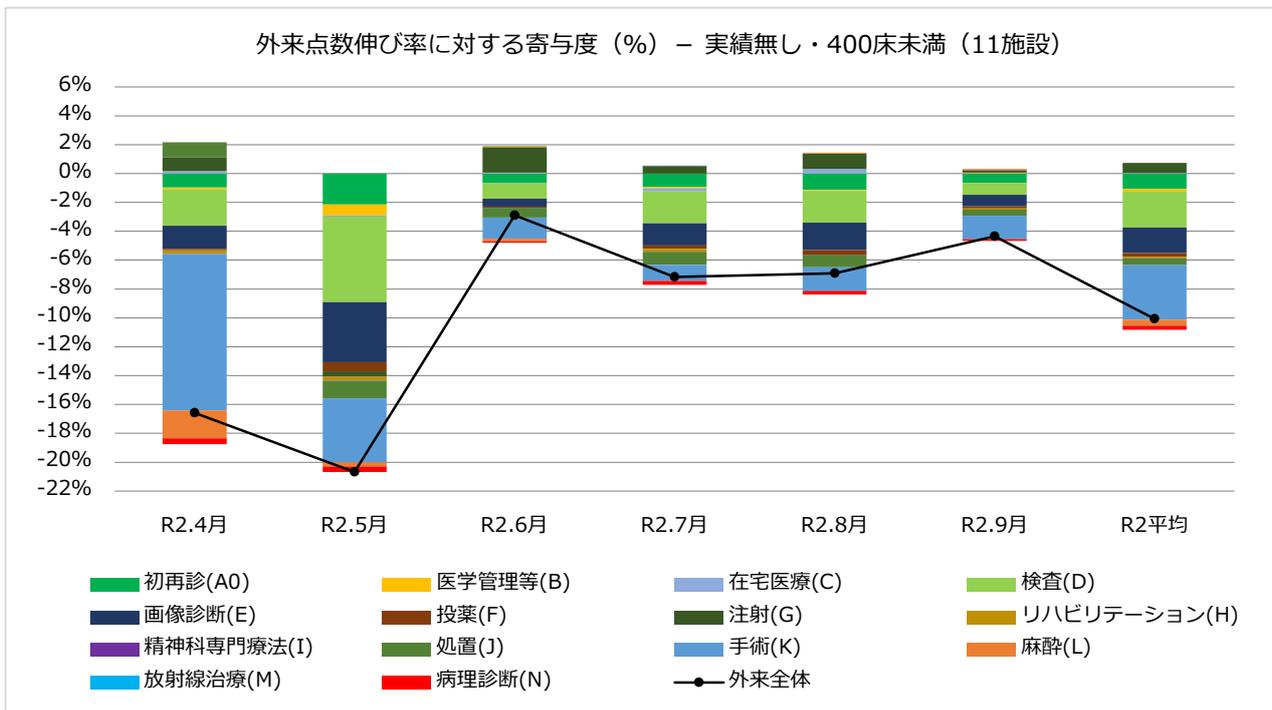
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満（11施設）

No.	診療行為大分類	表記号	外来点数伸び率に対する寄与度 (%)							R2平均
			R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月		
-	外来全体	-	-16.6%	-20.7%	-2.9%	-7.2%	-6.9%	-4.4%	-10.1%	
1	初再診	A0	-1.0%	-2.1%	-0.7%	-0.9%	-1.1%	-0.7%	-1.1%	
(1)	(再掲)初再診 (診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ)	(A0)	-	-	-	-	-	-	-	
2	医学管理等	B	-0.1%	-0.8%	0.0%	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.2%	
(2)	(再掲)医学管理等 (診療報酬上臨時的取扱診療行為のみ)	(B)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
3	在宅医療	C	0.2%	-0.1%	0.1%	-0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	
4	検査	D	-2.5%	-5.9%	-1.1%	-2.2%	-2.2%	-0.8%	-2.5%	
5	画像診断	E	-1.6%	-4.2%	-0.6%	-1.5%	-1.9%	-0.8%	-1.8%	
6	投薬	F	-0.1%	-0.6%	-0.1%	-0.2%	-0.4%	-0.1%	-0.3%	
7	注射	G	1.0%	-0.4%	1.7%	0.5%	1.1%	0.2%	0.7%	
8	リハビリテーション	H	-0.2%	-0.3%	0.1%	-0.2%	0.0%	-0.1%	-0.1%	
9	精神科専門療法	I	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%	-0.0%	
10	処置	J	1.0%	-1.2%	-0.7%	-0.9%	-0.8%	-0.4%	-0.5%	
11	手術	K	-10.8%	-4.4%	-1.5%	-1.1%	-1.7%	-1.6%	-3.8%	
12	麻酔	L	-1.9%	-0.3%	-0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	-0.4%	
13	放射線治療	M	-0.0%	-0.0%	0.0%	0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	
14	病理診断	N	-0.4%	-0.4%	-0.1%	-0.3%	-0.2%	-0.1%	-0.3%	

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。



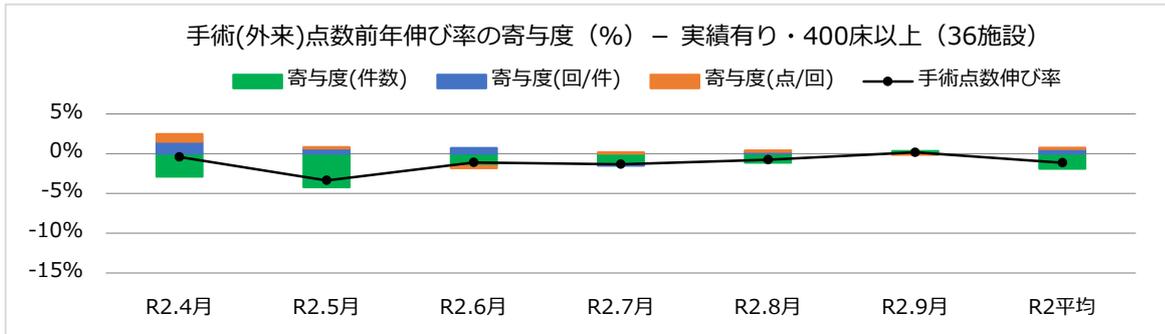
6. 外来の診療行為の状況

(2) 手術（外来）点数前年伸び率に対する件数・回数/件・点数/回の3要素別寄与度分解

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	点数・件数・日数	手術(外来)点数前年伸び率の寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術点数伸び率	-0.4%	-3.4%	-1.1%	-1.3%	-0.7%	0.2%	-1.1%
1	寄与度(件数)	-2.9%	-4.2%	-1.5%	-1.4%	-1.1%	0.3%	-1.9%
2	寄与度(回/件)	1.5%	0.7%	0.7%	-0.1%	0.2%	-0.0%	0.6%
3	寄与度(点/回)	1.0%	0.2%	-0.3%	0.2%	0.2%	-0.1%	0.2%

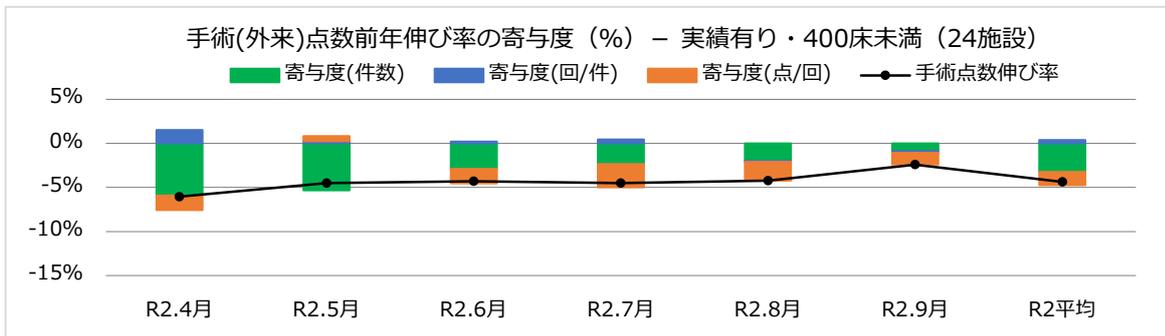
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。ここでの手術点数伸び率は、外来点数全体伸び率に対する手術点数寄与度と同じとした。



■実績有り・400床未満（24施設）

No.	点数・件数・日数	手術(外来)点数前年伸び率の寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術点数伸び率	-6.0%	-4.5%	-4.3%	-4.5%	-4.2%	-2.4%	-4.4%
1	寄与度(件数)	-5.9%	-5.3%	-2.9%	-2.3%	-2.0%	-0.8%	-3.2%
2	寄与度(回/件)	1.5%	0.3%	0.2%	0.5%	-0.1%	-0.2%	0.4%
3	寄与度(点/回)	-1.6%	0.6%	-1.6%	-2.6%	-2.1%	-1.4%	-1.5%

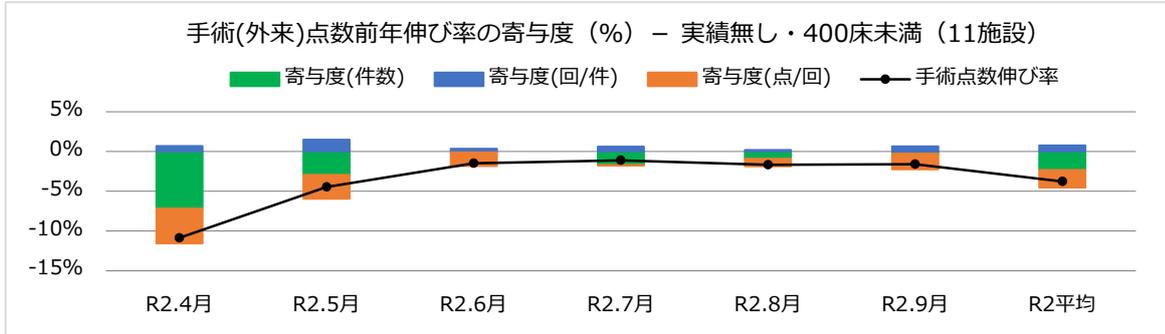
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。ここでの手術点数伸び率は、外来点数全体伸び率に対する手術点数寄与度と同じとした。



■実績無し・400床未満（11施設）

No.	点数・件数・日数	手術(外来)点数前年伸び率の寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術点数伸び率	-10.8%	-4.4%	-1.5%	-1.1%	-1.7%	-1.6%	-3.8%
1	寄与度(件数)	-7.2%	-2.9%	-0.1%	-1.7%	-0.9%	-0.3%	-2.3%
2	寄与度(回/件)	0.7%	1.5%	0.3%	0.6%	0.2%	0.6%	0.8%
3	寄与度(点/回)	-4.4%	-3.0%	-1.7%	-0.0%	-1.0%	-2.0%	-2.2%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。ここでの手術点数伸び率は、外来点数全体伸び率に対する手術点数寄与度と同じとした。



6. 外来の診療行為の状況

(3) 手術（外来）の診療行為点数の前年同月伸び率寄与度（寄与度下位10位までの診療行為）

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	診療行為	手術（外来）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術（外来）全体	-0.4%	-3.4%	-1.1%	-1.3%	-0.7%	0.2%	-1.1%
1	経皮的カテーテル心筋焼灼術 K595	-0.4%	-0.6%	-0.4%	-0.4%	-0.3%	-0.5%	-0.5%
2	経皮的冠動脈ステント留置術 K549	-0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.2%
3	四肢の血管拡張術・血栓除去術 K616	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
4	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 K721	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	0.0%	-0.1%
5	水晶体再建術 K282	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	0.0%	-0.1%
6	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 K171-2	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%
7	経皮的シャント拡張術・血栓除去術 K616-4	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%
8	網膜光凝固術 K276	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	0.0%	-0.0%
9	人工内耳植込術 K328	-	-0.1%	0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%
10	人工関節置換術 K082	0.0%	-0.2%	-0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	-0.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績有り・400床未満（24施設）

No.	診療行為	手術（外来）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術（外来）全体	-6.0%	-4.5%	-4.3%	-4.5%	-4.2%	-2.4%	-4.4%
1	脊椎側彎症手術 K142-2	-1.1%	-0.3%	-1.0%	-0.9%	-1.3%	-0.8%	-0.9%
2	経皮的冠動脈ステント留置術 K549	-0.4%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.3%
3	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 K514-2	-0.4%	-0.3%	-0.5%	-0.3%	-0.1%	-0.1%	-0.3%
4	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） K142	-0.1%	-0.2%	0.3%	-0.8%	-0.1%	-0.5%	-0.2%
5	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 K721	-0.3%	-0.3%	-0.1%	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.2%
6	人工関節置換術 K082	-0.2%	-0.3%	-0.2%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.2%
7	輸血 K920	-0.0%	-0.4%	-0.2%	-0.0%	-0.2%	-0.1%	-0.2%
8	経皮的カテーテル心筋焼灼術 K595	-0.3%	-0.1%	-0.4%	0.1%	-0.2%	0.1%	-0.1%
9	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 K719-3	-0.1%	-0.0%	-0.3%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
10	脳血管内手術 K178	-0.1%	-0.0%	-0.3%	-0.1%	0.0%	-0.1%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績無し・400床未満（11施設）

No.	診療行為	手術（外来）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	手術（外来）全体	-10.8%	-4.4%	-1.5%	-1.1%	-1.7%	-1.6%	-3.8%
1	内視鏡的胆道ステント留置術 K688	-0.4%	-0.6%	-0.5%	-0.1%	-0.2%	-0.7%	-0.4%
2	経皮的冠動脈ステント留置術 K549	-0.9%	-0.4%	0.8%	-0.2%	-0.3%	-0.9%	-0.3%
3	脳血管内手術 K178	-0.4%	-0.5%	-0.8%	-	-	-	-0.3%
4	乳腺悪性腫瘍手術 K476	-1.3%	0.1%	-	-	-	-0.1%	-0.2%
5	ペースメーカー移植術 K597	-0.9%	-0.4%	0.2%	0.0%	-0.0%	0.1%	-0.2%
6	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 K721	-0.3%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.2%
7	人工関節置換術 K082	-0.2%	0.0%	0.3%	-0.4%	-0.4%	-0.2%	-0.1%
8	ペースメーカー交換術 K597-2	-0.1%	-	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-	-0.1%
9	脳動脈瘤頸部クリッピング K177	-	-0.1%	-0.6%	0.0%	0.0%	-	-0.1%
10	結腸切除術 K719	-0.3%	-0.0%	0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

6. 外来の診療行為の状況

(4) 手術の算定回数・点数の比較

■手術（外来）の算定回数・点数の比較

No.	医療機関分類条件		施設数	行為種類	期間	R1(2019年)			R2(2020年)			R2/R1比			
	コロナ対応実績	病床規模				回/月・施設	点/回	千点/月・施設	回/月・施設	点/回	千点/月・施設	回/月・施設	点/回	千点/月・施設	
1	実績有り	400床以上	36	全行為	4-9月	528	11,704	6,174	470	11,903	5,595	89%	102%	91%	
					4-5月	531	11,144	5,918	423	11,756	4,975	80%	105%	84%	
					2万点以上行為	4-9月	68	65,529	4,445	57	69,187	3,944	84%	106%	89%
						4-5月	65	64,449	4,164	51	69,218	3,504	78%	107%	84%
2	実績有り	400床未満	24	全行為	4-9月	184	13,728	2,525	150	12,311	1,850	82%	90%	73%	
					4-5月	191	13,566	2,595	136	13,029	1,775	71%	96%	68%	
					2万点以上行為	4-9月	27	69,439	1,898	18	72,593	1,271	64%	105%	67%
						4-5月	28	67,527	1,913	17	73,083	1,259	61%	108%	66%
3	実績無し	400床未満	11	全行為	4-9月	126	10,667	1,340	111	8,883	982	88%	83%	73%	
					4-5月	146	11,978	1,754	107	8,801	945	73%	73%	54%	
					2万点以上行為	4-9月	19	53,263	988	12	57,821	682	64%	109%	69%
						4-5月	28	48,667	1,352	12	56,379	666	43%	116%	49%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。全行為は、時間外等の加算を含めた手術に係る診療行為（Kコード）すべてを対象とした。2万点以上行為は、薬剤料や特定保険医療材料等を含めた回数あたり点数が2万点以上となった診療行為を対象とした。

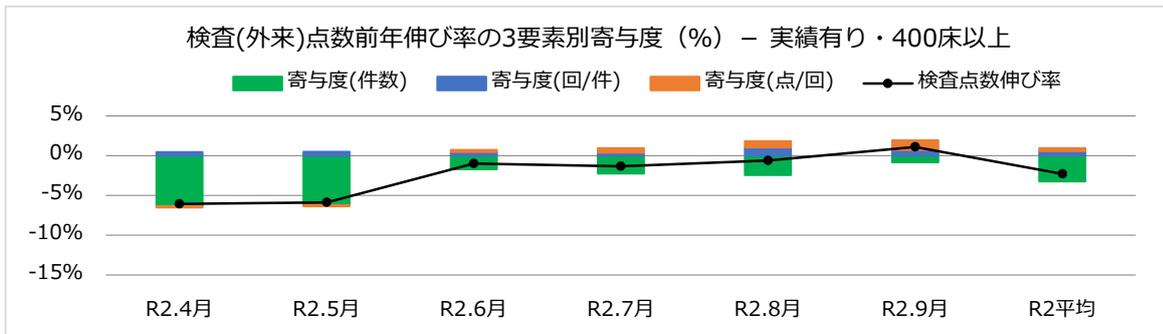
6. 外来の診療行為の状況

(5) 検査（外来）点数前年伸び率に対する件数・回数/件・点数/回の3要素別寄与度分解

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	点数・件数・日数	検査(外来)点数前年伸び率の3要素別寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	検査点数伸び率	-6.1%	-5.9%	-1.0%	-1.3%	-0.6%	1.1%	-2.3%
1	寄与度(件数)	-6.3%	-6.2%	-1.7%	-2.3%	-2.4%	-0.8%	-3.2%
2	寄与度(回/件)	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%	1.0%	0.7%	0.6%
3	寄与度(点/回)	-0.2%	-0.2%	0.3%	0.6%	0.8%	1.2%	0.4%

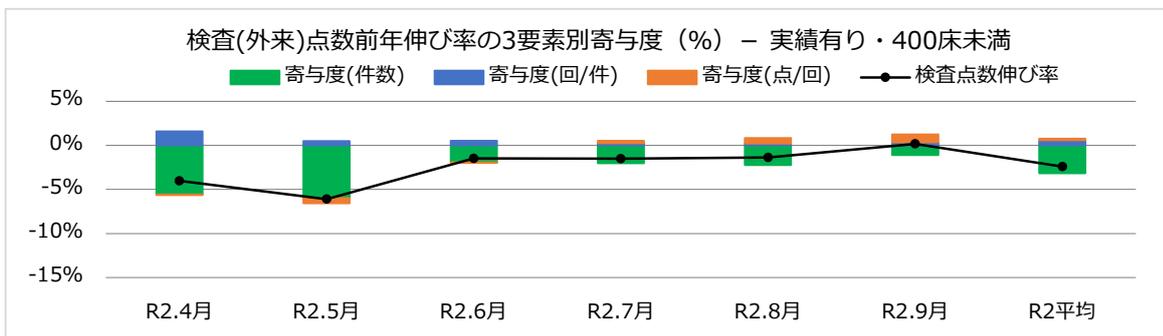
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。ここでの検査点数伸び率は、外来点数全体伸び率に対する検査点数寄与度と同じとした。



■実績有り・400床未満（24施設）

No.	点数・件数・日数	検査(外来)点数前年伸び率の3要素別寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	検査点数伸び率	-4.0%	-6.1%	-1.5%	-1.5%	-1.4%	0.2%	-2.4%
1	寄与度(件数)	-5.6%	-6.0%	-1.9%	-2.0%	-2.2%	-1.1%	-3.2%
2	寄与度(回/件)	1.6%	0.5%	0.5%	0.2%	0.2%	0.3%	0.6%
3	寄与度(点/回)	-0.0%	-0.6%	-0.1%	0.3%	0.6%	0.9%	0.2%

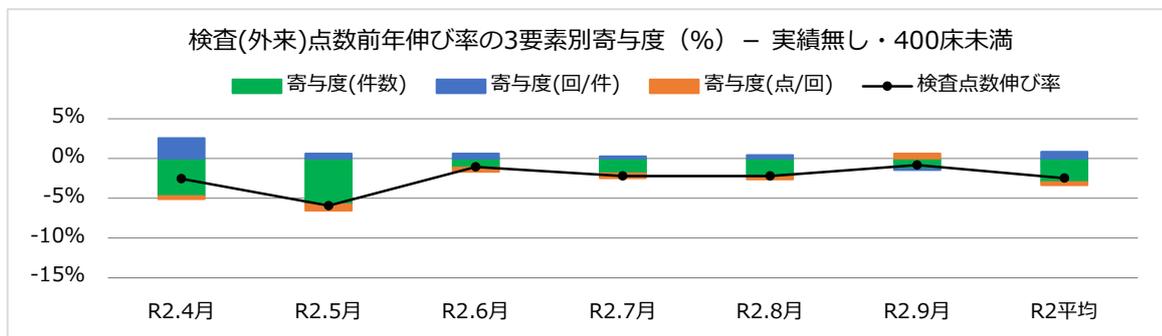
※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。ここでの検査点数伸び率は、外来点数全体伸び率に対する検査点数寄与度と同じとした。



■実績無し・400床未満（11施設）

No.	点数・件数・日数	検査(外来)点数前年伸び率の3要素別寄与度 (%)						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	検査点数伸び率	-2.5%	-5.9%	-1.1%	-2.2%	-2.2%	-0.8%	-2.5%
1	寄与度(件数)	-4.7%	-5.7%	-1.1%	-1.9%	-2.3%	-1.3%	-3.0%
2	寄与度(回/件)	2.6%	0.6%	0.6%	0.3%	0.4%	-0.1%	0.8%
3	寄与度(点/回)	-0.4%	-0.8%	-0.6%	-0.6%	-0.4%	0.6%	-0.4%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。ここでの検査点数伸び率は、外来点数全体伸び率に対する検査点数寄与度と同じとした。



6. 外来の診療行為の状況

(6) 検査（外来）の診療行為点数の前年同月伸び率寄与度（寄与度下位10位までの診療行為）

■実績有り・400床以上（36施設）

No.	診療行為	検査（外来）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	検査（外来）全体	-6.1%	-5.9%	-1.0%	-1.3%	-0.6%	1.1%	-2.3%
1	検体検査判断料 D026	-1.7%	-1.6%	-0.3%	-0.4%	-0.4%	-0.0%	-0.7%
2	血液化学検査 D007	-0.6%	-0.6%	-0.1%	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.3%
3	超音波検査 D215	-0.7%	-0.6%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	0.0%	-0.3%
4	胃・十二指腸ファイバースコープ D308	-0.4%	-0.4%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.2%
5	内分泌学的検査 D008	-0.4%	-0.3%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.1%
6	大腸内視鏡検査 D313	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
7	血漿蛋白免疫学的検査 D015	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
8	血液形態・機能検査 D005	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.0%	-0.1%	0.0%	-0.1%
9	喉頭ファイバースコープ D299	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.1%
10	肝炎ウイルス関連検査 D013	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績有り・400床未満（24施設）

No.	診療行為	検査（外来）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	検査（外来）全体	-4.1%	-6.1%	-1.5%	-1.5%	-1.4%	0.1%	-2.4%
1	検体検査判断料 D026	-1.0%	-1.6%	-0.3%	-0.5%	-0.6%	-0.2%	-0.7%
2	超音波検査 D215	-0.6%	-0.8%	-0.2%	-0.3%	-0.3%	-0.1%	-0.4%
3	血液化学検査 D007	-0.3%	-0.6%	-0.2%	-0.2%	-0.3%	-0.1%	-0.3%
4	胃・十二指腸ファイバースコープ D308	-0.3%	-0.5%	-0.2%	-0.2%	-0.1%	-0.0%	-0.2%
5	大腸内視鏡検査（カプセル型内視鏡によるもの） D313	-0.2%	-0.3%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.0%	-0.2%
6	血液形態・機能検査 D005	-0.1%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
7	血漿蛋白免疫学的検査 D015	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
8	内分泌学的検査 D008	-0.1%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.1%
9	心臓カテーテル法による諸検査 D206	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.1%
10	尿中一般物質定性半定量検査 D000	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

■実績無し・400床未満（11施設）

No.	診療行為	検査（外来）点数前年伸び率の寄与度（%）						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
-	検査（外来）全体	-2.6%	-6.0%	-1.1%	-2.3%	-2.2%	-0.9%	-2.6%
1	検体検査判断料 D026	-0.6%	-1.7%	-0.3%	-0.6%	-0.7%	-0.4%	-0.7%
2	胃・十二指腸ファイバースコープ D308	-0.4%	-0.6%	-0.3%	-0.2%	-0.1%	-0.0%	-0.3%
3	血液化学検査 D007	-0.2%	-0.5%	-0.0%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	-0.2%
4	超音波検査 D215	0.1%	-0.8%	0.0%	-0.2%	-0.2%	0.0%	-0.2%
5	大腸内視鏡検査（カプセル型内視鏡によるもの） D313	-0.3%	-0.3%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.2%
6	尿中一般物質定性半定量検査 D000	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
7	内分泌学的検査 D008	-0.2%	-0.2%	-0.0%	-0.1%	-0.0%	0.0%	-0.1%
8	血漿蛋白免疫学的検査 D015	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.0%	-0.1%
9	終夜睡眠ポリグラフィー D208	-0.0%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%
10	喉頭ファイバースコープ D299	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。それぞれの4-9月期間において、算定されていない診療行為は集計から除いた。

6. 外来の診療行為の状況

(7) 検査の算定回数・点数の比較

■ 検査（外来）の算定回数・点数の比較

No.	医療機関分類条件		施設数	行為種類	期間	R1(2019年)			R2(2020年)			R2/R1比		
	コロナ対応実績	病床規模				回/月・施設	点/回	千点/月・施設	回/月・施設	点/回	千点/月・施設	回/月・施設	点/回	千点/月・施設
1	実績有り	400床以上	38	全行為	4-9月	94,372	118	11,101	82,568	120	9,937	87%	102%	90%
					4-5月	94,008	116	10,911	68,890	115	7,920	73%	99%	73%
				500点以上行為	4-9月	1,740	1,164	2,025	1,595	1,301	2,075	92%	112%	102%
					4-5月	1,703	1,155	1,968	1,115	1,309	1,459	65%	113%	74%
2	実績有り	400床未満	31	全行為	4-9月	30,376	115	3,480	26,865	116	3,108	88%	101%	89%
					4-5月	30,690	113	3,472	24,162	111	2,690	79%	98%	77%
				500点以上行為	4-9月	547	1,180	646	509	1,210	617	93%	103%	95%
					4-5月	554	1,177	652	381	1,216	464	69%	103%	71%
3	実績無し	400床未満	13	全行為	4-9月	19,187	113	2,168	17,382	111	1,934	91%	98%	89%
					4-5月	20,211	111	2,245	16,938	108	1,830	84%	97%	81%
				500点以上行為	4-9月	327	1,160	380	271	1,168	317	83%	101%	83%
					4-5月	340	1,145	389	225	1,190	267	66%	104%	69%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。全行為は、加算を含めた検査に係る診療行為（Dコード）すべてを対象とした。500点以上行為は、薬剤料や特定保険医療材料等を含めた回数あたり点数が500点以上となった診療行為を対象とした。

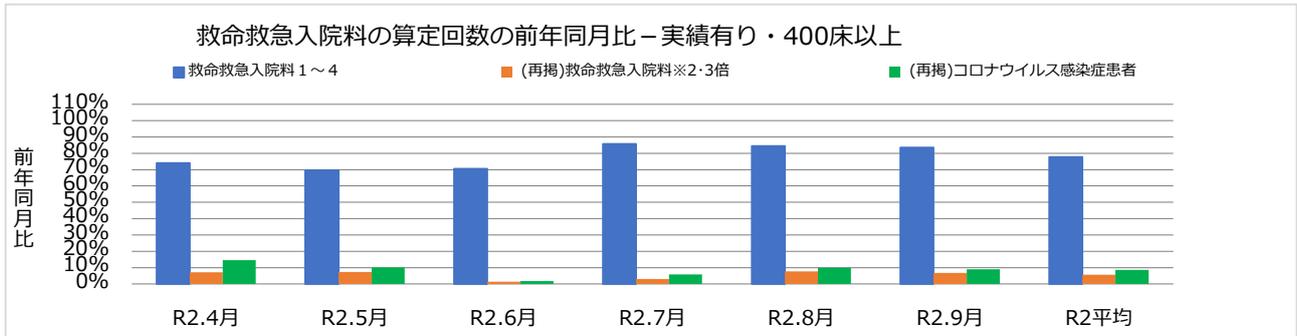
7. 入院関係の算定状況

(1) 救命救急入院料の算定回数の変化

■実績有り・400床以上

No.	診療行為	救命救急入院料の算定回数の前年同月比 - 実績有り・400床以上						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	救命救急入院料 1～4 <small>前年同月比</small>	74.1%	69.6%	70.4%	85.6%	84.3%	83.4%	77.8%
2	(再掲)救命救急入院料※2・3倍 <small>前年同月比</small>	7.1%	7.3%	1.4%	3.1%	7.7%	6.7%	5.6%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 <small>前年同月比</small>	14.6%	10.1%	1.8%	5.9%	9.9%	9.0%	8.6%
-	参考 (NDB算定回数) <small>前年同月比</small>	105.0%	85.0%	79.0%	76.0%	-	-	86.3%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



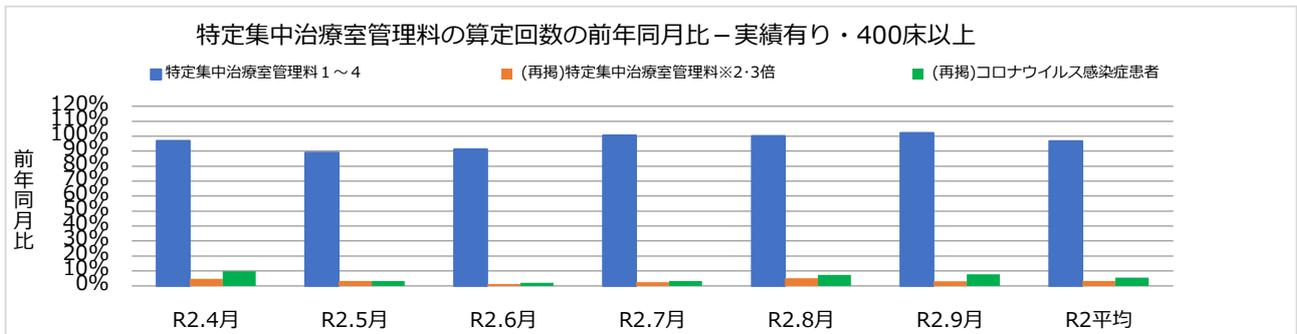
7. 入院関係の算定状況

(2) 特定集中治療室管理料の算定回数の変化

■実績有り・400床以上

No.	診療行為	特定集中治療室管理料の算定回数の前年同月比－実績有り・400床以上						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	特定集中治療室管理料1～4 <small>前年同月比</small>	97.0%	89.1%	91.3%	100.6%	100.2%	102.2%	96.8%
2	(再掲)特定集中治療室管理料×2・3倍 <small>前年同月比</small>	4.7%	3.3%	1.2%	2.6%	5.1%	3.2%	3.3%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 <small>前年同月比</small>	9.9%	3.4%	2.0%	3.4%	7.3%	7.8%	5.6%
-	参考(NDB算定回数) <small>前年同月比</small>	128.0%	104.0%	90.0%	82.0%	-	-	101.0%

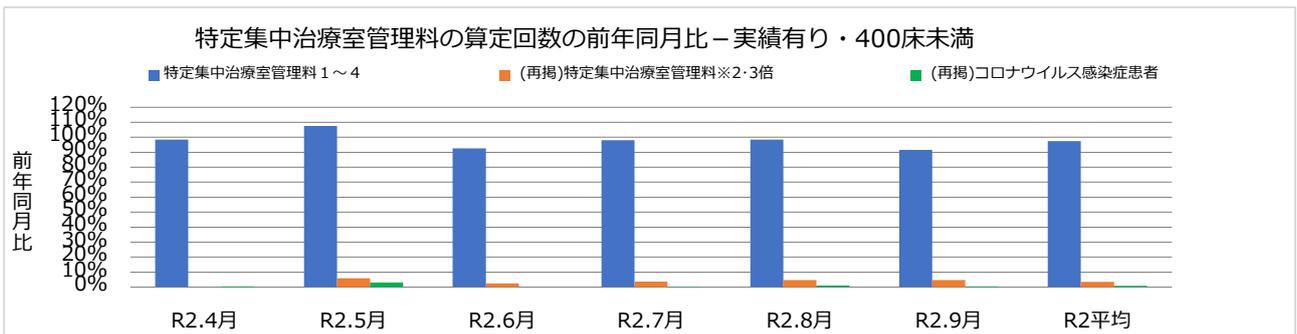
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満

No.	診療行為	特定集中治療室管理料の算定回数の前年同月比－実績有り・400床未満						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	特定集中治療室管理料1～4 <small>前年同月比</small>	98.4%	107.5%	92.6%	98.1%	98.5%	91.5%	97.5%
2	(再掲)特定集中治療室管理料×2・3倍 <small>前年同月比</small>	-	5.9%	2.4%	3.7%	4.6%	4.6%	3.5%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 <small>前年同月比</small>	0.4%	3.1%	-	0.1%	1.0%	0.4%	0.8%
-	参考(NDB算定回数) <small>前年同月比</small>	128.0%	104.0%	90.0%	82.0%	-	-	101.0%

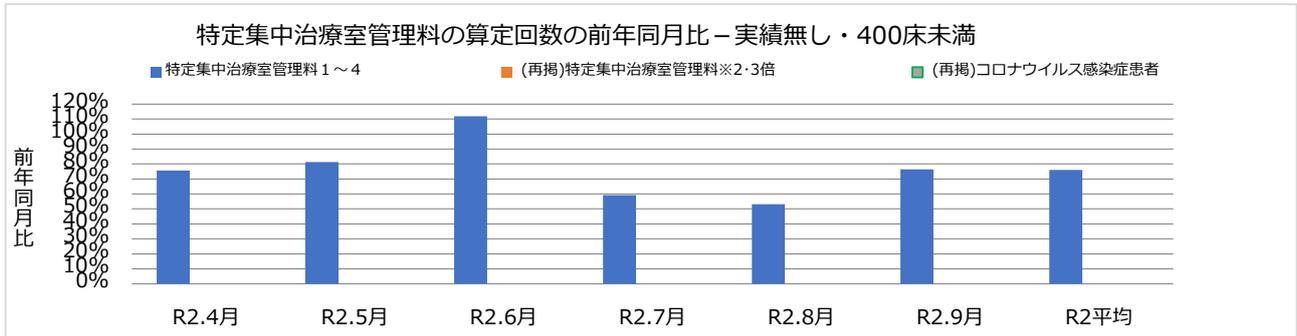
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満

No.	診療行為	特定集中治療室管理料の算定回数の前年同月比－実績無し・400床未満						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	特定集中治療室管理料 1～4 <small>前年同月比</small>	75.7%	81.2%	111.9%	59.2%	53.1%	76.5%	75.9%
2	(再掲)特定集中治療室管理料×2・3倍 <small>前年同月比</small>	-	-	-	-	-	-	-
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 <small>前年同月比</small>	-	-	-	-	-	-	-
-	参考 (NDB算定回数) <small>前年同月比</small>	128.0%	104.0%	90.0%	82.0%	-	-	101.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



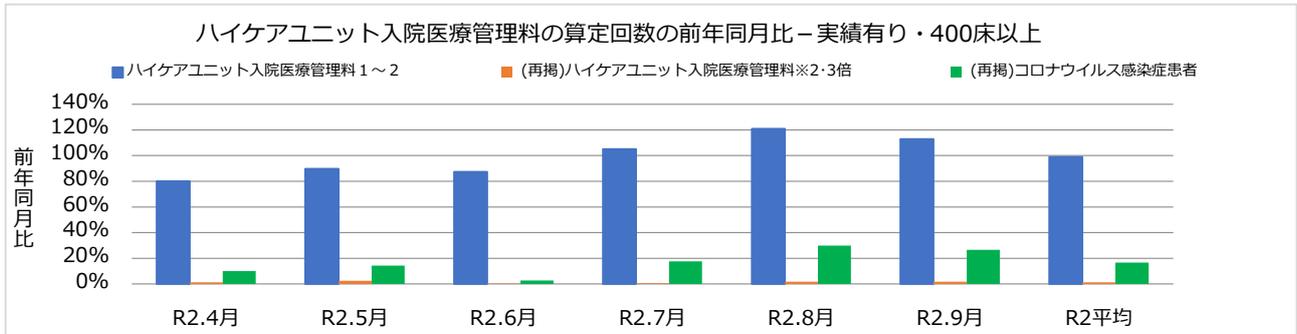
7. 入院関係の算定状況

(3) ハイケアユニット入院医療管理料の算定回数の変化

■実績有り・400床以上

No.	診療行為	ハイケアユニット入院医療管理料の算定回数の前年同月比－実績有り・400床以上						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	ハイケアユニット入院医療管理料 1～2 前年同月比	79.9%	89.6%	87.3%	105.0%	121.0%	113.0%	98.9%
2	(再掲)ハイケアユニット入院医療管理料※2・3倍 前年同月比	1.3%	2.4%	0.4%	0.6%	1.8%	1.8%	1.4%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 前年同月比	10.0%	14.3%	2.8%	17.6%	29.9%	26.5%	16.7%
-	参考 (NDB算定回数) 前年同月比	180.0%	179.0%	106.0%	115.0%	-	-	145.0%

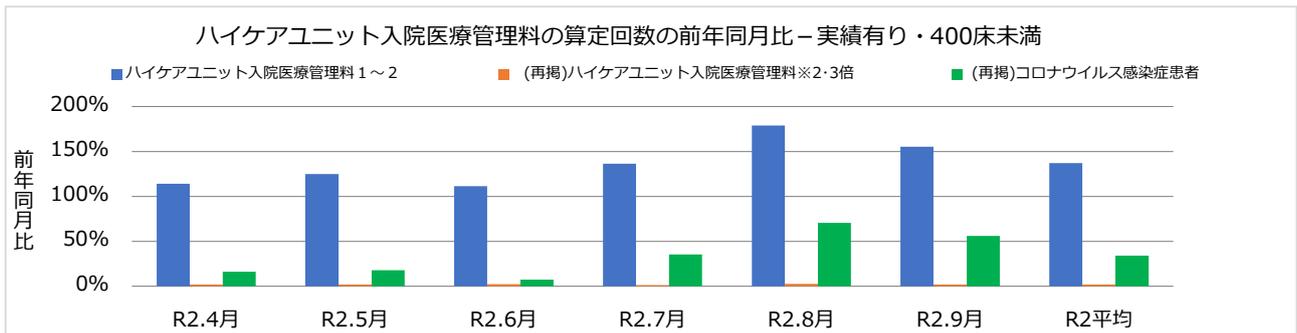
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満

No.	診療行為	ハイケアユニット入院医療管理料の算定回数の前年同月比－実績有り・400床未満						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	ハイケアユニット入院医療管理料 1～2 前年同月比	114.2%	124.7%	111.5%	136.4%	178.7%	155.3%	137.0%
2	(再掲)ハイケアユニット入院医療管理料※2・3倍 前年同月比	2.0%	1.8%	2.3%	1.2%	2.7%	1.9%	2.0%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 前年同月比	16.2%	17.7%	7.3%	35.3%	70.6%	55.9%	33.9%
-	参考 (NDB算定回数) 前年同月比	180.0%	179.0%	106.0%	115.0%	-	-	145.0%

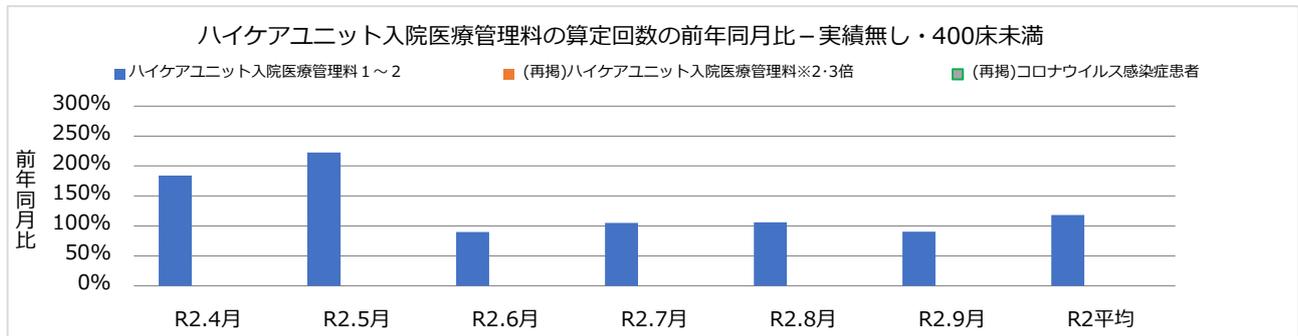
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満

No.	診療行為	ハイケアユニット入院医療管理料の算定回数の前年同月比－実績無し・400床未満						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	ハイケアユニット入院医療管理料 1～2 前年同月比	183.8%	222.7%	90.0%	104.9%	105.9%	90.2%	118.3%
2	(再掲)ハイケアユニット入院医療管理料※2・3倍 前年同月比	-	-	-	-	-	-	-
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 前年同月比	-	-	-	-	-	-	-
-	参考 (NDB算定回数) 前年同月比	180.0%	179.0%	106.0%	115.0%	-	-	145.0%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。該当割合は、当該入院料の算定回数に占めるそれぞれの算定回数の割合を示すもの。



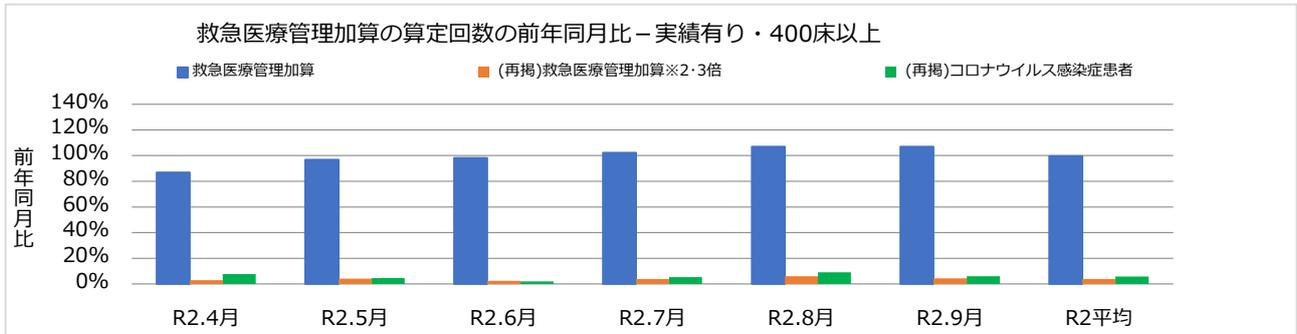
7. 入院関係の算定状況

(4) 救急医療管理加算の算定回数の変化

■実績有り・400床以上

No.	診療行為	救急医療管理加算の算定回数の前年同月比－実績有り・400床以上						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	救急医療管理加算 前年同月比	87.0%	96.9%	98.2%	102.1%	106.9%	106.8%	99.6%
2	(再掲)救急医療管理加算※2・3倍 前年同月比	3.0%	4.2%	2.6%	3.8%	6.1%	4.3%	4.0%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 前年同月比	7.7%	4.5%	1.9%	5.4%	9.1%	6.0%	5.8%
-	参考 (NDB算定回数) 前年同月比	80.0%	85.0%	90.0%	86.0%	-	-	85.3%

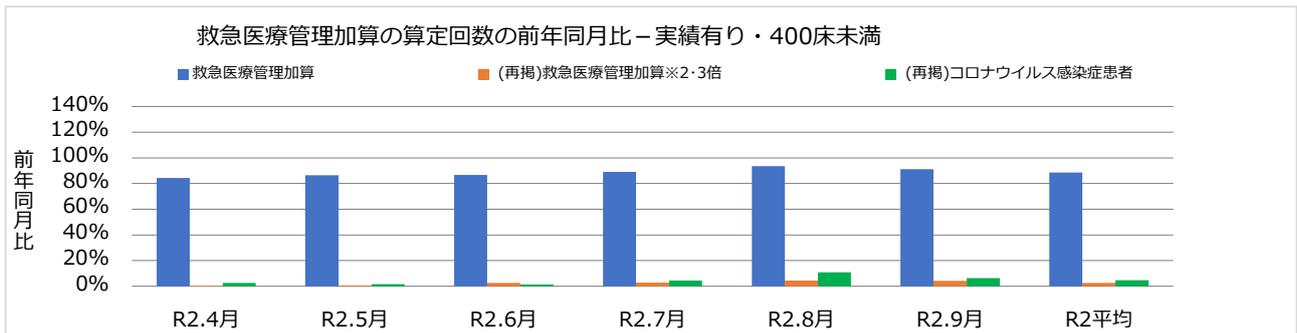
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績有り・400床未満

No.	診療行為	救急医療管理加算の算定回数の前年同月比－実績有り・400床未満						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	救急医療管理加算 前年同月比	84.4%	86.5%	86.8%	89.0%	93.5%	91.1%	88.6%
2	(再掲)救急医療管理加算※2・3倍 前年同月比	0.5%	0.7%	2.6%	2.8%	4.5%	4.3%	2.6%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 前年同月比	2.5%	1.7%	1.3%	4.5%	10.8%	6.3%	4.6%
-	参考 (NDB算定回数) 前年同月比	80.0%	85.0%	90.0%	86.0%	-	-	85.3%

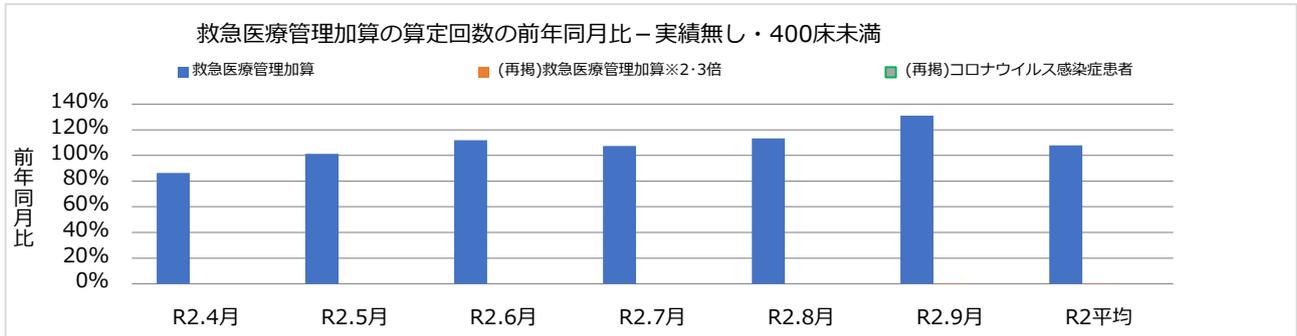
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



■実績無し・400床未満

No.	診療行為	救急医療管理加算の算定回数の前年同月比－実績無し・400床未満						
		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	救急医療管理加算 <small>前年同月比</small>	86.3%	101.3%	111.9%	107.4%	113.2%	130.9%	107.7%
2	(再掲)救急医療管理加算※2・3倍 <small>前年同月比</small>	-	-	-	-	-	0.2%	0.0%
3	(再掲)コロナウイルス感染症患者 <small>前年同月比</small>	-	-	-	-	-	-	-
-	参考 (NDB算定回数) <small>前年同月比</small>	80.0%	85.0%	90.0%	86.0%	-	-	85.3%

※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。



8. 入院期間別診療行為の推移状況（新型コロナウイルス感染症患者）

■入院期間別診療行為別点数推移（点/人） 主傷病等でCOVID-19と診断された患者（疑い含む） 実績有り・400床以上

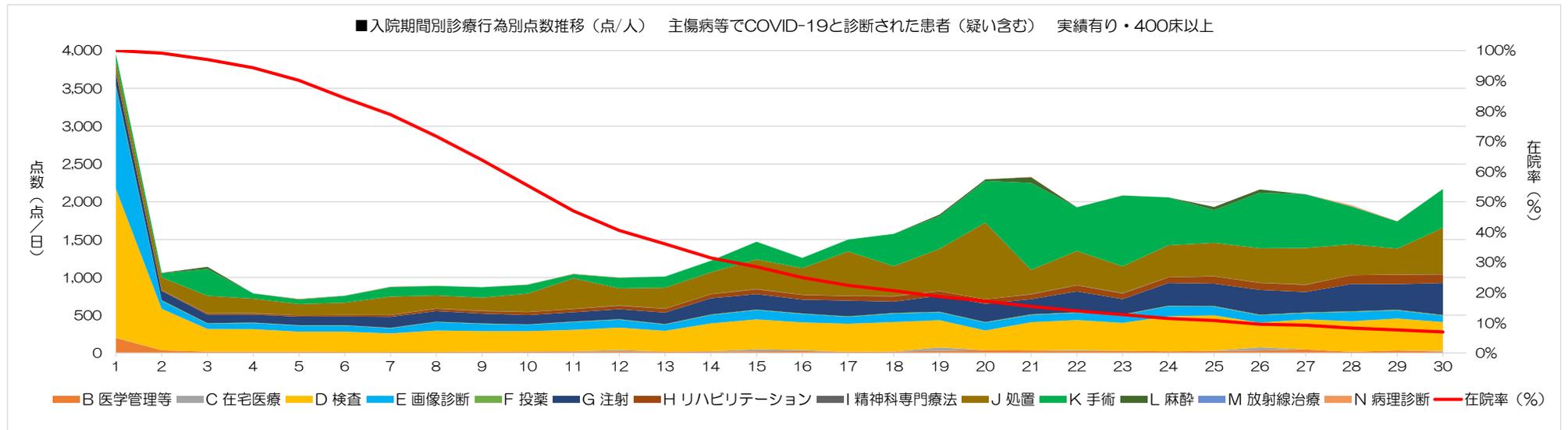
診療行為区分	点数（点/人）																													
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
A 入院料等	10,036	7,365	7,354	7,232	7,261	7,306	7,339	7,016	7,149	7,292	7,443	7,605	7,532	7,565	5,034	5,156	5,191	5,339	5,501	5,334	5,483	4,090	4,102	3,999	3,924	3,971	4,058	4,165	4,195	3,990
B 医学管理等	199	35	19	18	18	13	13	13	17	20	21	22	19	21	22	25	16	19	30	37	33	26	30	23	27	33	46	17	34	18
C 在宅医療	3	-	-	0	-	-	-	-	1	1	3	5	19	-	4	26	16	-	1	45	-	12	-	-	1	42	2	-	-	11
D 検査	1,968	549	300	297	265	271	246	285	271	267	282	295	274	367	397	364	371	390	359	260	375	399	369	463	470	325	396	404	422	381
E 画像診断	1,349	106	70	80	79	79	68	109	95	83	102	104	83	112	121	111	92	113	105	105	95	95	105	132	116	99	84	123	108	83
F 投薬	23	9	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	9
G 注射	166	121	112	106	112	115	146	140	129	121	123	132	152	214	205	183	207	149	211	241	202	277	202	301	296	327	268	361	339	423
H リハビリテーション	1	8	15	16	17	19	22	31	35	41	42	48	48	53	63	62	60	70	59	59	63	79	74	73	96	92	94	115	126	113
I 精神科専門療法	3	4	2	3	1	2	2	2	4	2	3	2	3	3	2	1	4	3	2	5	4	7	2	3	1	5	1	1	4	
J 処置	138	166	233	191	148	162	242	174	173	244	405	225	277	285	393	352	588	396	559	1,014	320	451	353	423	441	457	486	409	342	613
K 手術	98	56	354	69	64	91	124	127	139	118	56	140	149	153	232	135	159	429	433	552	1,151	579	937	634	431	738	710	500	361	515
L 麻酔	5	6	27	0	0	0	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	19	75	-	-	-	42	41	-	-	-	
M 放射線治療	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	1	-	1	1	1	-
N 病理診断	2	1	1	1	5	2	1	0	-	0	4	2	-	-	0	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	16	1	-
計	13,992	8,426	8,494	8,020	7,978	8,065	8,216	7,905	8,020	8,197	8,491	8,601	8,544	8,784	6,505	6,414	6,692	6,916	7,332	7,630	7,812	6,017	6,188	6,057	5,856	6,134	6,158	6,119	5,938	6,160
入院患者数	1,939	1,922	1,881	1,828	1,748	1,634	1,529	1,390	1,237	1,073	911	785	699	610	552	483	434	399	362	332	299	270	246	221	208	185	178	160	148	135
入院率 (%)	100%	99%	97%	94%	90%	84%	79%	72%	64%	55%	47%	40%	36%	31%	28%	25%	22%	21%	19%	17%	15%	14%	13%	11%	11%	10%	9%	8%	8%	7%

※ 主傷病、医療資源1、医療資源2のいずれかの診断において、「8850104」(COVID-19)又は「8833876」(コロナウイルス感染症)の傷病コードがある患者（疑い含む）。

■入院期間別処置・手術の主な診療行為実施率 (%) 主傷病等でCOVID-19と診断された患者（疑い含む） 実績有り・400床以上

診療行為	実施率 (%)																													
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
ドレーン法 (ドレナージ) (J002)	1.3%	4.2%	4.9%	5.0%	5.0%	5.3%	5.4%	5.4%	5.8%	6.2%	7.4%	7.6%	8.3%	8.4%	7.2%	7.7%	8.3%	8.0%	7.7%	9.0%	9.4%	10.7%	10.2%	10.4%	12.0%	11.4%	11.8%	11.9%	10.8%	11.9%
喀痰吸引(J018)	2.6%	2.9%	2.9%	2.8%	2.8%	3.6%	3.9%	4.0%	4.5%	5.0%	6.1%	6.9%	7.2%	8.4%	8.5%	9.7%	9.4%	11.0%	11.0%	11.7%	10.4%	11.9%	14.2%	13.6%	13.9%	12.4%	11.8%	13.1%	16.2%	17.0%
酸素吸入(J024)	12.6%	13.9%	14.4%	14.4%	14.1%	14.3%	14.1%	14.0%	13.6%	13.1%	14.1%	14.0%	13.9%	14.6%	13.6%	14.5%	15.2%	15.3%	15.2%	13.9%	13.7%	15.2%	15.9%	15.4%	15.4%	15.1%	15.2%	15.6%	15.5%	20.0%
持続緩徐式血液濾過(J038-2)	0.1%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.7%	0.7%	0.7%	0.9%	1.1%	1.5%	1.7%	2.0%	2.7%	2.5%	2.5%	2.8%	2.8%	2.7%	3.0%	3.3%	3.7%	4.5%	4.3%	4.9%	6.2%	5.0%	3.4%	3.0%
人工呼吸 (5時間超等) (J045)	5.2%	6.6%	7.1%	7.8%	7.8%	7.4%	7.5%	7.7%	8.0%	8.4%	9.0%	9.7%	9.4%	9.7%	10.1%	10.1%	9.9%	9.3%	9.9%	10.2%	11.4%	11.5%	11.4%	11.8%	12.5%	12.4%	13.5%	13.8%	12.2%	12.6%
鼻腔栄養(J120)	1.0%	4.5%	5.6%	6.6%	7.0%	7.6%	7.6%	7.6%	8.2%	8.9%	10.6%	10.6%	11.6%	11.6%	12.1%	13.3%	14.3%	14.0%	14.4%	13.3%	14.0%	14.1%	13.4%	15.8%	14.9%	16.2%	15.2%	16.3%	16.2%	17.8%
経皮的肺補助法(初日,2日目を除く)(K602)	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	0.9%	1.1%	1.3%	1.4%	1.5%	1.6%	1.7%	1.8%	2.3%	2.2%	2.4%	3.0%	3.0%	3.7%	3.6%	3.8%	3.2%	2.8%	2.5%	2.7%	2.2%
輸血(K920)	0.9%	0.7%	0.5%	0.4%	0.6%	0.6%	0.3%	0.7%	0.5%	0.9%	0.5%	1.7%	2.0%	1.1%	2.4%	1.4%	1.6%	3.5%	3.6%	4.5%	6.0%	4.8%	5.3%	4.1%	4.3%	3.8%	5.6%	9.4%	5.4%	3.7%

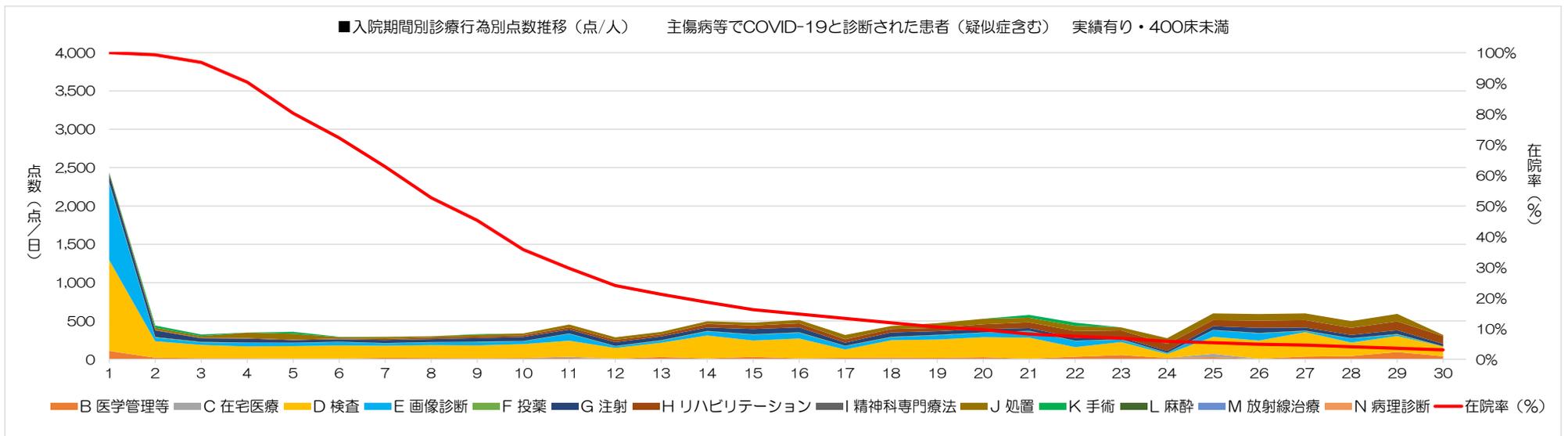
※ 主な診療行為の回数を入院患者数で除した数値 (回/人) を実施率 (%) とした。



■入院期間別診療行為別点数推移 (点/人) 主傷病等でCOVID-19と診断された患者(疑似症含む) 実績有り・400床未満

診療行為区分	点数 (点/人)																															
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
A 入院料等	7,615	5,625	5,558	5,413	5,249	5,148	5,207	5,268	5,172	5,153	5,105	4,883	4,888	4,887	3,796	3,711	3,689	3,716	3,697	3,703	3,705	3,255	3,071	3,224	3,189	3,143	3,011	2,923	2,733	2,842		
B 医学管理等	108	19	13	14	8	8	17	15	13	16	18	7	27	11	30	11	17	22	17	26	6	33	54	17	27	7	35	41	94	41		
C 在宅医療	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
D 検査	1,185	217	173	154	164	173	160	169	168	182	208	139	188	300	214	260	111	227	240	262	275	126	170	51	221	237	319	178	210	124		
E 画像診断	997	47	34	45	38	44	31	36	45	35	90	22	27	54	77	75	43	38	56	57	84	77	32	11	86	94	14	51	18	-		
F 投薬	16	9	6	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	5	6	6	5	6	6	5	7	6	5	5	5	5	6	6	8	4		
G 注射	101	86	47	51	34	30	38	37	46	53	50	48	49	45	68	65	39	57	46	44	36	36	22	23	47	66	40	42	49	30		
H リハビリテーション	-	7	7	10	9	11	14	18	18	20	28	30	27	44	45	52	43	44	44	62	73	89	92	93	80	95	96	92	116	103		
I 精神科専門療法	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	1	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J 処置	21	28	23	69	74	18	24	18	26	24	37	34	32	33	37	44	55	41	63	73	59	67	40	75	88	86	89	88	98	15		
K 手術	7	28	20	-	24	5	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	43	-	-	-	-	-	-	-	-		
L 麻酔	1	-	1	-	1	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M 放射線治療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N 病理診断	1	0	0	-	-	0	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	10,054	6,065	5,882	5,760	5,607	5,442	5,504	5,566	5,499	5,490	5,558	5,169	5,244	5,381	4,273	4,224	4,007	4,151	4,168	4,232	4,283	3,733	3,486	3,499	3,787	3,732	3,610	3,422	3,325	3,159		
入院患者数	978	971	947	884	785	706	614	515	443	350	290	235	207	182	158	144	130	116	103	94	80	73	67	57	53	48	45	40	35	30		
在院率 (%)	100%	99%	97%	90%	80%	72%	63%	53%	45%	36%	30%	24%	21%	19%	16%	15%	13%	12%	11%	10%	8%	7%	7%	6%	5%	5%	5%	4%	4%	3%		

※主傷病、医療資源1、医療資源2のいずれかの診断において、“8850104”(COVID-19)又は“8833876”(コロナウイルス感染症)の傷病コードがある患者(疑似含む)。



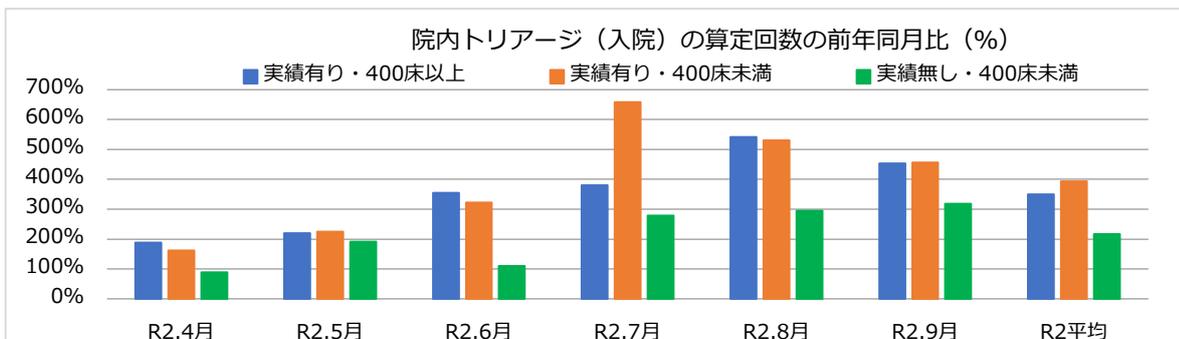
9. 外来関係の算定状況

(1) 院内トリアージの算定回数の変化

■院内トリアージ（入院）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	院内トリアージ（入院）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	38	188%	220%	354%	380%	542%	453%	350%
2	実績有り	400床未満	31	162%	225%	322%	658%	530%	456%	393%
3	実績無し	400床未満	13	88%	191%	110%	279%	295%	319%	216%
-	参考（NDB算定回数）			215%	194%	300%	453%	-	-	291%

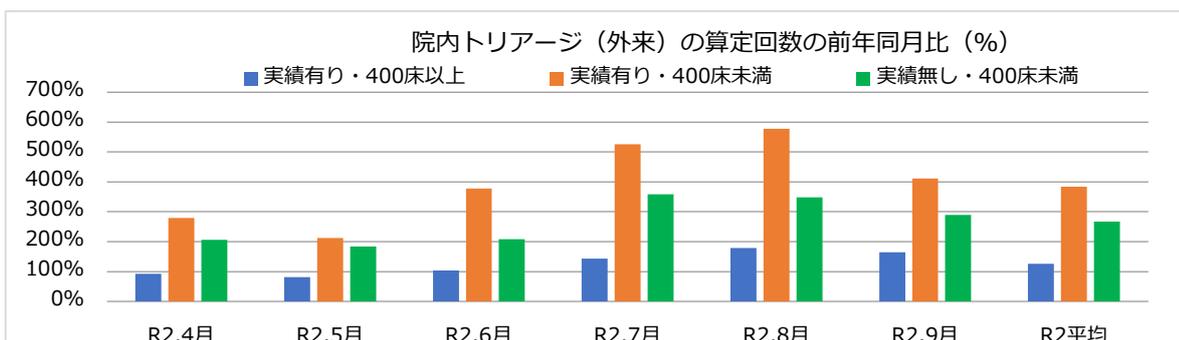
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。院内トリアージ実施料のうち、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い」の診療行為は、当該期間中に算定されていない。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所を含めたもの。



■院内トリアージ（外来）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	院内トリアージ（外来）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	92%	81%	104%	143%	178%	164%	126%
2	実績有り	400床未満	24	280%	213%	377%	526%	578%	411%	384%
3	実績無し	400床未満	11	206%	184%	208%	358%	348%	289%	267%
-	参考（NDB算定回数）			215%	194%	300%	453%	-	-	291%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。院内トリアージ実施料のうち、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い」の診療行為は、当該期間中に算定されていない。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所を含めたもの。

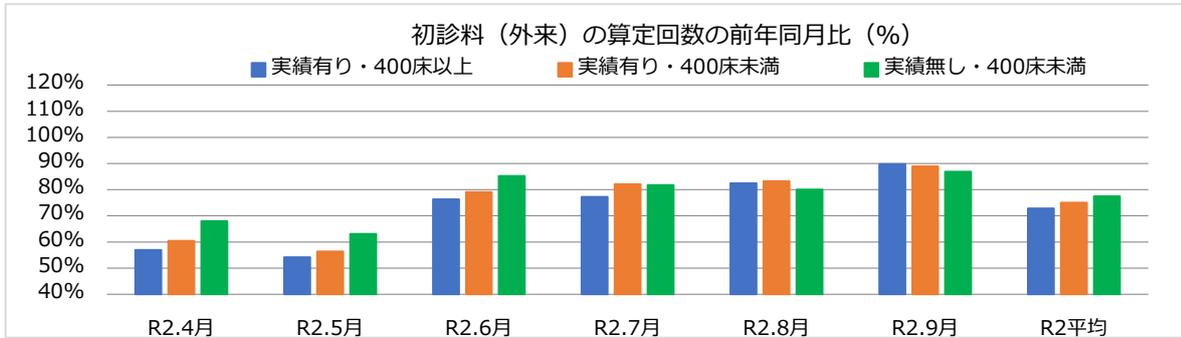


(2) 初診料（外来）の算定回数の変化

■初診料（外来）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	初診料（外来）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	56.9%	54.2%	76.3%	77.2%	82.4%	89.7%	72.8%
2	実績有り	400床未満	24	60.4%	56.3%	79.1%	82.1%	83.3%	88.9%	75.0%
3	実績無し	400床未満	11	67.9%	63.1%	85.2%	81.8%	80.0%	86.8%	77.5%
-	参考（NDB算定回数）			58.0%	59.0%	79.0%	78.0%	-	-	68.5%

※ DPCデータの外来統合ファイルデータより算出。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所を含めたもの。

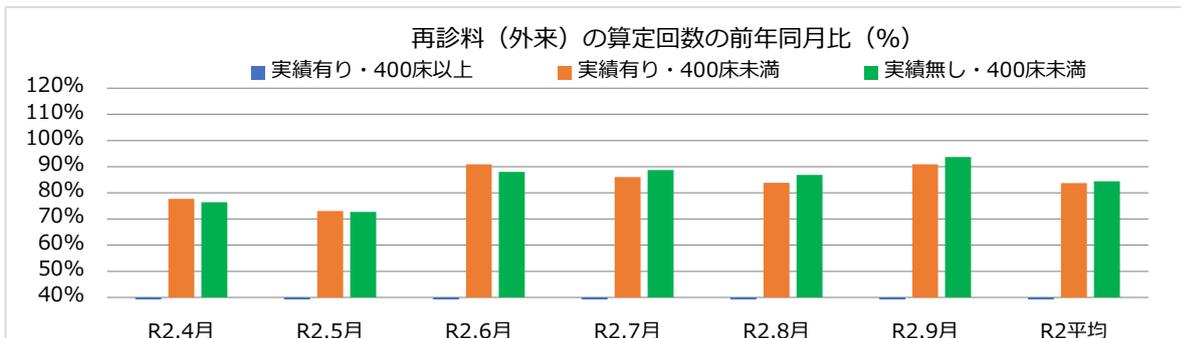


(3) 再診料（外来）の算定回数の変化

■再診料（外来）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	再診料（外来）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	-	-	-	-	-	-	-
2	実績有り	400床未満	24	77.6%	73.0%	90.9%	86.0%	83.8%	90.9%	83.7%
3	実績無し	400床未満	11	76.4%	72.7%	88.0%	88.7%	86.8%	93.7%	84.4%
-	参考（NDB算定回数）			82.0%	82.0%	92.0%	89.0%	-	-	86.3%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所を含めたもの。

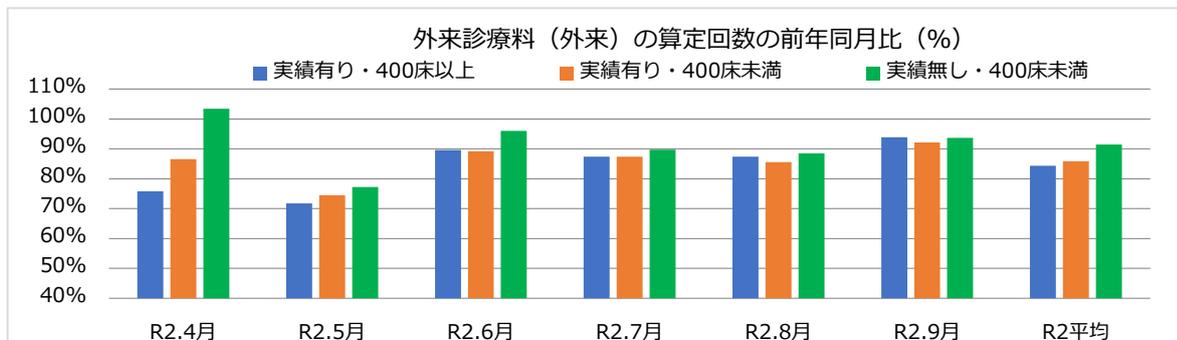


(4) 外来診療料（外来）の算定回数の変化

■ 外来診療料（外来）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	外来診療料（外来）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	75.8%	71.7%	89.6%	87.4%	87.4%	93.8%	84.4%
2	実績有り	400床未満	24	86.6%	74.5%	89.2%	87.4%	85.5%	92.1%	85.9%
3	実績無し	400床未満	11	103.4%	77.3%	96.0%	89.7%	88.5%	93.7%	91.4%
-	参考（NDB算定回数）			82.0%	75.0%	92.0%	88.0%	-	-	84.3%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所を含めたもの。



9. 外来関係の算定状況

(5) 電話等初診料（外来）の算定回数

■電話等初診料（外来）の算定回数

No.	医療機関分類条件		年	電話等初診料（外来）の算定回数（回/施設）						
	コロナ対応実績	病床規模		4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均
1	実績有り	400床以上	R2	0.2	0.1	-	-	-	0.0	0.1
2	実績有り	400床未満	R2	-	0.1	-	-	-	-	0.0
3	実績無し	400床未満	R2	-	-	-	-	-	-	-
-	参考（NDB算定回数）		R2	25,636	29,761	15,939	21,932	-	-	23,317

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出（1施設あたり算定回数）。参考（NDB算定回数）は、病院及び診療所の外来の算定回数（全回数）。

(6) 電話等再診料（外来）の算定回数

■電話等再診料（外来）の算定回数

No.	医療機関分類条件		年	電話等再診料（外来）の算定回数（回/施設）						
	コロナ対応実績	病床規模		4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均
1	実績有り	400床以上	R1	-	-	-	-	-	-	-
			R2	30.9	13.7	5.1	4.2	3.4	2.3	10.0
2	実績有り	400床未満	R1	-	0.0	0.1	-	-	-	0.0
			R2	89.2	56.3	17.7	14.4	16.0	9.1	33.8
3	実績無し	400床未満	R1	-	-	0.1	-	-	-	0.0
			R2	45.2	35.6	13.8	16.3	14.8	10.5	22.7
-	参考（NDB算定回数）		R1	175,687	165,170	173,008	184,138	-	-	116,334
			R2	1,149,882	939,328	547,260	514,102	-	-	787,643

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出（1施設あたり算定回数）。参考（NDB算定回数）は、病院及び診療所の外来の算定回数（全回数）。

(7) オンライン診療料（外来）の算定回数

■オンライン診療料（外来）の算定回数

No.	医療機関分類条件		年	オンライン診療料（外来）の算定回数（回/施設）						
	コロナ対応実績	病床規模		4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均
1	実績有り	400床以上	R1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1
			R2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.3	0.3	0.2
2	実績有り	400床未満	R1	-	-	-	-	-	-	-
			R2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5	0.3
3	実績無し	400床未満	R1	-	-	-	-	-	-	-
			R2	-	-	-	-	-	-	-
-	参考（NDB算定回数）		R1	131	137	144	141	-	-	92
			R2	1,385	1,281	760	721	-	-	1,037

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出（1施設あたり算定回数）。参考（NDB算定回数）は、病院及び診療所の外来の算定回数（全回数）。

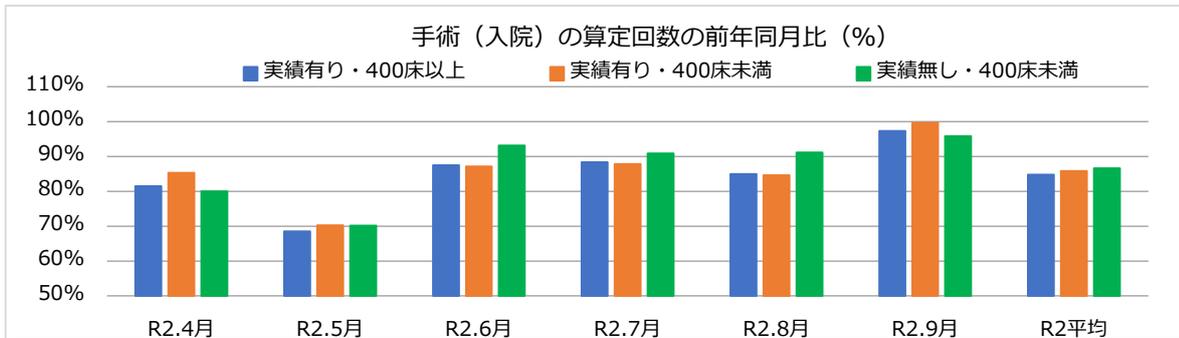
10. 手術・検査等の算定状況

(1) 手術の算定回数の変化

■手術（入院）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	手術（入院）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	38	81.5%	68.5%	87.5%	88.3%	84.9%	97.3%	84.8%
2	実績有り	400床未満	31	85.3%	70.2%	87.1%	87.8%	84.6%	99.6%	85.8%
3	実績無し	400床未満	13	80.0%	70.2%	93.1%	90.8%	91.1%	95.8%	86.6%
-	参考（NDB算定回数）			86.0%	79.0%	95.0%	90.0%	-	-	87.5%

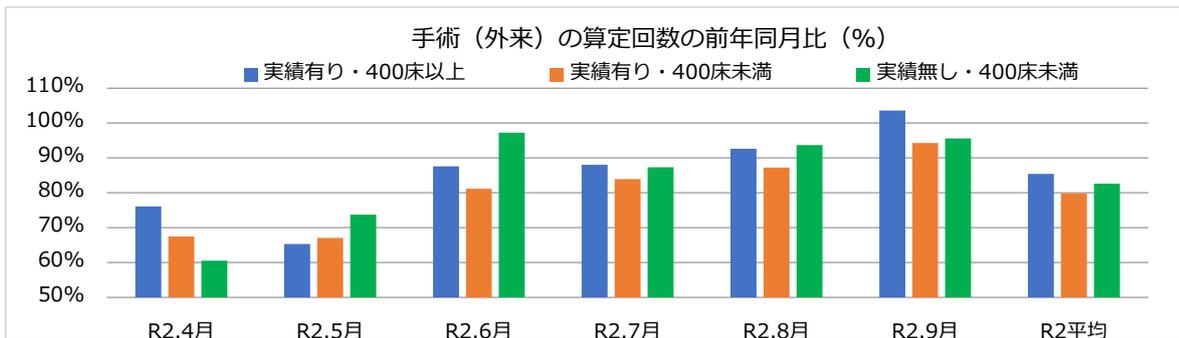
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。手術に係る診療行為のうち、臓器提供管理料、輸血料、薬剤料、特定保健医療材料、及び時間外等の加算や減算を除いた診療行為の算定回数。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所の入院及び外来の算定回数を合わせた数値。



■手術（外来）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	手術（外来）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	76.1%	65.3%	87.6%	88.0%	92.6%	103.6%	85.4%
2	実績有り	400床未満	24	67.5%	67.0%	81.2%	83.9%	87.2%	94.2%	79.8%
3	実績無し	400床未満	11	60.5%	73.7%	97.2%	87.3%	93.7%	95.6%	82.6%
-	参考（NDB算定回数）			86.0%	79.0%	95.0%	90.0%	-	-	87.5%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。手術に係る診療行為のうち、臓器提供管理料、輸血料、薬剤料、特定保健医療材料、及び時間外等の加算や減算を除いた診療行為の算定回数。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所の入院及び外来の算定回数を合わせた数値。

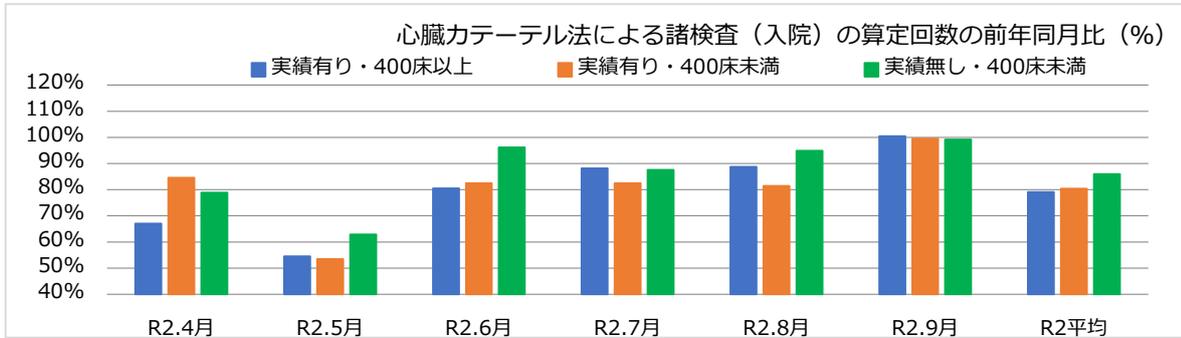


(2) カテーテル検査の算定回数の変化

■心臓カテーテル法による諸検査（入院）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	心臓カテーテル法による諸検査（入院）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	38	67.0%	54.5%	80.5%	88.1%	88.7%	100.5%	79.1%
2	実績有り	400床未満	31	84.5%	53.5%	82.5%	82.5%	81.4%	99.4%	80.4%
3	実績無し	400床未満	13	78.8%	62.9%	96.2%	87.5%	94.8%	99.1%	85.9%
-	参考（NDB算定回数）			68.0%	58.0%	84.0%	83.0%	-	-	73.3%

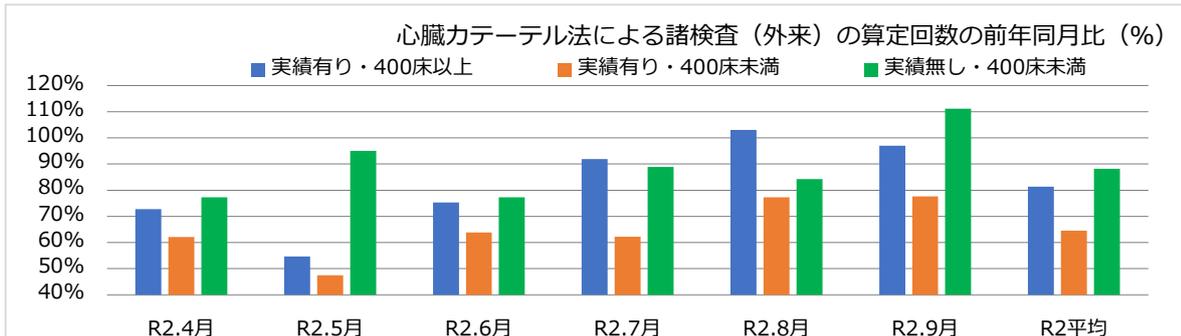
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査）の診療行為のうち、加算や減算を除いた診療行為の算定回数。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所の入院及び外来の算定回数を合わせた数値。



■心臓カテーテル法による諸検査（外来）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	心臓カテーテル法による諸検査（外来）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	72.7%	54.6%	75.4%	91.9%	103.0%	97.0%	81.4%
2	実績有り	400床未満	24	62.1%	47.5%	63.8%	62.2%	77.3%	77.6%	64.5%
3	実績無し	400床未満	11	77.3%	95.0%	77.3%	88.9%	84.2%	111.1%	88.2%
-	参考（NDB算定回数）			68.0%	58.0%	84.0%	83.0%	-	-	73.3%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査）の診療行為のうち、加算や減算を除いた診療行為の算定回数。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所の入院及び外来の算定回数を合わせた数値。

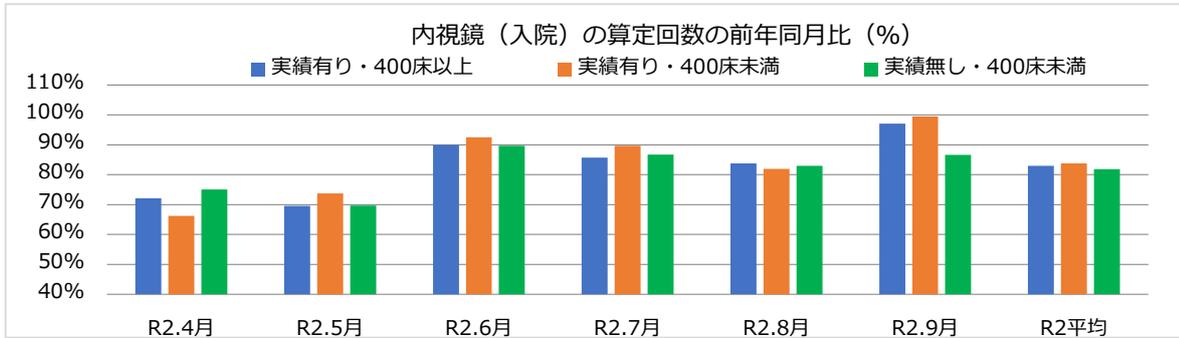


(3) 内視鏡検査の算定回数の変化

■内視鏡（入院）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	内視鏡（入院）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	38	72.1%	69.5%	90.0%	85.7%	83.7%	97.1%	83.0%
2	実績有り	400床未満	31	66.3%	73.8%	92.5%	89.7%	81.9%	99.5%	83.8%
3	実績無し	400床未満	13	75.0%	69.7%	89.7%	86.7%	82.9%	86.6%	81.8%
-	参考（NDB算定回数）			62.0%	60.0%	83.0%	83.0%	-	-	72.0%

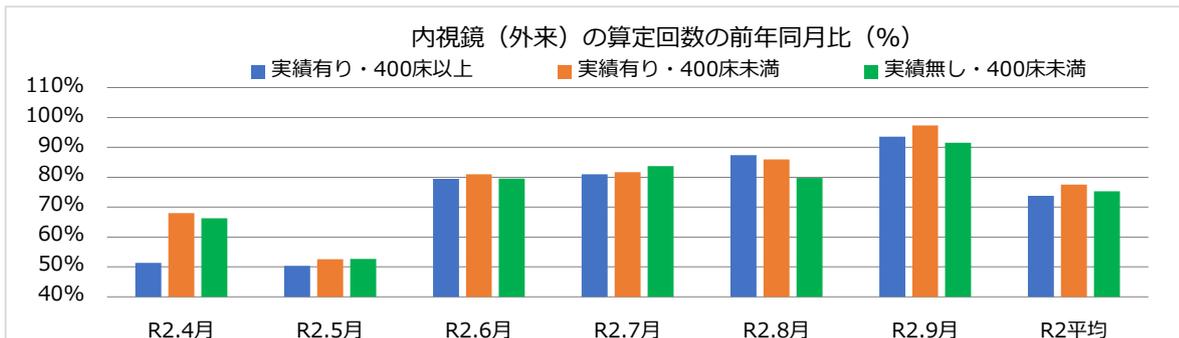
※ DPCデータの入院EF統合ファイルデータより算出。内視鏡検査に係る診療行為のうち、加算や減算を除いた診療行為の算定回数。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所の入院及び外来の算定回数を合わせた数値。



■内視鏡（外来）の算定回数の変化

No.	医療機関分類条件		施設数	内視鏡（外来）の算定回数の前年同月比（%）						
	コロナ対応実績	病床規模		R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2平均
1	実績有り	400床以上	36	51.3%	50.3%	79.5%	80.9%	87.4%	93.6%	73.8%
2	実績有り	400床未満	24	68.0%	52.6%	81.0%	81.7%	85.9%	97.4%	77.5%
3	実績無し	400床未満	11	66.3%	52.7%	79.6%	83.8%	79.7%	91.6%	75.3%
-	参考（NDB算定回数）			62.0%	60.0%	83.0%	83.0%	-	-	72.0%

※ DPCデータの外来EF統合ファイルデータより算出。内視鏡検査に係る診療行為のうち、加算や減算を除いた診療行為の算定回数。参考（NDB算定回数）は、病院・診療所の入院及び外来の算定回数を合わせた数値。



11. 社会医療診療行為別統計データとの比較

(1) 入院及び外来における1件あたり点数

■病床規模別の1件あたり点数（入院）

No.	病床規模	1件あたり点数		
		社会医療診療 行為別統計 a	本研究データ b	比 a/b
1	100床～399床	55,712	54,640	1.020
2	400床以上	62,805	60,256	1.042

※ 社会医療診療行為別統計は令和元年6月審査月データ（病院・入院）、本研究データはDPCデータの令和元年5月診療月データより算出したもの。食事療養費等を除いた数値。

■病床規模別の1件あたり点数（外来）

No.	病床規模	1件あたり点数		
		社会医療診療 行為別統計 a	本研究データ b	比 a/b
1	100床～399床	2,226	2,325	0.957
2	400床以上	3,125	3,276	0.954

※ 社会医療診療行為別統計は令和元年6月審査月データ（病院・外来）、本研究データはDPCデータの令和元年5月診療月データより算出した。

(2) 年齢階級別件数構成比

■年齢階級別の件数構成比（入院）

No.	年齢階級	年齢階級別件数構成比				
		社会医療診療 行為別統計 a	本研究データ			
			400床以上 b	差 a - b	400床未満 c	差 a - c
—	総数	100%	100%	0%	100%	0%
1	00-19歳	5%	7%	-2%	3%	2%
2	20-39歳	8%	9%	-1%	6%	1%
3	40-64歳	18%	24%	-6%	19%	-1%
4	65-74歳	19%	24%	-4%	22%	-2%
5	75-84歳	26%	25%	1%	28%	-2%
6	85歳-	23%	12%	12%	22%	1%

※ 社会医療診療行為別統計は令和元年6月審査月データ（病院・入院）、本研究データのDPCデータは令和元年5月診療月データより算出した。

■年齢階級別の件数構成比（外来）

No.	年齢階級	年齢階級別件数構成比				
		社会医療診療 行為別統計 a	本研究データ			
			400床以上 b	差 a - b	400床未満 c	差 a - c
—	総数	100%	100%	0%	100%	0%
1	00-19歳	15%	6%	8%	6%	8%
2	20-39歳	12%	10%	2%	7%	4%
3	40-64歳	27%	32%	-5%	28%	-1%
4	65-74歳	19%	24%	-5%	25%	-6%
5	75-84歳	19%	21%	-2%	24%	-5%
6	85歳-	8%	6%	2%	9%	-1%

※ 社会医療診療行為別統計は令和元年6月審査月データ（病院・外来）、本研究データのDPCデータは令和元年5月診療月データより算出した。

(3) 傷病大分類別件数構成比

■ 傷病大分類別の件数構成比 (入院)

No.	傷病大分類	傷病大分類別件数構成比				
		社会医療診療 行為別統計 a	本研究データ			
			400床以上 b	差 a - b	400床未満 c	差 a - c
—	総数	100%	100%	0%	100%	0%
1	感染症及び寄生虫症 (A00 - B99)	2%	2%	0%	3%	-1%
2	新生物<腫瘍> (C00 - D48)	13%	26%	-13%	18%	-5%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50 - D89)	1%	1%	0%	1%	0%
4	内分泌, 栄養及び代謝疾患 (E00 - E90)	3%	3%	0%	2%	1%
5	精神及び行動の障害 (F00 - F99)	9%	1%	9%	1%	9%
6	神経系の疾患 (G00 - G99)	6%	3%	3%	3%	3%
7	眼及び付属器の疾患 (H00 - H59)	3%	4%	-1%	2%	0%
8	耳及び乳様突起の疾患 (H60 - H95)	1%	1%	0%	1%	0%
9	循環器系の疾患 (I00 - I99)	15%	15%	1%	15%	0%
10	呼吸器系の疾患 (J00 - J99)	9%	8%	1%	12%	-3%
11	消化器系の疾患 (K00 - K93)	9%	10%	-1%	12%	-3%
12	皮膚及び皮下組織の疾患 (L00 - L99)	2%	1%	0%	1%	1%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00 - M99)	6%	6%	0%	8%	-3%
14	腎尿路生殖器系の疾患 (N00 - N99)	5%	5%	0%	6%	-1%
15	妊娠, 分娩及び産じょく<褥> (O00 - O99)	3%	3%	-1%	1%	1%
16	周産期に発生した病態 (P00 - P96)	1%	1%	-1%	0%	0%
17	先天奇形, 変形及び染色体異常 (Q00 - Q99)	0%	1%	-1%	1%	0%
18	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00 - R99)	2%	0%	1%	0%	1%
19	損傷, 中毒及びその他の外因の影響 (S00 - T98)	10%	8%	1%	13%	-3%
20	その他	1%	1%	1%	0%	1%

※ 社会医療診療行為別統計は令和元年6月審査月データ(病院・入院)、本研究データのDPCデータは令和元年5月診療月データより算出した。

■ 傷病大分類別の件数構成比 (外来)

No.	傷病大分類	傷病大分類別件数構成比				
		社会医療診療 行為別統計 a	本研究データ			
			400床以上 b	差 a - b	400床未満 c	差 a - c
—	総数	100%	100%	0%	100%	0%
1	感染症及び寄生虫症 (A00 - B99)	4%	4%	0%	4%	0%
2	新生物<腫瘍> (C00 - D48)	4%	18%	-14%	11%	-7%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50 - D89)	1%	1%	-1%	1%	0%
4	内分泌, 栄養及び代謝疾患 (E00 - E90)	9%	9%	1%	11%	-2%
5	精神及び行動の障害 (F00 - F99)	4%	3%	1%	1%	3%
6	神経系の疾患 (G00 - G99)	3%	5%	-2%	3%	0%
7	眼及び付属器の疾患 (H00 - H59)	10%	5%	5%	4%	5%
8	耳及び乳様突起の疾患 (H60 - H95)	2%	2%	0%	1%	1%
9	循環器系の疾患 (I00 - I99)	14%	11%	4%	15%	-1%
10	呼吸器系の疾患 (J00 - J99)	14%	5%	9%	7%	7%
11	消化器系の疾患 (K00 - K93)	6%	7%	0%	7%	-1%
12	皮膚及び皮下組織の疾患 (L00 - L99)	8%	4%	4%	3%	5%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00 - M99)	10%	10%	0%	13%	-3%
14	腎尿路生殖器系の疾患 (N00 - N99)	4%	6%	-2%	7%	-3%
15	妊娠, 分娩及び産じょく<褥> (O00 - O99)	0%	0%	0%	0%	0%
16	周産期に発生した病態 (P00 - P96)	0%	0%	0%	0%	0%
17	先天奇形, 変形及び染色体異常 (Q00 - Q99)	0%	1%	-1%	0%	0%
18	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00 - R99)	2%	4%	-1%	3%	-1%
19	損傷, 中毒及びその他の外因の影響 (S00 - T98)	3%	4%	-1%	6%	-2%
20	その他	2%	2%	0%	1%	0%

※ 社会医療診療行為別統計は令和元年6月審査月データ(病院・外来)、本研究データのDPCデータは令和元年5月診療月データより算出した。